

2019年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関する
アンケート調査
【調査結果報告書】

2020年8月
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査」については、本文中「就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査」と略称表記（以下同様）

目次

第1章 卒業生アンケート.....	1
1. 調査の概要.....	1
【調査結果の見方】	1
2. 調査結果.....	2
〔1〕 回答者について.....	2
〔2〕 現在の仕事について.....	3
〔3〕 転職の状況について.....	12
〔4〕 未就業の状況について.....	16
〔5〕 仕事についての感想（自由意見）	19
〔6〕 大学・短大で受けた教育について.....	23
① 達成度と必要性（全体）	23
② 達成度と必要性（学科別）	25
③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）	29
④ 仕事をする上で重要だと思う事.....	35
〔7〕 大学時代で有意義だった授業.....	37
〔8〕 大学の講義以外で希望する支援・経験.....	41
〔9〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	44
3. 調査結果のまとめ.....	46
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート.....	50
1. 調査の概要.....	50
【調査結果の見方】	50
2. 調査結果.....	51
〔1〕 回答者について.....	51
〔2〕 仕事に必要な能力.....	52
① 必要性和達成度（全体）	52
② 必要性和達成度（学科別）	54
③ 採用の際に重要視する能力.....	58
〔3〕 事業所の概要.....	60
〔4〕 学生に希望する資格や検定.....	63
〔5〕 大学生の人間形成に必要な支援.....	65
〔6〕 採用について.....	67
〔7〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	72
3. 調査結果のまとめ.....	75
第3章 調査票.....	77

第1章 卒業生アンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2017年3月卒業生
調査方法	郵送配布・回収
回収数	68人
調査時期	2019年12月23日～2020年1月17日 ※2020年3月31日までに大学到着分まで集計に含む
回収率	下表の通り

	依頼卒業生数	回答人数	回収率
看護学科	98	10	10.2% (37.8%)
福祉学科	95	15	15.8% (37.5%)
栄養学科	95	7	7.4% (30.8%)
英語学科	39	8	20.5% (25.0%)
観光文化学科	56	10	17.9% (27.5%)
助産別科	14	5	35.7% (13.3%)
全体	397	55	13.9% (32.0%)

()内は前年度回収率

	依頼卒業生数	回答人数	回収率
生活創造学科	27	3	11.1% (20.6%)
保育科	73	10	13.7% (12.5%)
全体	100	13	13.0% (14.5%)

()内は前年度回収率

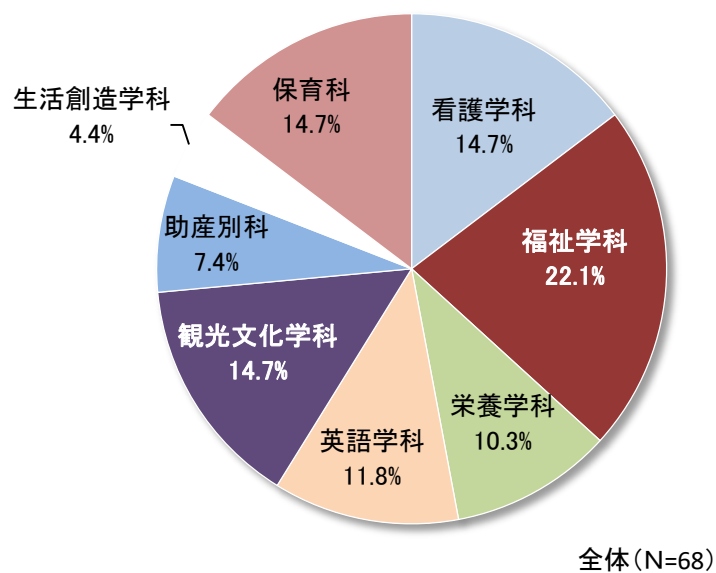
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。なお、調査票は大学・短期大学部ともに同様の調査票を使用しているため、大学用の調査票を添付するものとし、短期大学部用の調査票の添付は省略する。

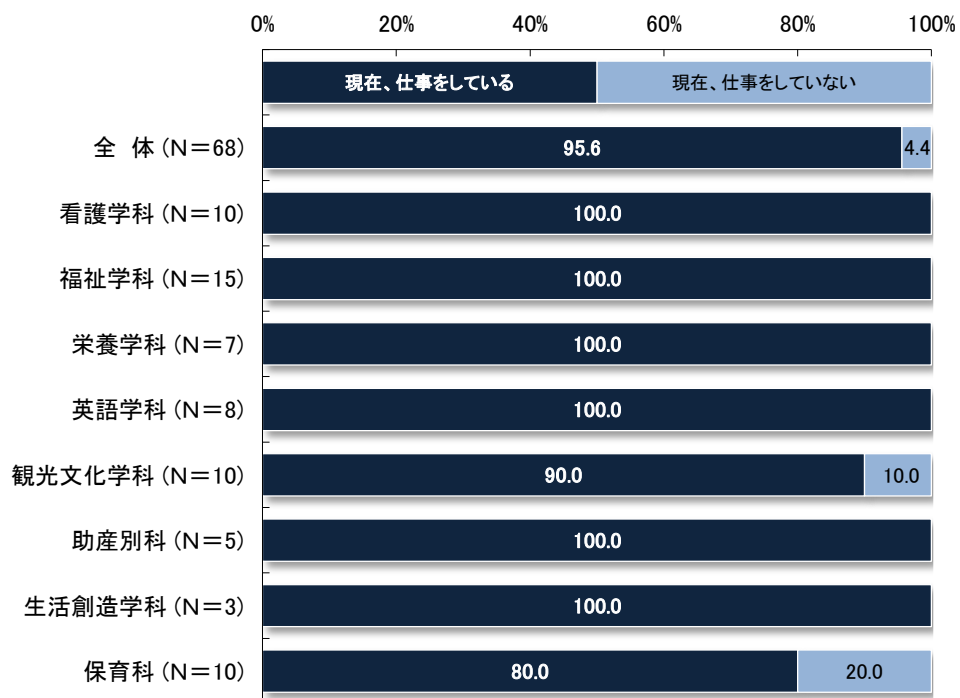
2. 調査結果

〔1〕回答者について

【卒業した学科】



【現在の状況】

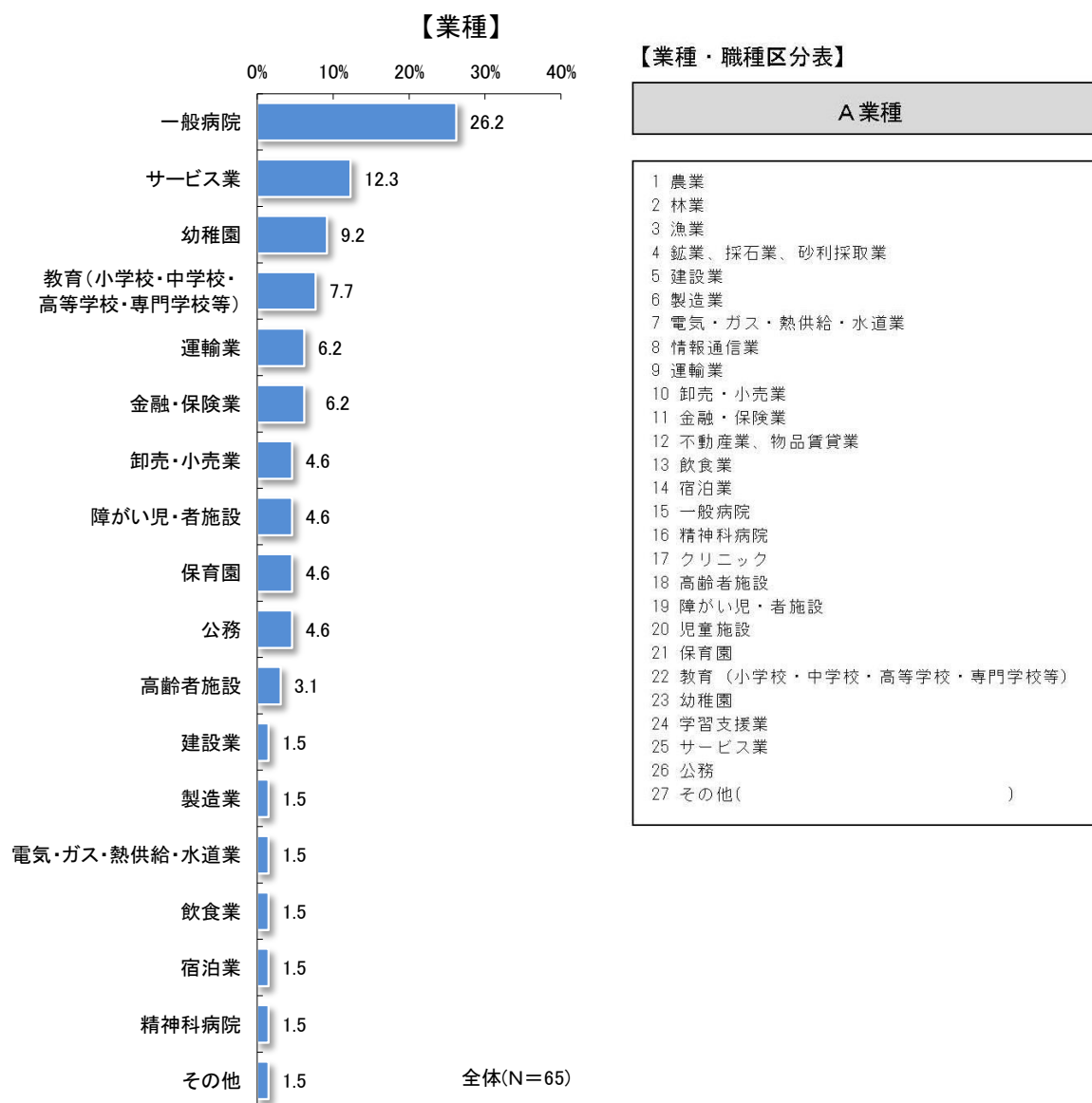


〔2〕現在の仕事について

問 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

現在の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(26.2%)が最も多く、次いで「サービス業」(12.3%)、「幼稚園」(9.2%)、「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(7.7%)となっている。

学科別にみると、看護学科、助産学科は「一般病院」(100.0%)、福祉学科は「教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)」(26.7%)、栄養学科は「公務」(28.6%)、英語学科は「サービス業」(37.5%)、観光文化学科は「サービス業」(55.6%)、生活創造学科は「金融・保険業」(66.7%)、保育科は「幼稚園」「保育園」(いずれも37.5%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先の主たる業種が異なることがうかがえる。



※回答のなかった項目は省略

第1章 卒業生アンケート

【学科別 業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	一般病院	サービス業	幼稚園	高等学校・小学校・専門学校・ 専門学校等	運輸業	金融・保険業	卸売・小売業	障がい児・者施設	保育園
全 体	65	26.2	12.3	9.2	7.7	6.2	6.2	4.6	4.6	4.6
看護学科	10	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	15	6.7	-	13.3	26.7	-	-	6.7	20.0	-
栄養学科	7	14.3	-	14.3	-	-	-	14.3	-	-
英語学科	8	-	37.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-
観光文化学科	9	-	55.6	-	-	22.2	11.1	-	-	-
助産別科	5	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	3	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-
保育科	8	-	-	37.5	-	12.5	-	-	-	37.5

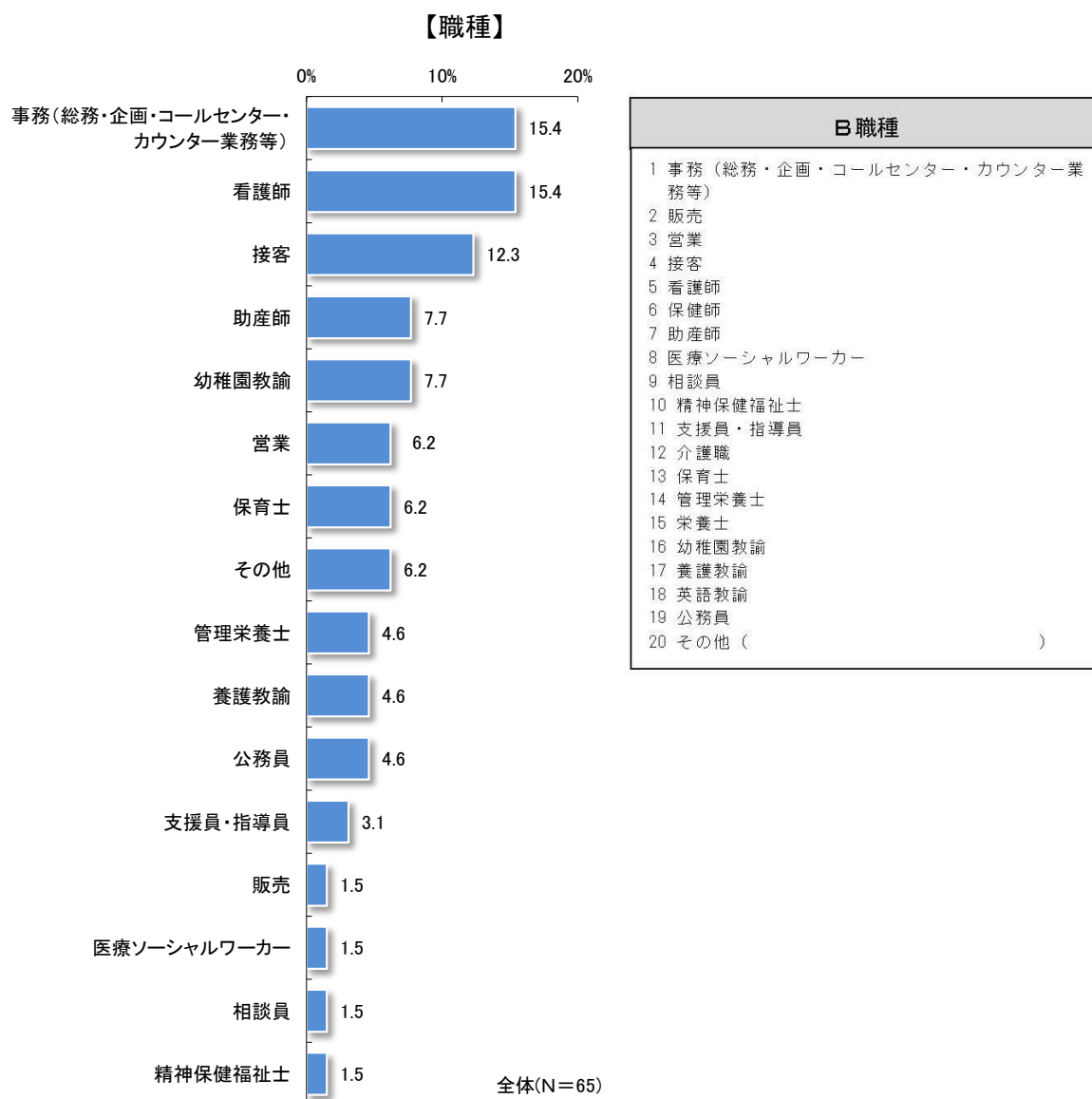
【学科別 業種 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	公務	高齢者施設	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・ 水道業	飲食業	宿泊業	精神科病院	その他
全 体	65	4.6	3.1	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
看護学科	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	15	6.7	6.7	-	-	-	6.7	-	6.7	-
栄養学科	7	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-
英語学科	8	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-
観光文化学科	9	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-
助産別科	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-
保育科	8	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5

問 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

現在の勤務先で携わっている主たる職種は、大学全体では「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」「看護師」（ともに15.4%）が最も多く、次いで「接客」（12.3%）、「助産師」「幼稚園教諭」（ともに7.7%）となっている。

学科別にみると、看護学科は「看護師」（100.0%）、福祉学科は「養護教諭」（20.0%）、栄養学科は「管理栄養士」（42.9%）、英語学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（50.0%）、観光文化学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」「接客」「営業」（いずれも22.2%）、助産別科は「助産師」（100.0%）、生活創造学科は「接客」（66.7%）、保育科は「幼稚園教諭」「保育士」（37.5%）の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先で携わっている主たる職種が異なることがうかがえる。



※回答のなかった項目は省略

【学科別 職種（1/2）】（%）

	全体（人）	事務（総務・企画・コーポレート・業務等）	看護師	接客	助産師	幼稚園教諭	営業	保育士	管理栄養士
全体	65	15.4	15.4	12.3	7.7	7.7	6.2	6.2	4.6
看護学科	10	-	100.0	-	-	-	-	-	-
福祉学科	15	13.3	-	-	-	13.3	-	6.7	-
栄養学科	7	-	-	14.3	-	-	-	-	42.9
英語学科	8	50.0	-	37.5	-	-	12.5	-	-
観光文化学科	9	22.2	-	22.2	-	-	22.2	-	-
助産別科	5	-	-	-	100.0	-	-	-	-
生活創造学科	3	33.3	-	66.7	-	-	-	-	-
保育科	8	12.5	-	-	-	37.5	12.5	37.5	-

【学科別 職種（2/2）】（%）

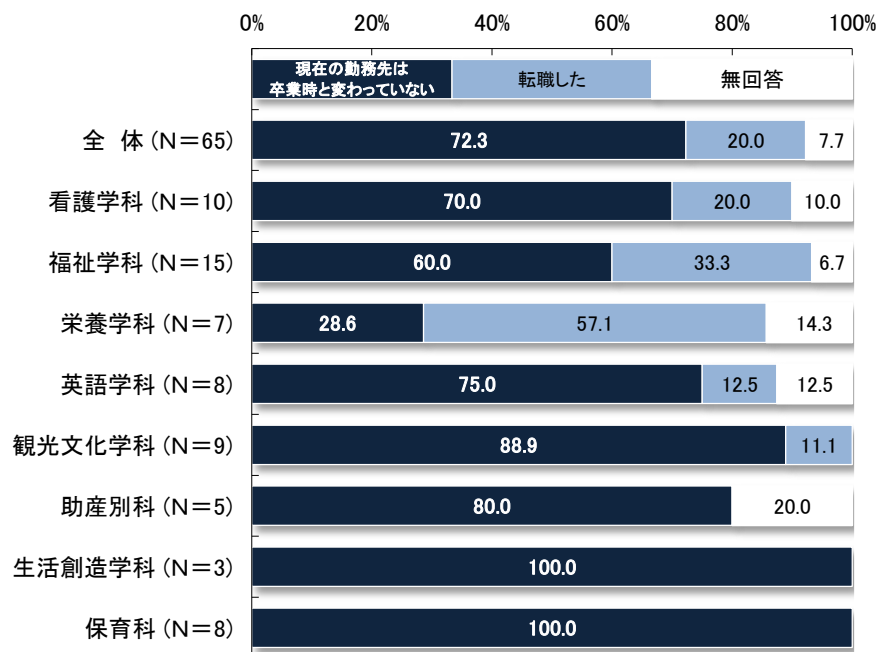
	全体（人）	養護教諭	公務員	支援員・指導員	販売	医療ソーシャルワーカー	相談員	精神保健福祉士	その他
全体	65	4.6	4.6	3.1	1.5	1.5	1.5	1.5	6.2
看護学科	10	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	15	20.0	13.3	13.3	-	6.7	6.7	6.7	-
栄養学科	7	-	14.3	-	-	-	-	-	28.6
英語学科	8	-	-	-	-	-	-	-	-
観光文化学科	9	-	-	-	11.1	-	-	-	22.2
助産別科	5	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	3	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	8	-	-	-	-	-	-	-	-

問 現在の勤務先について○をつけてください。(1つ選択)

現在の勤務先は、大学全体では「現在の勤務先は卒業時と変わっていない」の割合が72.3%を占め、「転職した」とする人は20.0%となっている。

学科別に現在の勤務先をみると、栄養学科では「転職した」(57.1%)の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。

【現在の勤務先】



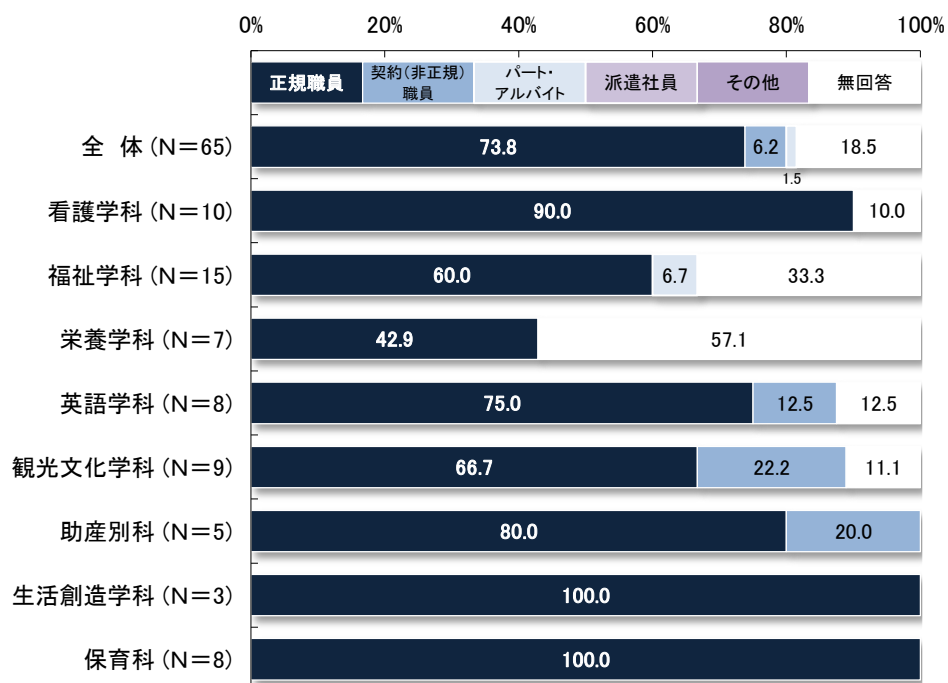
問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

卒業時の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が73.8%を占め、次いで「契約（非正規）職員」の割合が6.2%となっている。

学科別の卒業時の雇用形態をみると、「正規職員」の割合は、看護学科、助産別科、生活創造学科、保育科で8割を超え高いのに対し、福祉学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科で比較的低い傾向がある。

【卒業時の雇用形態】

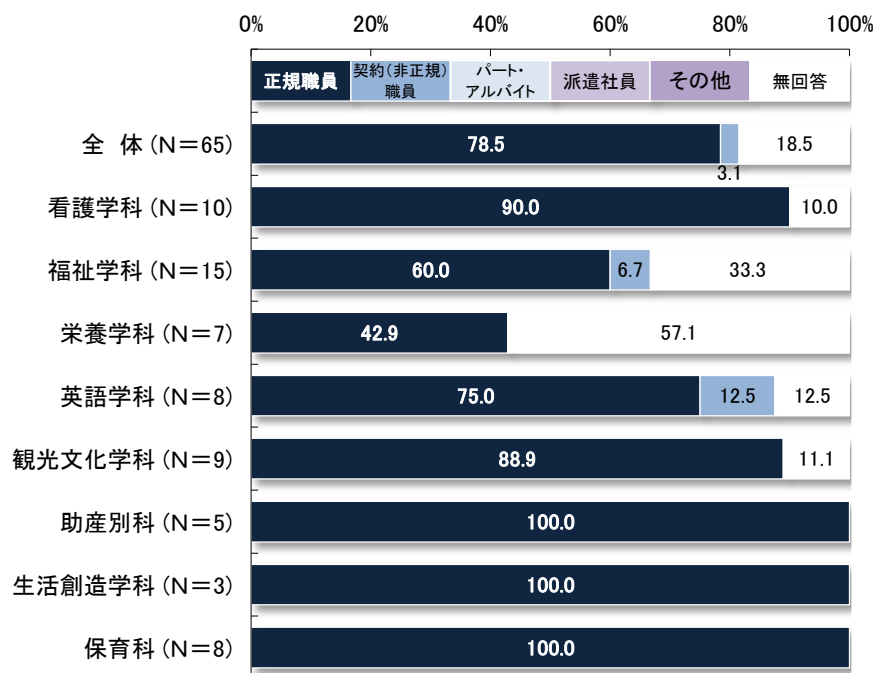


②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

現在の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が78.5%と卒業時よりも正規職員の割合が増え、「契約（非正規）職員」（3.1%）などの非正規雇用は減っている。

学科別の現在の雇用形態をみると、観光文化学科、助産別科では「正規職員」の割合が卒業時から高くなっている。

【現在の雇用形態】

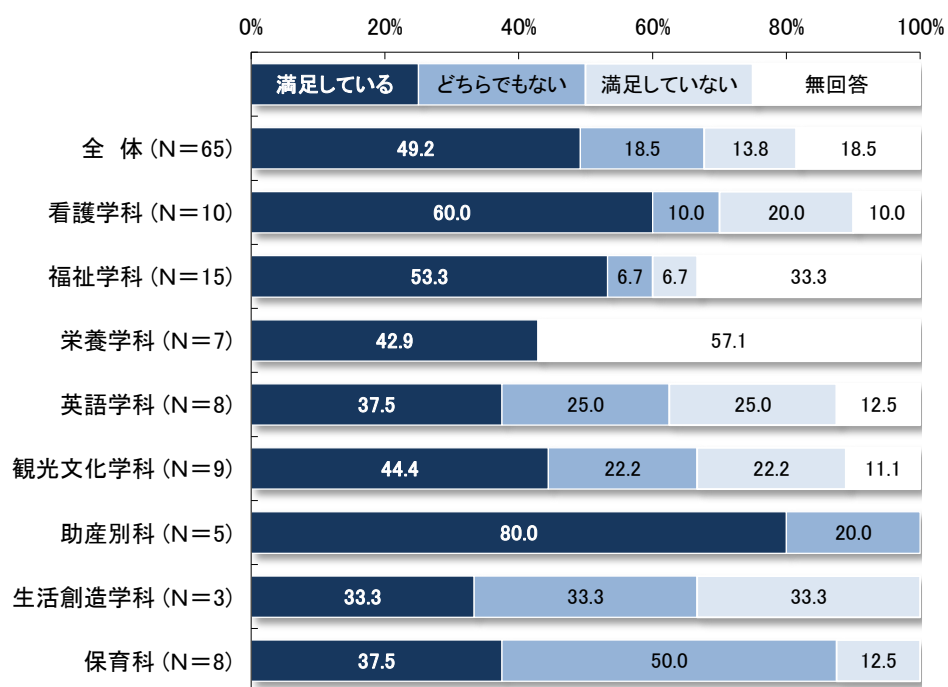


問 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

現在の勤務先の満足度は、大学全体では「満足している」(49.2%) が最も多くなっている。

学科別の、現在の勤務先の満足度をみると、助産別科や看護学科は「満足している」の割合が6割以上で、他の学科より高くなっている。

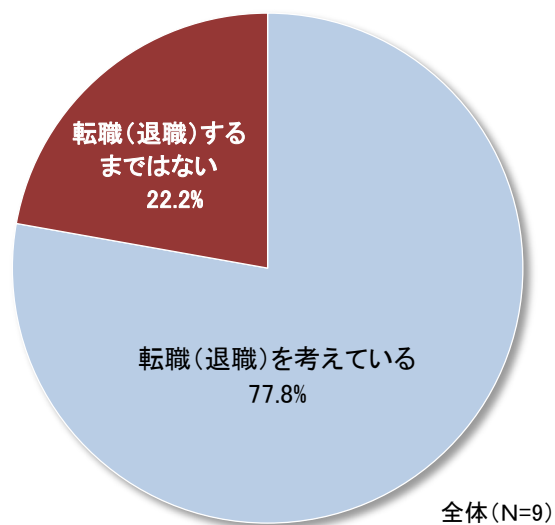
【現在の勤務先の満足度】



問 II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

「満足していない」と答えた人の転職（退職）希望は、大学全体では「転職（退職）を考えている」の割合が 77.8%、「転職（退職）するまではない」が 22.2%となっており、現在の勤務先の満足度について「満足していない」と回答した人の約 8 割弱が転職（退職）を考えている結果となった。

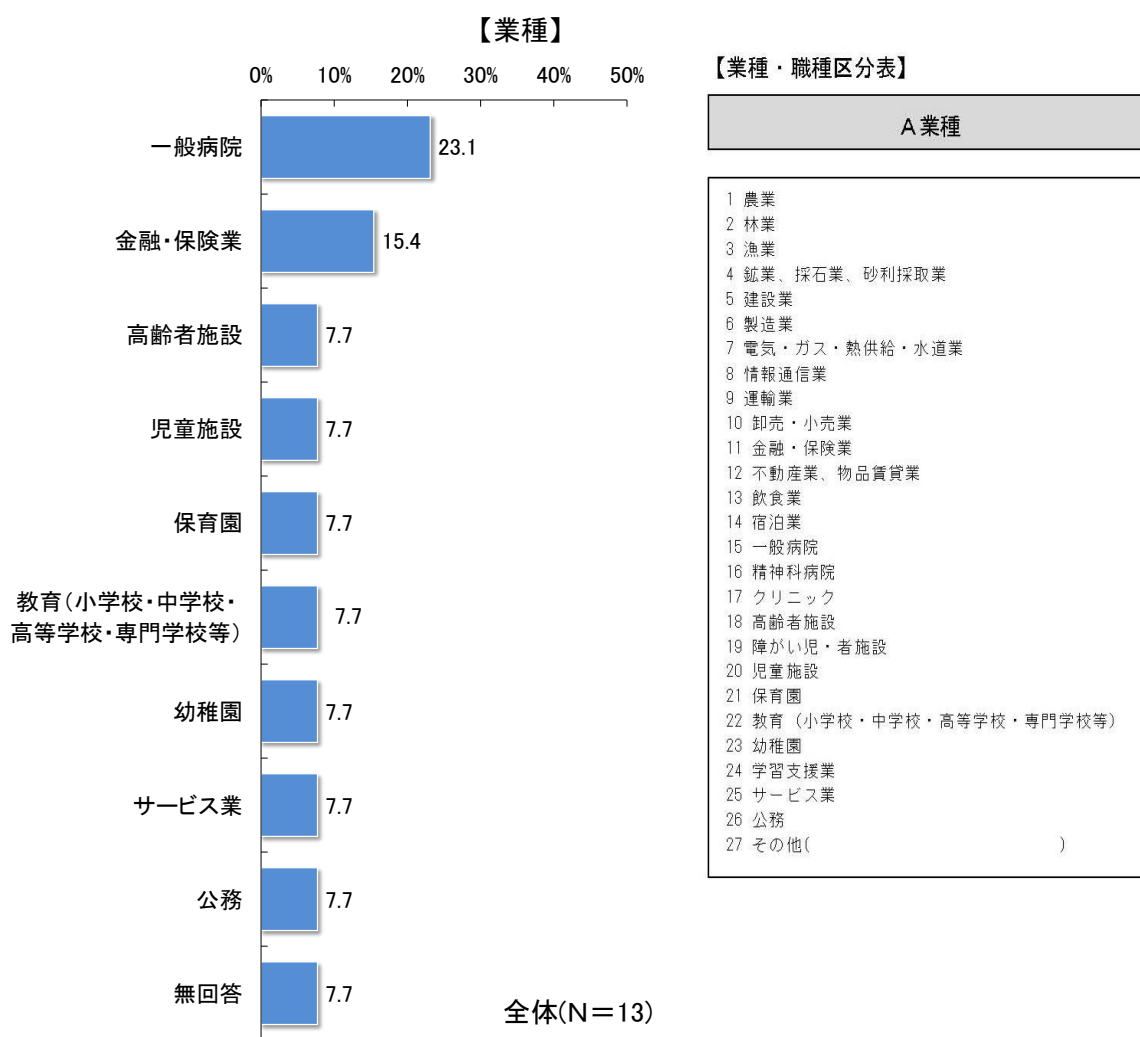
【転職希望】



〔3〕 転職の状況について

問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

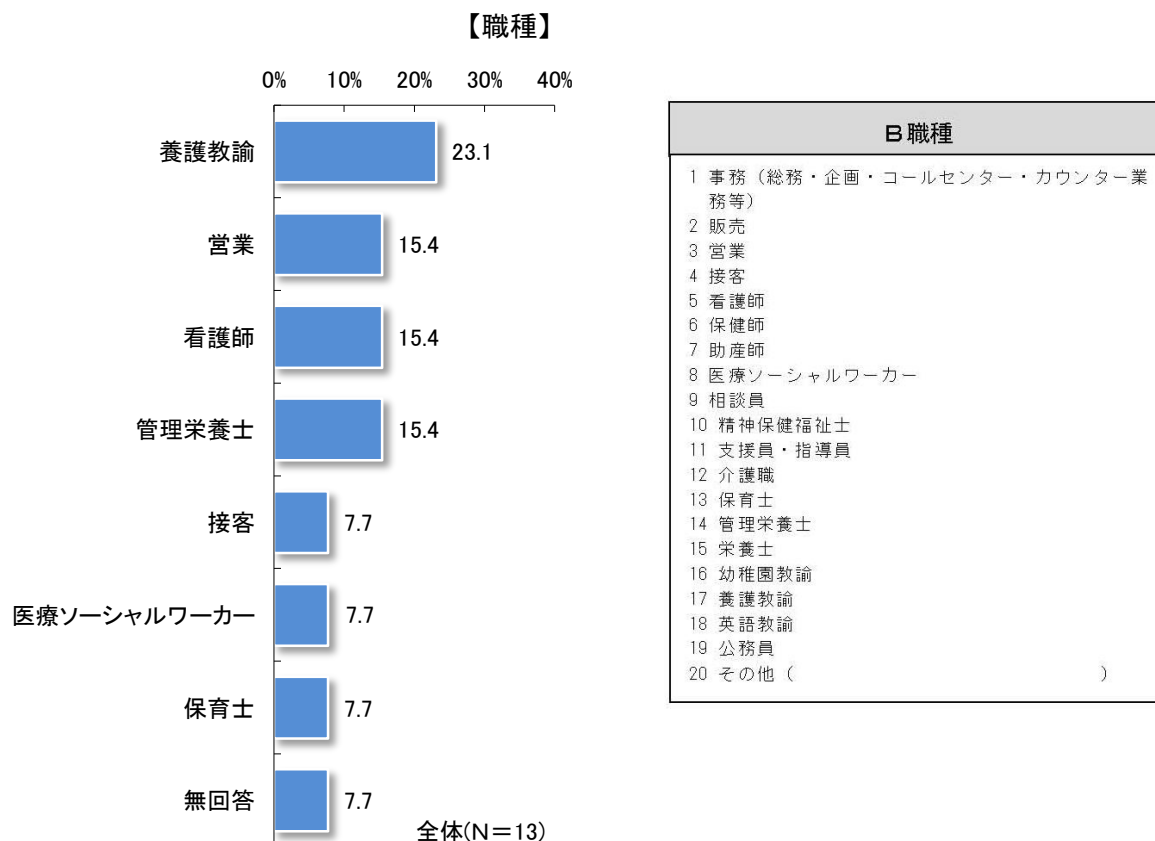
転職した人の卒業時における勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(23.1%)が最も多く、次いで「金融・保険業」(15.4%)となっている。



※回答のない項目は省略

問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、大学全体では「養護教諭」(23.1%)が最も多く、次いで「営業」「看護師」「管理栄養士」(いずれも15.4%)となっている。



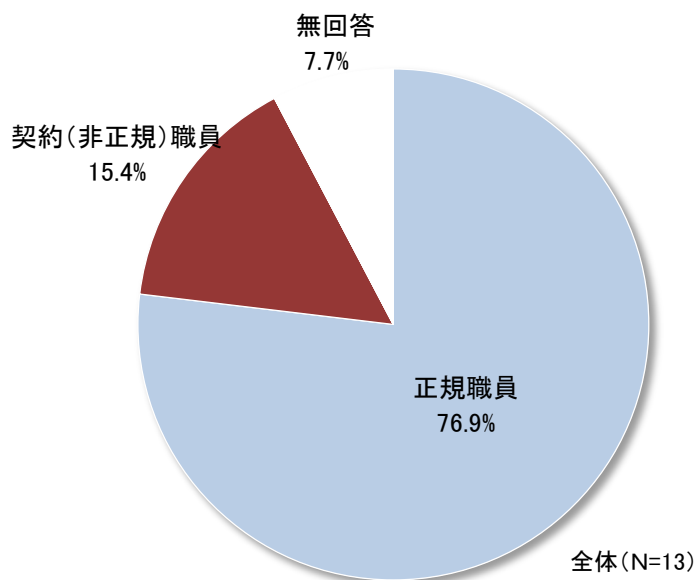
※回答のなかった項目は省略

問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(76.9%)が最も多く、「契約(非正規)職員」(15.4%)となっている。

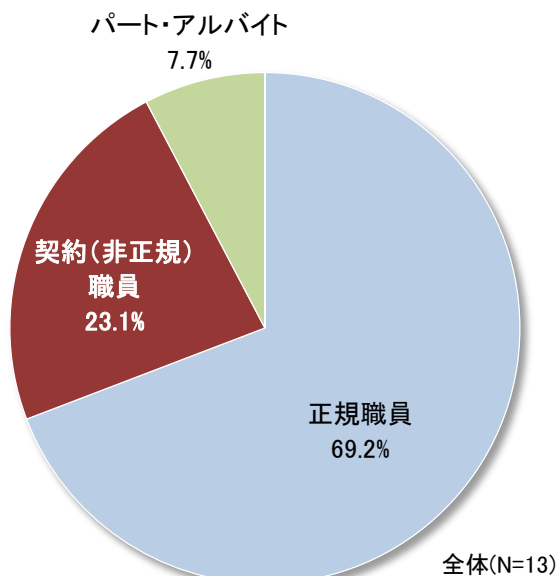
【卒業時の雇用形態】



②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の現在の雇用形態は、「正規職員」(69.2%)、「契約(非正規)職員」(23.1%)、「パート・アルバイト」(7.7%)となっており、卒業時よりも「正規職員」の割合は減り、「契約職員」、「パート・アルバイト」の割合が増えている。

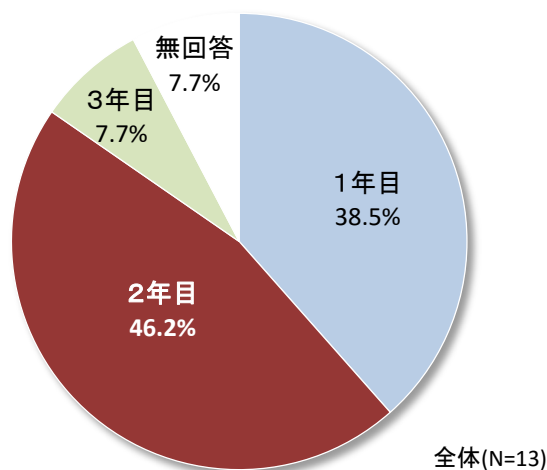
【現在の雇用形態】



問 転職された時期をご記入ください。

転職した時期は、入職後「2年目」(46.2%)が最も多く、次いで「1年目」(38.5%)、「3年目」(7.7%)となっている。

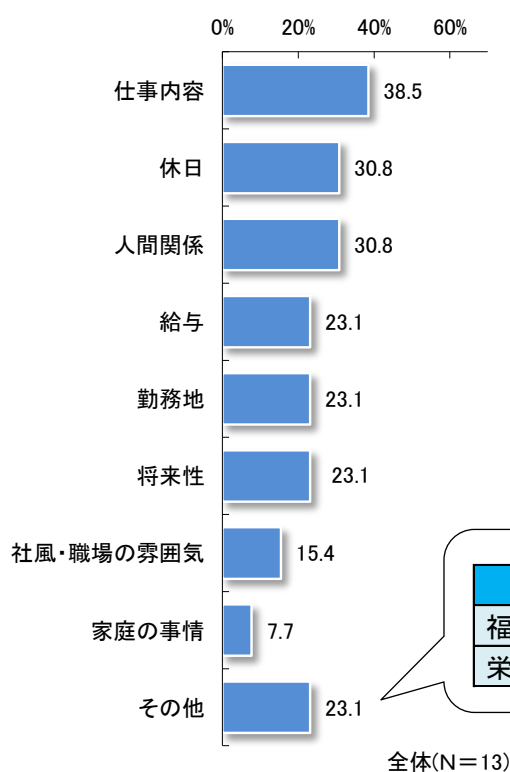
【転職した時期】



問 転職した理由に○をつけてください。

転職理由は、「仕事内容」(38.5%)が最も多く、次いで「休日」「人間関係」(30.8%)、「給与」「勤務地」「将来性」「その他」(23.1%)となっている。

【転職理由】

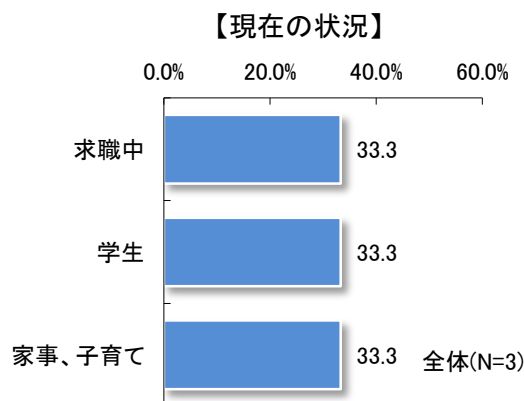


学科	「その他」の内容
福祉学科	体調不良のため
栄養学科	忙しい

〔4〕未就業の状況について

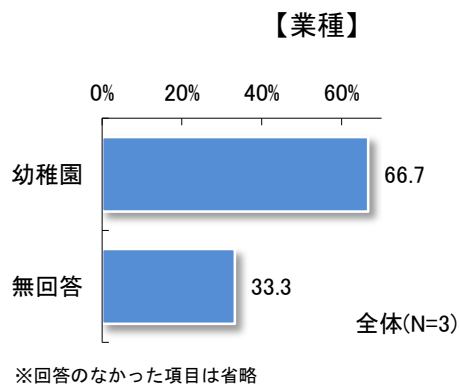
問 現在の状況に○をつけてください。

仕事をしていない人の現在の状況は、「求職中」「学生」「家事、子育て」(33.3%)となっている。ただし、いずれの項目も回答者は1人である。



問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時における勤務先の主たる業種は、「幼稚園」(66.7%)である。

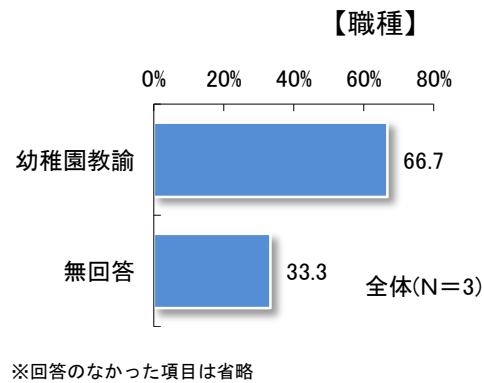


【業種・職種区分表】

A 業種	
1	農業
2	林業
3	漁業
4	鉱業、採石業、砂利採取業
5	建設業
6	製造業
7	電気・ガス・熱供給・水道業
8	情報通信業
9	運輸業
10	卸売・小売業
11	金融・保険業
12	不動産業、物品賃貸業
13	飲食業
14	宿泊業
15	一般病院
16	精神科病院
17	クリニック
18	高齢者施設
19	障がい児・者施設
20	児童施設
21	保育園
22	教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23	幼稚園
24	学習支援業
25	サービス業
26	公務
27	その他（ ）

問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

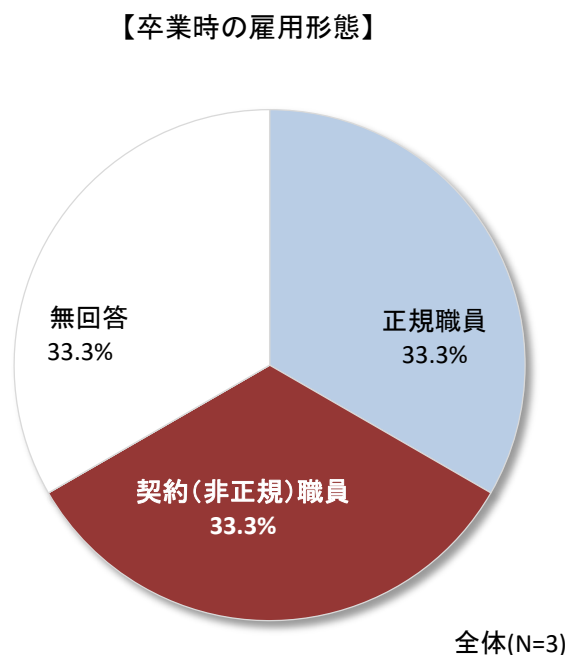
現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、「幼稚園教諭」(66.7%)である。



B 職種	
1	事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）
2	販売
3	営業
4	接客
5	看護師
6	保健師
7	助産師
8	医療ソーシャルワーカー
9	相談員
10	精神保健福祉士
11	支援員・指導員
12	介護職
13	保育士
14	管理栄養士
15	栄養士
16	幼稚園教諭
17	養護教諭
18	英語教諭
19	公務員
20	その他（ ）

問 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

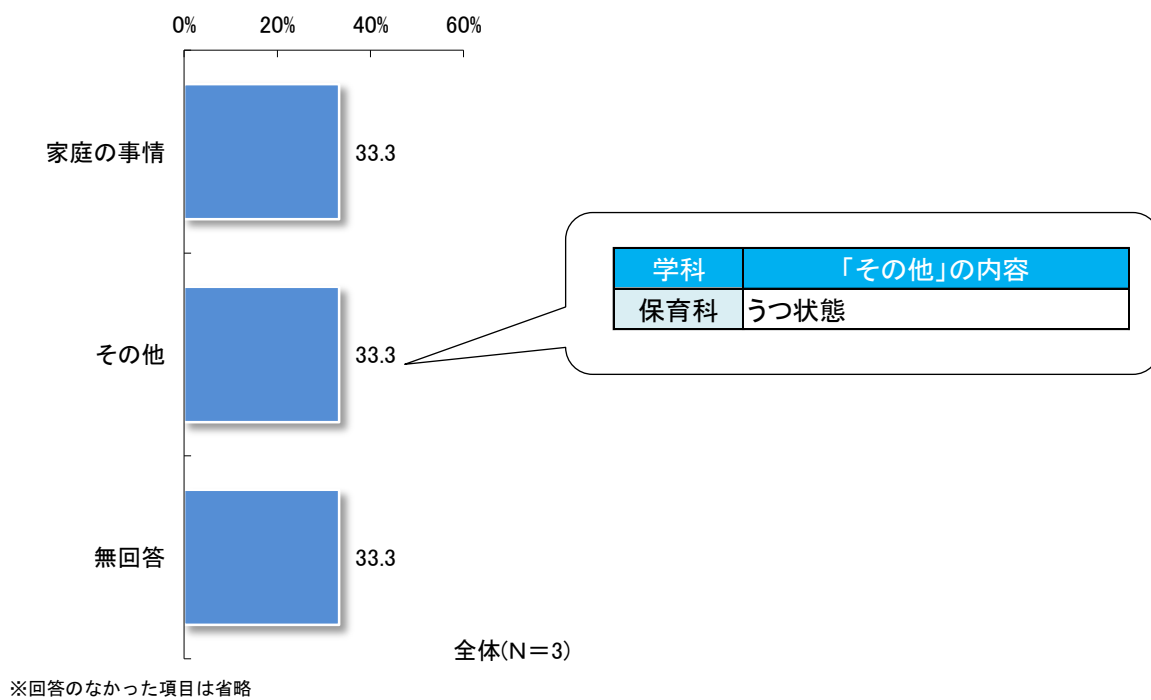
現在仕事をしていない人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」「契約(非正規)職員」(33.3%)である。



問 退職した理由に○をつけてください。（複数選択可）

現在仕事をしていない人の退職した理由は、「家庭の事情」「その他」（33.3％）である。
また、「その他」では健康状態に係る理由が挙げられている。

【退職理由】



〔5〕仕事についての感想（自由意見）

問 仕事をする中で感じたこと（苦勞したことや成長したことなど）をご記入ください。

仕事についての感想を自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【成長したことについて】

（回答者数：42/68人[61.8%]）

学科	自由回答
看護学科	人工呼吸器をつけた患者さんをみることができるようになった。採血や点滴の失敗が少なくなった。
	うたれ強くなるし、判断する力がついてきたと思う。
	救急病棟なので全身の勉強をすばやくする必要があり、はじめは苦勞したができるようになること、経験できることが達成感に繋がっている。
福祉学科	他職種との関係で悩むことはあるが、だんだんと関係は出来てくる。勉強会や研修にも参加した方がやはりケースを持つ上で助かることが多いので、年々出来ることは増えてくると感じる。
	仕事を続けるうちに、社会人としてのマナーや礼儀が身に付いたこと、教育者としての責任感を持って働けるようになったと思います。
栄養学科	法律、財務などの知識や決裁文書作成、説明等のスキルを身に付けるため、日々勉強ですが、成長も感じられます。
英語学科	人とかかわりが多いため、成長できたと思う。
	パソコンのスキルをみがくことができた。
観光文化学科	営業なので、目標に届かないときなどが苦しいですが、旅行から帰ってきたお客様からまたお願いするねと言われた際に成長したと思いました。
	相手の立場になり物事を考えるようになりました。”幸せと感動のために”
保育科	現場でしか学べない事が沢山あり、専門職としてのスキルは磨けたと思う。

【嬉しかったこと・楽しかったことについて】

学科	自由回答
栄養学科	現在、勤めているこども園は立ち上げから関わったので、栄養士が私一人だったので献立を一から考えるのがとても大変だったが、その分やりがいを感じている。
保育科	実際に職員として働くことで、子どもたちと密に関わりやりがいを感じられるようになりました。

【仕事に必要なこと・大切なことについて】

学科	自由回答
福祉学科	自分にあたえられている責任を知ることが大切。 学生時代に体調を崩して学校を休むのと、学校の職員として体調を崩して学校を休むのでは訳が違う。学校では、職員一人一人に「仕事」という役割、責任が与えられているので自分が休んでしまうと他の人がそれをカバーしなければならず、「自分が休む」＝「他人の迷惑」になります。学校現場では大学で学習していたこと以上に様々なことが起こるので、時に心が辛くなることもあります。心も体も健康でいなければ仕事は務まりません。仕事に慣れることも大事ですが、自分の体調を管理することも大切だと思いました。
英語学科	先を見通す力の必要さ。 接客では相手に合わせた会話や求められている事を感じることが出来るようになること。
観光文化学科	幅広い年齢層の方と話す事が多いため、コミュニケーション能力はとても重要な事です。綺麗な言葉を話す方は魅力的だと思うので、在学中に取得した秘書検定準一級が役に立っています。検定で学んでいたことを活用できると、成長したなと感じます。 何事も経験することが大切。
助産別科	日々自分の課題を見つけ、目標を達成するために自分から上の先輩へ主張していくことの必要性を感じている。
保育科	信頼関係を築くことの重要さ。

【苦労したことについて】

学科	自由回答
看護学科	責任を持つことの厳しさ、自分のしたい事を続ける難しさを痛感した。
	タイムスケジュールを考えれるようになるまでに時間がかかった。慣れるまで時間内に仕事が終わらないことも多くあった。
	人間関係を築くのが大変だった。
福祉学科	子どもの様子を保護者に伝えること。保護者支援が難しい。
	自分の持っている知識や研修で学んだ知識・技術をうまく相手に伝える方法がむずかしく、コミュニケーション力がとても必要で苦労した。
	職場での人間関係に苦労しています。
栄養学科	専攻していたものと全く別の分野で仕事をしている為、力不足を常に感じています。
	人間関係。
	人間関係が大変。
英語学科	職場での人間関係。
	仕事内容を入社した後に知った為苦労した。
観光文化学科	給与が業務内容の割に少ない。
	接客業なので様々なお客様と関わる為、人との接し方に悩んだりすることはありました。
助産別科	処置や指導説明、書類、カルテの扱い等への責任の重さを感じた。(実習では感じたことのない程の)
	・診療に活かせる知識量の少なさに苦労した。
	・現場で使用される略語が分からず苦労した。
生活創造学科	苦労した事は、間違った敬語や言葉遣いを使用して注意される事が多く勉強した事。
	上司や同性の年上の方との付き合い、関わり。今まで自分と同年齢ぐらいの人としかあまり関わる事がなかったなので、どうしたら上手く付き合っていけるのか悩んだ。
保育科	子どもの怪我や保護者との信頼関係を築く事に苦労した。
	仕事を覚えること。
	毎日楽しく仕事をしていたが、自分の心の疲れ(人間関係等)をリフレッシュできず、働けなくなった。
	「人間関係」「保護者対応」「子どもの成長」に苦労した。
	人間関係の構築に苦労した。

【学べたことについて】

学科	自由回答
福祉学科	周りの人の支えや助けがあり、仕事ができること。
栄養学科	地方にいと世界は狭くなると思った。 社会人となっても日々勉強しなければいけないため、もっと大学で熱心に勉強しておけば少しは苦勞しなかったかな？と感じる。
英語学科	BtoCの仕事なので、色々なお客様がいて考え方も色々だということ。
保育科	仕事がいと実感するのは、3年目くらいからだと思った。

〔6〕大学・短大で受けた教育について

① 達成度と必要性（全体）

問 ①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。
その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

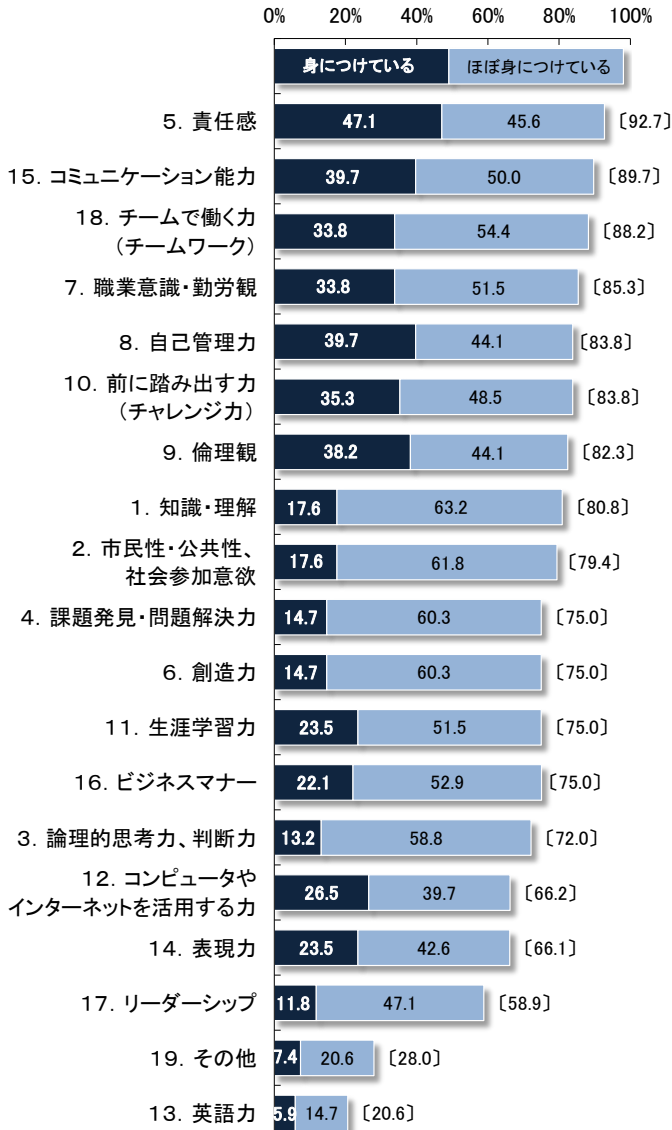
西南女学院大学で得た力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価する人の割合をみると、「5. 責任感」（92.7%）が最も多くなっている。また、これに次いで「15. コミュニケーション能力」（89.7%）、「18. チームで働く力（チームワーク）」（88.2%）、「7. 職業意識・勤労観」（85.3%）が85%を超えている。

現在の仕事において必要な力やスキルが『役に立つ』（役に立つ＋やや役に立つ）と評価する人の割合をみると、「5. 責任感」（91.2%）が最も多くなっている。また、これに次いで「15. コミュニケーション能力」（89.7%）、「3. 論理的思考力、判断力」「8. 自己管理力」「18. チームで働く力（チームワーク）」（いずれも88.2%）、「4. 課題発見・問題解決力」（86.8%）が85%を超えている。

【達成度と必要性】

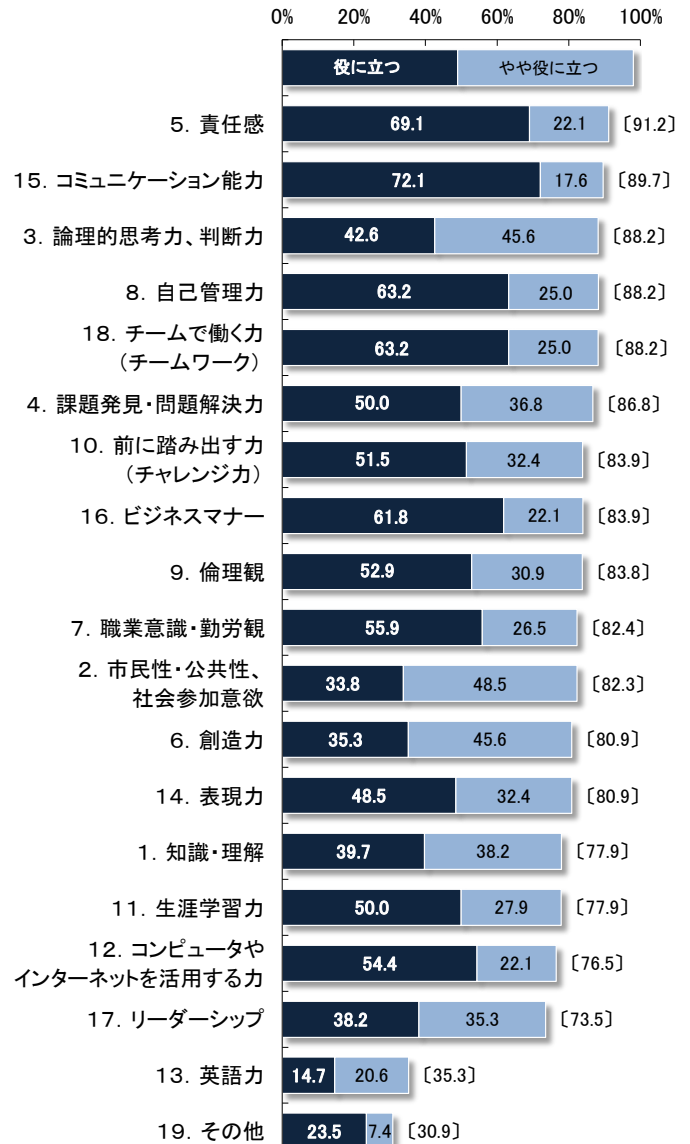
達成度

西南女学院大学で得た力やスキル
(各項目とも N=68)



必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目とも N=68)



注1) 達成度の選択肢は「身につけている」「ほぼ身につけている」「あまり身につけていない」「身につけていない」の4段階

注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

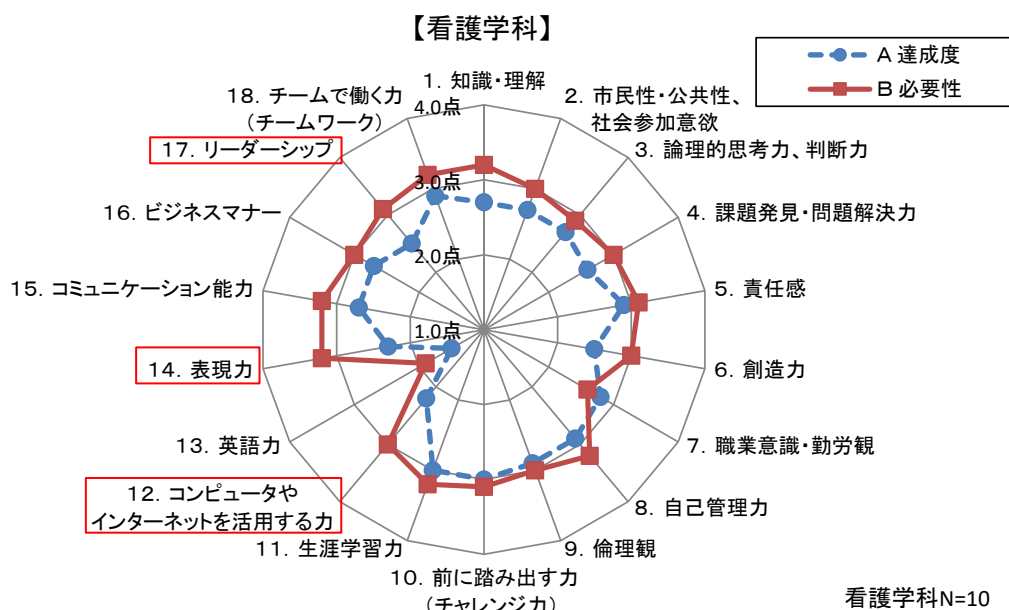
注3) 必要性の選択肢は「役に立つ」「やや役に立つ」「あまり役に立たない」「役に立たない」の4段階

注4) 必要性の〔 〕は「役に立つ」+「やや役に立つ」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある

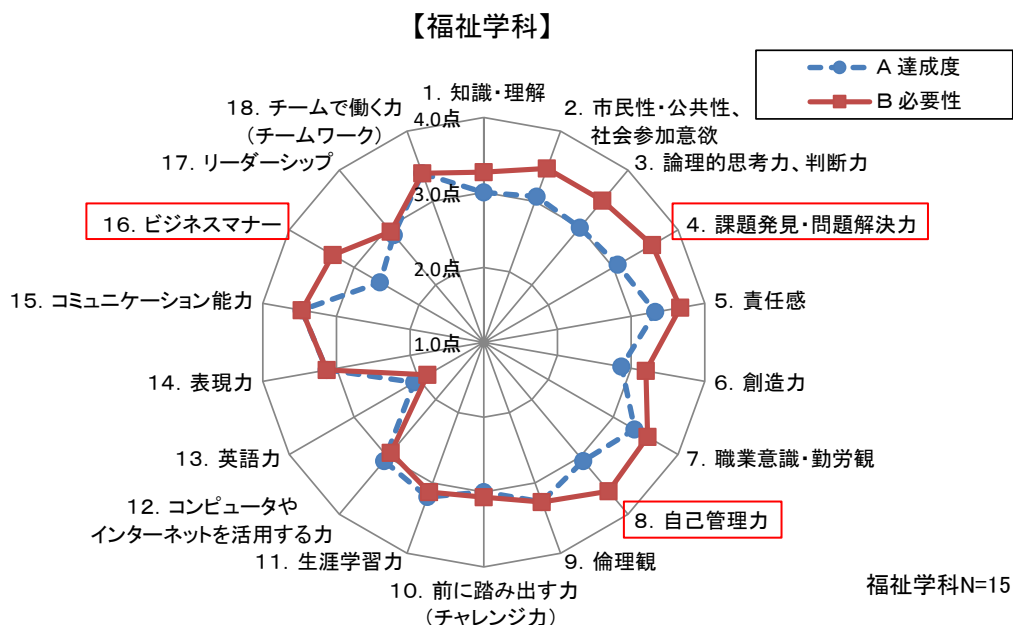
② 達成度と必要性（学科別）

達成度と必要性について、「身につけている」「役に立つ」=4点、「ほぼ身につけている」「やや役に立つ」=3点、「あまり身につけていない」「あまり役に立たない」=2点、「身につけていない」「役に立たない」=1点として配点し、達成度と必要性の各項目の平均点を算出した。達成度と必要性を比較し、各学科に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

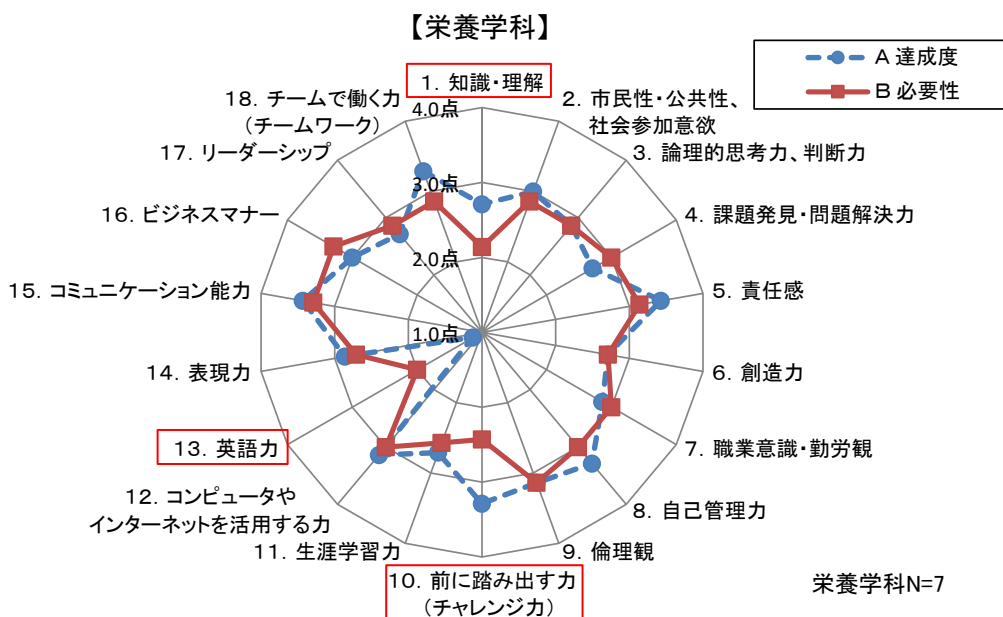
看護学科では、「14. 表現力」の必要性が達成度よりも0.90ポイント高く、次いで「12. コンピュータやインターネットを活用する力」で0.80ポイント、「17. リーダーシップ」で0.6ポイントと高くなっている。達成度の方が高いのは「7. 職業意識・勤労観」のみであり、達成度が必要性よりも0.20ポイント高くなっている。



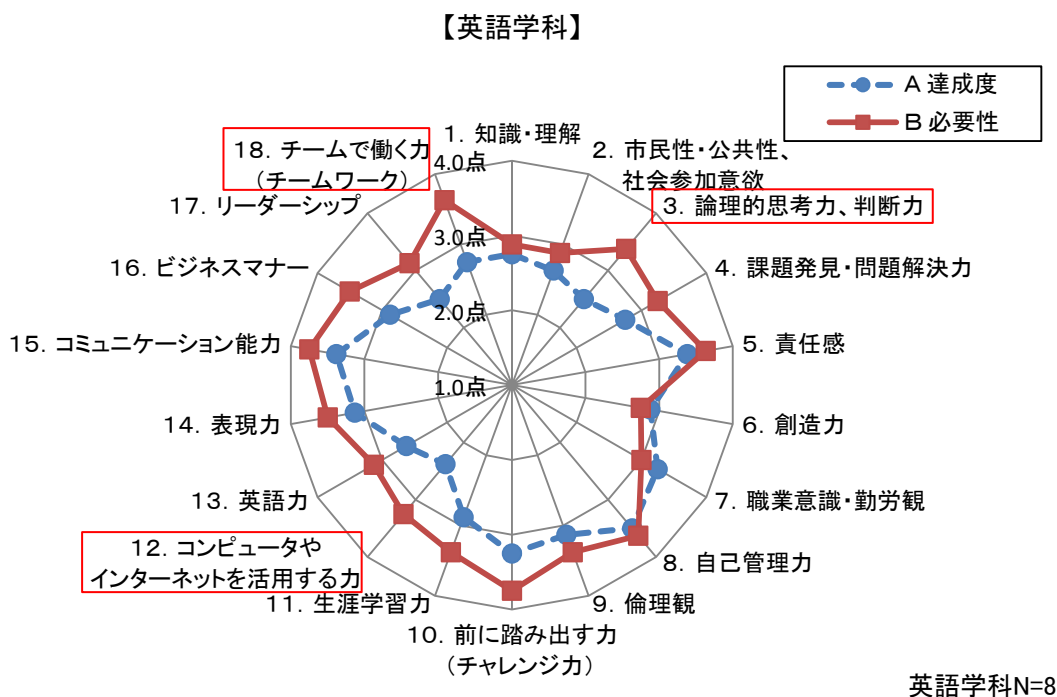
福祉学科では、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも0.73ポイント高く、次いで「4. 課題発見・問題解決力」「8. 自己管理能力」が0.53ポイント高くなっている。



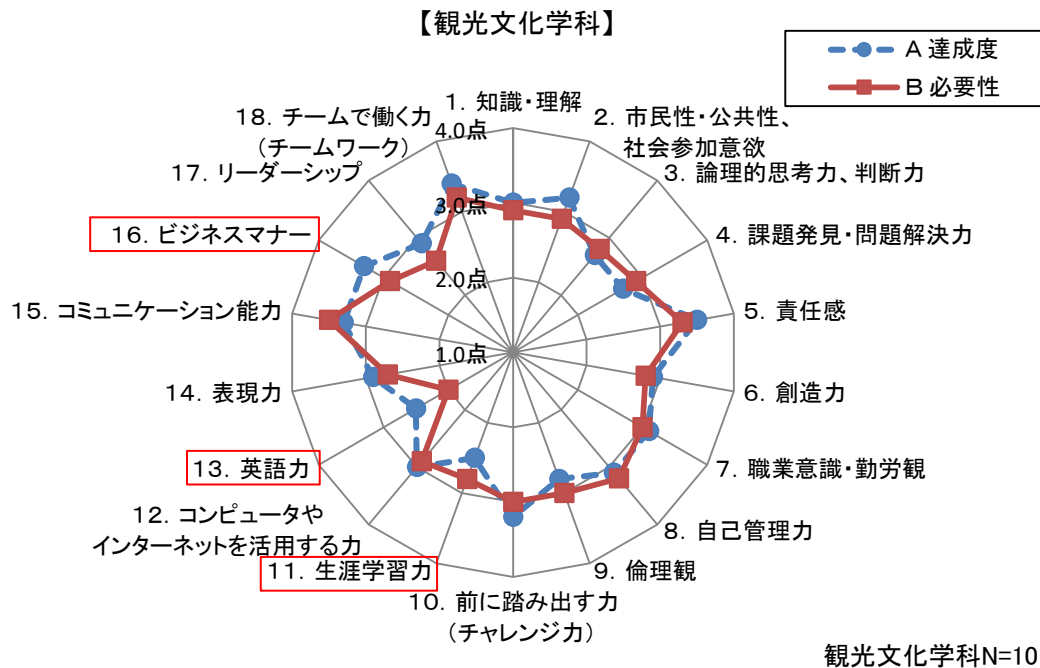
栄養学科では、「13. 英語力」の必要性が達成度よりも0.86ポイント高い。達成度の方が高いのは「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」が0.86ポイント、「1. 知識・理解」が0.57ポイントである。



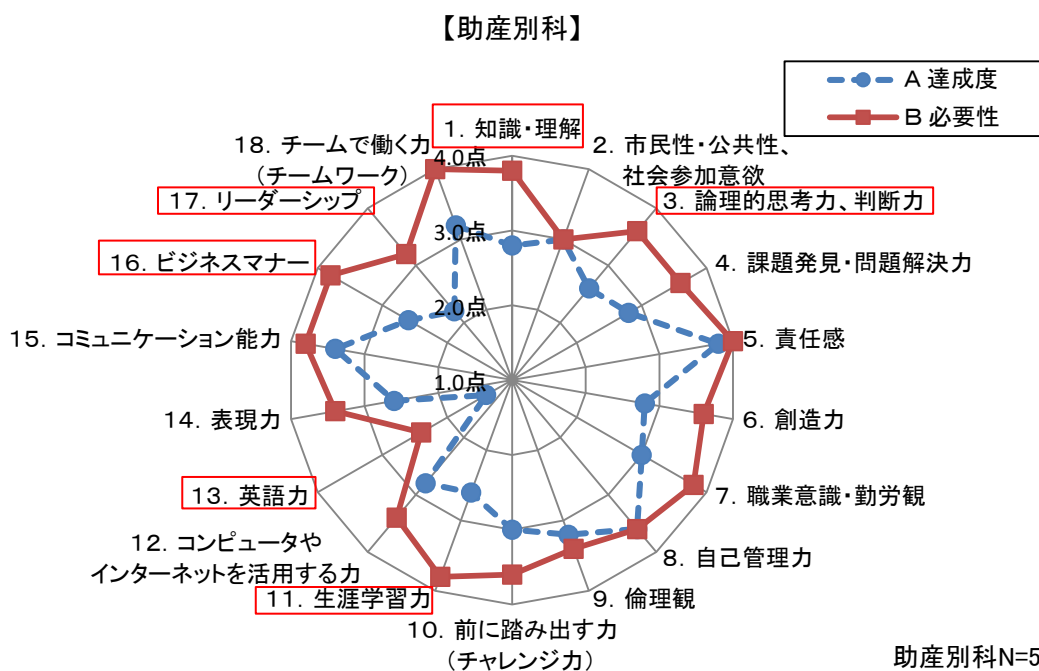
英語学科では、「3. 論理的思考力、判断力」「18. チームで働く力（チームワーク）」の必要性が達成度よりも0.88ポイント、次いで「12. コンピュータやインターネットを活用する力」が0.87ポイント高くなっている。一方、「7. 職業意識・勤労観」の達成度は必要性より0.25ポイント、「6. 創造力」は0.13ポイント高くなっていることから、これらの項目については求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。



観光文化学科では、「11. 生涯学習力」の必要性が達成度よりも 0.30 ポイント高くなっている。一方で「13. 英語力」の達成度は必要性より 0.50 ポイント高く、「16. ビジネスマナー」は達成度が 0.40 ポイント高くなっている。

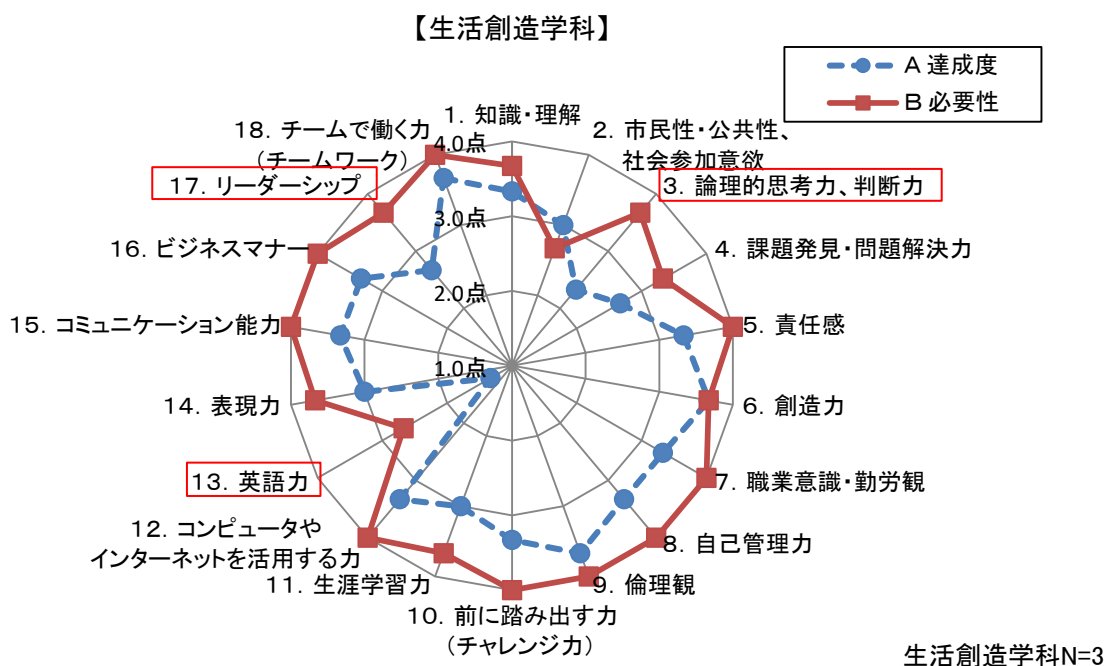


助産別科では、「11. 生涯学習力」「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも 1.20 ポイント、「1. 知識・理解」「3. 論理的思考力、判断力」「13. 英語力」「17. リーダーシップ」で 1.00 ポイント高くなっている。助産別科は、ほぼすべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。

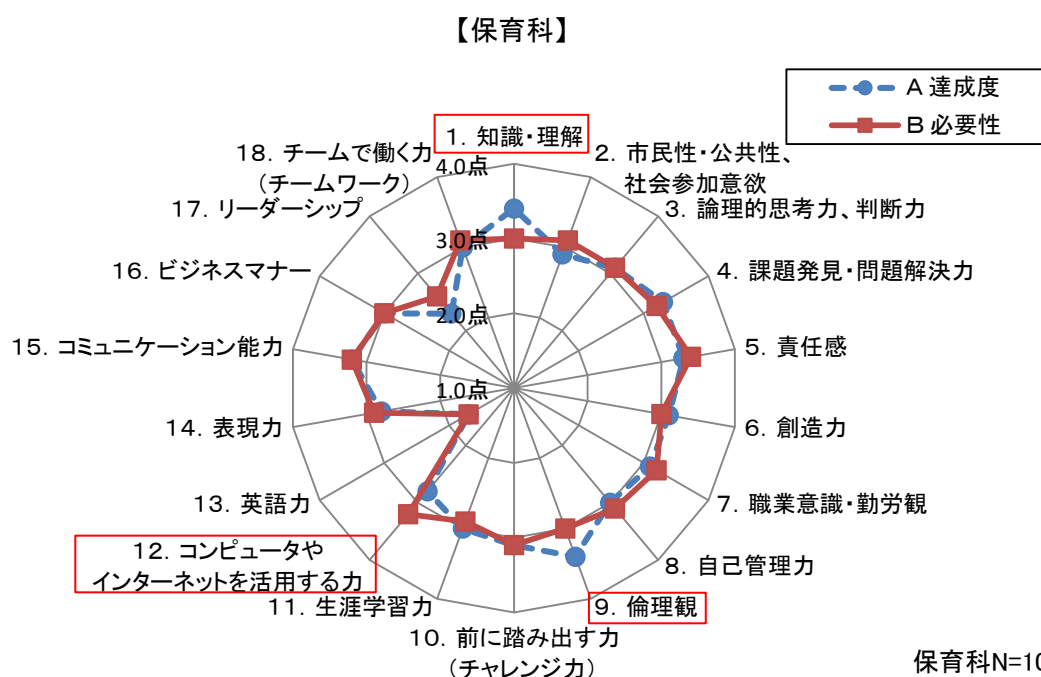


第1章 卒業生アンケート

生活創造学科では、「3. 論理的思考力、判断力」「13. 英語力」の必要性が達成度よりも1.34ポイント高く、次いで「17. リーダーシップ」が1.00ポイント高くなっている。一方、達成度の方が必要性よりも高いのは「2. 市民性・公共性・社会的参加意欲」で0.33ポイント高くなっている。



保育科では、「12. コンピュータやインターネットを活用する力」の必要性が達成度よりも0.40ポイント高く、次いで「17. リーダーシップ」が0.30ポイント高くなっている。一方、「1. 知識・理解」や「9. 倫理観」では達成度が必要性よりも0.40ポイント高くなっている。



③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）

能力やスキルを身につけるために役立ったことは、多くの項目について「大学での講義」が役立っていると回答している人が多いが、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「5. 責任感」、「8. 自己管理能力」、「15. コミュニケーション能力」、「16. ビジネスマナー」、「18. チームで働く力（チームワーク）」については「アルバイト」、「4. 課題発見・問題解決力」、「7. 職業意識・勤労観」、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」などでは「実習、インターンシップ」、「17. リーダーシップ」、「18. チームで働く力（チームワーク）」では「研究室、ゼミ活動」が役に立ったと回答した人が多い。

【能力やスキルを身につけるために役立ったこと】（％）

	全体 (人)	大学 での 講義	研究 室、 ゼミ 活動	キャ リア 教育	実習、 インター ンシッ プ	留学	先輩 や友人 との交 流	アル バイト	独学、 専門学 校	地域 貢献活 動、 ボラン ティア	勤務 先での 研修	無回 答
1. 知識・理解	68	69.1	27.9	5.9	50.0	1.5	10.3	26.5	1.5	14.7	23.5	7.4
2. 市民性・公共性、 社会参加意欲	68	30.9	22.1	7.4	30.9	1.5	27.9	44.1	-	25.0	8.8	5.9
3. 論理的思考力、判断力	68	58.8	36.8	1.5	41.2	-	5.9	20.6	-	8.8	16.2	10.3
4. 課題発見・問題解決力	68	45.6	44.1	7.4	51.5	1.5	13.2	23.5	-	8.8	19.1	11.8
5. 責任感	68	38.2	38.2	4.4	54.4	1.5	25.0	57.4	-	14.7	20.6	5.9
6. 創造力	68	44.1	32.4	2.9	30.9	4.4	13.2	14.7	-	13.2	5.9	11.8
7. 職業意識・勤労観	68	32.4	20.6	8.8	45.6	2.9	7.4	36.8	-	8.8	26.5	8.8
8. 自己管理能力	68	25.0	22.1	2.9	35.3	4.4	20.6	41.2	2.9	5.9	22.1	11.8
9. 倫理観	68	41.2	26.5	8.8	35.3	-	16.2	39.7	-	11.8	25.0	11.8
10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	68	20.6	32.4	4.4	36.8	4.4	22.1	35.3	1.5	16.2	20.6	7.4
11. 生涯学習力	68	45.6	19.1	4.4	27.9	1.5	4.4	13.2	4.4	8.8	22.1	16.2
12. コンピュータや インターネットを活用する力	68	83.8	27.9	5.9	25.0	-	1.5	5.9	1.5	1.5	16.2	4.4
13. 英語力	68	58.8	4.4	4.4	-	7.4	2.9	4.4	4.4	1.5	2.9	29.4
14. 表現力	68	66.2	48.5	4.4	38.2	2.9	7.4	10.3	-	4.4	22.1	7.4
15. コミュニケーション能力	68	45.6	47.1	2.9	45.6	7.4	50.0	72.1	1.5	19.1	19.1	5.9
16. ビジネスマナー	68	36.8	23.5	16.2	32.4	1.5	14.7	55.9	4.4	8.8	26.5	10.3
17. リーダーシップ	68	20.6	36.8	2.9	20.6	1.5	27.9	35.3	-	10.3	10.3	11.8
18. チームで働く力 (チームワーク)	68	45.6	51.5	4.4	35.3	-	36.8	51.5	-	11.8	25.0	4.4
19. その他	68	23.5	8.8	7.4	17.6	-	4.4	16.2	-	1.5	10.3	64.7

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１～４）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解												
全 体	68	69.1	27.9	5.9	50.0	1.5	10.3	26.5	1.5	14.7	23.5	7.4
看護学科	10	70.0	30.0	-	40.0	-	10.0	10.0	-	-	-	30.0
福祉学科	15	60.0	33.3	-	66.7	-	20.0	40.0	6.7	33.3	33.3	6.7
栄養学科	7	57.1	28.6	-	57.1	-	14.3	28.6	-	28.6	-	-
英語学科	8	62.5	25.0	12.5	-	12.5	-	12.5	-	12.5	37.5	12.5
観光文化学科	10	60.0	40.0	10.0	50.0	-	20.0	20.0	-	10.0	10.0	-
助産別科	5	100.0	-	-	80.0	-	-	-	-	-	20.0	-
生活創造学科	3	100.0	66.7	-	-	-	-	66.7	-	-	33.3	-
保育科	10	80.0	10.0	20.0	70.0	-	-	40.0	-	10.0	50.0	-
2. 市民性・公共性、社会参加意欲												
全 体	68	30.9	22.1	7.4	30.9	1.5	27.9	44.1	-	25.0	8.8	5.9
看護学科	10	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	30.0	-	-	-	20.0
福祉学科	15	26.7	26.7	6.7	53.3	-	46.7	46.7	-	53.3	6.7	6.7
栄養学科	7	42.9	28.6	-	28.6	-	-	42.9	-	28.6	-	14.3
英語学科	8	25.0	25.0	25.0	12.5	-	12.5	50.0	-	12.5	12.5	-
観光文化学科	10	20.0	20.0	20.0	40.0	-	40.0	50.0	-	40.0	10.0	-
助産別科	5	60.0	-	-	60.0	20.0	40.0	40.0	-	-	-	-
生活創造学科	3	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-
保育科	10	50.0	20.0	-	10.0	-	20.0	50.0	-	10.0	30.0	-
3. 論理的思考力、判断力												
全 体	68	58.8	36.8	1.5	41.2	-	5.9	20.6	-	8.8	16.2	10.3
看護学科	10	60.0	60.0	-	40.0	-	-	10.0	-	-	10.0	20.0
福祉学科	15	60.0	66.7	-	53.3	-	6.7	26.7	-	20.0	6.7	13.3
栄養学科	7	71.4	14.3	-	28.6	-	-	14.3	-	28.6	-	-
英語学科	8	75.0	25.0	-	37.5	-	12.5	12.5	-	-	12.5	-
観光文化学科	10	30.0	10.0	10.0	30.0	-	10.0	20.0	-	10.0	30.0	20.0
助産別科	5	80.0	20.0	-	80.0	-	-	-	-	-	40.0	-
生活創造学科	3	-	100.0	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-
保育科	10	70.0	10.0	-	40.0	-	10.0	30.0	-	-	30.0	10.0
4. 課題発見・問題解決力												
全 体	68	45.6	44.1	7.4	51.5	1.5	13.2	23.5	-	8.8	19.1	11.8
看護学科	10	40.0	70.0	-	50.0	-	-	-	-	-	10.0	20.0
福祉学科	15	53.3	60.0	13.3	80.0	-	20.0	20.0	-	26.7	13.3	6.7
栄養学科	7	57.1	42.9	-	42.9	-	-	42.9	-	14.3	-	14.3
英語学科	8	37.5	37.5	12.5	25.0	-	25.0	12.5	-	-	37.5	-
観光文化学科	10	30.0	30.0	10.0	40.0	-	20.0	20.0	-	10.0	30.0	30.0
助産別科	5	60.0	20.0	20.0	80.0	20.0	-	20.0	-	-	40.0	-
生活創造学科	3	-	100.0	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-
保育科	10	60.0	10.0	-	50.0	-	20.0	40.0	-	-	20.0	10.0

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（５～８）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
5. 責任感												
全 体	68	38.2	38.2	4.4	54.4	1.5	25.0	57.4	—	14.7	20.6	5.9
看護学科	10	40.0	50.0	—	50.0	—	10.0	50.0	—	10.0	20.0	20.0
福祉学科	15	53.3	46.7	6.7	53.3	—	40.0	60.0	—	26.7	20.0	6.7
栄養学科	7	57.1	28.6	—	85.7	—	14.3	28.6	—	28.6	—	—
英語学科	8	12.5	25.0	12.5	37.5	12.5	25.0	75.0	—	—	25.0	—
観光文化学科	10	30.0	40.0	—	70.0	—	40.0	80.0	—	20.0	20.0	—
助産別科	5	40.0	20.0	20.0	80.0	—	20.0	—	—	—	20.0	—
生活創造学科	3	33.3	66.7	—	—	—	33.3	100.0	—	—	—	—
保育科	10	30.0	30.0	—	40.0	—	10.0	60.0	—	10.0	40.0	10.0
6. 創造力												
全 体	68	44.1	32.4	2.9	30.9	4.4	13.2	14.7	—	13.2	5.9	11.8
看護学科	10	50.0	30.0	—	50.0	—	20.0	—	—	—	—	20.0
福祉学科	15	33.3	40.0	—	26.7	—	20.0	20.0	—	26.7	—	20.0
栄養学科	7	42.9	14.3	—	28.6	—	14.3	14.3	—	—	—	14.3
英語学科	8	62.5	25.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—	25.0	—
観光文化学科	10	30.0	50.0	10.0	—	—	10.0	20.0	—	40.0	—	10.0
助産別科	5	40.0	20.0	—	60.0	20.0	—	20.0	—	—	—	—
生活創造学科	3	33.3	66.7	—	—	—	33.3	33.3	—	—	—	—
保育科	10	60.0	20.0	10.0	50.0	—	10.0	20.0	—	10.0	20.0	10.0
7. 職業意識・勤労観												
全 体	68	32.4	20.6	8.8	45.6	2.9	7.4	36.8	—	8.8	26.5	8.8
看護学科	10	20.0	40.0	—	50.0	—	—	10.0	—	—	10.0	20.0
福祉学科	15	46.7	40.0	6.7	60.0	—	20.0	46.7	—	26.7	26.7	6.7
栄養学科	7	57.1	—	—	42.9	—	—	28.6	—	—	28.6	14.3
英語学科	8	12.5	—	25.0	25.0	12.5	12.5	50.0	—	12.5	37.5	—
観光文化学科	10	30.0	20.0	20.0	40.0	10.0	—	30.0	—	10.0	30.0	10.0
助産別科	5	20.0	—	20.0	60.0	—	—	40.0	—	—	20.0	—
生活創造学科	3	33.3	33.3	—	—	—	—	33.3	—	—	66.7	—
保育科	10	30.0	10.0	—	50.0	—	10.0	50.0	—	—	20.0	10.0
8. 自己管理力												
全 体	68	25.0	22.1	2.9	35.3	4.4	20.6	41.2	2.9	5.9	22.1	11.8
看護学科	10	50.0	20.0	—	50.0	—	10.0	30.0	—	—	10.0	20.0
福祉学科	15	20.0	26.7	—	46.7	—	26.7	40.0	6.7	26.7	20.0	6.7
栄養学科	7	28.6	—	14.3	—	—	—	14.3	—	—	14.3	42.9
英語学科	8	25.0	12.5	—	25.0	25.0	25.0	75.0	—	—	37.5	—
観光文化学科	10	20.0	30.0	—	20.0	—	40.0	60.0	—	—	30.0	—
助産別科	5	40.0	20.0	—	60.0	20.0	—	20.0	—	—	20.0	—
生活創造学科	3	—	66.7	—	—	—	—	33.3	—	—	33.3	—
保育科	10	10.0	20.0	10.0	50.0	—	30.0	40.0	10.0	—	20.0	20.0

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（9～12）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
9. 倫理観												
全 体	68	41.2	26.5	8.8	35.3	—	16.2	39.7	—	11.8	25.0	11.8
看護学科	10	50.0	30.0	—	50.0	—	20.0	30.0	—	—	20.0	20.0
福祉学科	15	33.3	33.3	13.3	33.3	—	20.0	53.3	—	26.7	6.7	13.3
栄養学科	7	57.1	28.6	—	14.3	—	14.3	28.6	—	—	14.3	28.6
英語学科	8	75.0	25.0	25.0	12.5	—	12.5	37.5	—	12.5	50.0	—
観光文化学科	10	20.0	20.0	20.0	30.0	—	20.0	60.0	—	10.0	30.0	—
助産別科	5	60.0	—	—	80.0	—	—	—	—	—	20.0	—
生活創造学科	3	—	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3	33.3	—
保育科	10	30.0	40.0	—	50.0	—	20.0	40.0	—	10.0	40.0	20.0
10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）												
全 体	68	20.6	32.4	4.4	36.8	4.4	22.1	35.3	1.5	16.2	20.6	7.4
看護学科	10	20.0	50.0	—	70.0	—	10.0	10.0	—	—	10.0	20.0
福祉学科	15	6.7	46.7	—	33.3	—	33.3	53.3	6.7	33.3	13.3	6.7
栄養学科	7	28.6	—	—	28.6	—	14.3	42.9	—	14.3	14.3	—
英語学科	8	37.5	25.0	—	12.5	25.0	12.5	37.5	—	—	37.5	—
観光文化学科	10	10.0	20.0	10.0	20.0	—	30.0	50.0	—	50.0	30.0	—
助産別科	5	40.0	—	20.0	80.0	20.0	20.0	—	—	—	20.0	—
生活創造学科	3	33.3	66.7	—	—	—	—	33.3	—	—	33.3	—
保育科	10	20.0	40.0	10.0	40.0	—	30.0	30.0	—	—	20.0	20.0
11. 生涯学習力												
全 体	68	45.6	19.1	4.4	27.9	1.5	4.4	13.2	4.4	8.8	22.1	16.2
看護学科	10	30.0	30.0	10.0	50.0	—	—	—	—	—	20.0	30.0
福祉学科	15	53.3	40.0	6.7	33.3	—	6.7	—	13.3	26.7	33.3	6.7
栄養学科	7	57.1	—	—	—	—	—	42.9	—	—	—	28.6
英語学科	8	37.5	—	12.5	12.5	—	—	25.0	12.5	—	25.0	—
観光文化学科	10	30.0	20.0	—	10.0	10.0	10.0	20.0	—	20.0	30.0	20.0
助産別科	5	80.0	20.0	—	80.0	—	—	—	—	—	—	—
生活創造学科	3	66.7	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—
保育科	10	40.0	10.0	—	30.0	—	10.0	20.0	—	—	20.0	30.0
12. コンピュータやインターネットを活用する力												
全 体	68	83.8	27.9	5.9	25.0	—	1.5	5.9	1.5	1.5	16.2	4.4
看護学科	10	70.0	30.0	—	50.0	—	—	10.0	—	—	10.0	20.0
福祉学科	15	73.3	26.7	13.3	26.7	—	6.7	—	—	—	20.0	6.7
栄養学科	7	100.0	42.9	—	28.6	—	—	14.3	—	14.3	—	—
英語学科	8	87.5	25.0	—	—	—	—	12.5	—	—	25.0	—
観光文化学科	10	80.0	30.0	—	30.0	—	—	10.0	—	—	20.0	—
助産別科	5	80.0	20.0	20.0	60.0	—	—	—	—	—	20.0	—
生活創造学科	3	100.0	100.0	—	—	—	—	—	33.3	—	—	—
保育科	10	100.0	—	10.0	—	—	—	—	—	—	20.0	—

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（13～16）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア活動、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
13. 英語力												
全 体	68	58.8	4.4	4.4	-	7.4	2.9	4.4	4.4	1.5	2.9	29.4
看護学科	10	40.0	-	-	-	-	10.0	10.0	-	-	-	50.0
福祉学科	15	46.7	13.3	6.7	-	-	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	33.3
栄養学科	7	57.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9
英語学科	8	87.5	12.5	-	-	37.5	-	12.5	12.5	-	12.5	-
観光文化学科	10	90.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	-
助産別科	5	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	40.0
生活創造学科	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
保育科	10	60.0	-	10.0	-	-	-	-	10.0	-	-	30.0
14. 表現力												
全 体	68	66.2	48.5	4.4	38.2	2.9	7.4	10.3	-	4.4	22.1	7.4
看護学科	10	50.0	80.0	10.0	50.0	-	-	-	-	-	-	20.0
福祉学科	15	73.3	46.7	-	66.7	-	13.3	6.7	-	6.7	26.7	6.7
栄養学科	7	57.1	28.6	-	42.9	-	14.3	42.9	-	14.3	-	14.3
英語学科	8	50.0	50.0	-	-	25.0	-	12.5	-	-	25.0	-
観光文化学科	10	70.0	70.0	-	20.0	-	10.0	-	-	10.0	40.0	-
助産別科	5	100.0	-	20.0	60.0	-	-	-	-	-	40.0	-
生活創造学科	3	66.7	100.0	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-
保育科	10	70.0	20.0	10.0	30.0	-	10.0	20.0	-	-	20.0	10.0
15. コミュニケーション能力												
全 体	68	45.6	47.1	2.9	45.6	7.4	50.0	72.1	1.5	19.1	19.1	5.9
看護学科	10	30.0	50.0	-	70.0	-	30.0	50.0	-	-	20.0	20.0
福祉学科	15	66.7	46.7	-	40.0	-	60.0	86.7	-	33.3	13.3	6.7
栄養学科	7	71.4	28.6	-	57.1	-	28.6	71.4	-	28.6	-	-
英語学科	8	37.5	50.0	12.5	25.0	25.0	37.5	50.0	-	12.5	50.0	-
観光文化学科	10	40.0	50.0	10.0	40.0	20.0	60.0	90.0	10.0	30.0	20.0	-
助産別科	5	80.0	40.0	-	60.0	20.0	60.0	60.0	-	-	40.0	-
生活創造学科	3	-	66.7	-	-	-	100.0	100.0	-	33.3	-	-
保育科	10	20.0	50.0	-	50.0	-	50.0	70.0	-	10.0	10.0	10.0
16. ビジネスマナー												
全 体	68	36.8	23.5	16.2	32.4	1.5	14.7	55.9	4.4	8.8	26.5	10.3
看護学科	10	40.0	40.0	20.0	50.0	-	10.0	40.0	-	-	10.0	20.0
福祉学科	15	20.0	26.7	13.3	26.7	-	13.3	66.7	6.7	26.7	26.7	6.7
栄養学科	7	28.6	14.3	-	42.9	-	14.3	57.1	-	-	14.3	42.9
英語学科	8	25.0	-	37.5	12.5	-	-	37.5	-	-	50.0	-
観光文化学科	10	40.0	30.0	20.0	30.0	10.0	30.0	70.0	20.0	10.0	40.0	10.0
助産別科	5	80.0	-	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-
生活創造学科	3	100.0	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-
保育科	10	30.0	30.0	10.0	40.0	-	20.0	80.0	-	10.0	30.0	-

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（17～19）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
17. リーダーシップ												
全 体	68	20.6	36.8	2.9	20.6	1.5	27.9	35.3	-	10.3	10.3	11.8
看護学科	10	20.0	40.0	-	60.0	-	10.0	20.0	-	-	10.0	20.0
福祉学科	15	26.7	46.7	-	6.7	-	46.7	33.3	-	13.3	6.7	6.7
栄養学科	7	14.3	28.6	-	14.3	-	28.6	42.9	-	28.6	-	28.6
英語学科	8	12.5	12.5	-	25.0	-	25.0	37.5	-	-	25.0	-
観光文化学科	10	20.0	40.0	10.0	-	10.0	30.0	50.0	-	30.0	20.0	10.0
助産別科	5	40.0	20.0	-	80.0	-	-	20.0	-	-	-	-
生活創造学科	3	-	100.0	-	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-
保育科	10	20.0	30.0	10.0	-	-	30.0	40.0	-	-	-	20.0
18. チームで働く力（チームワーク）												
全 体	68	45.6	51.5	4.4	35.3	-	36.8	51.5	-	11.8	25.0	4.4
看護学科	10	60.0	50.0	10.0	70.0	-	40.0	40.0	-	-	30.0	20.0
福祉学科	15	53.3	60.0	-	33.3	-	53.3	60.0	-	13.3	26.7	6.7
栄養学科	7	57.1	42.9	-	42.9	-	14.3	42.9	-	28.6	-	-
英語学科	8	25.0	37.5	12.5	12.5	-	12.5	50.0	-	-	37.5	-
観光文化学科	10	40.0	50.0	10.0	20.0	-	60.0	80.0	-	40.0	40.0	-
助産別科	5	60.0	20.0	-	80.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-
生活創造学科	3	33.3	100.0	-	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-
保育科	10	30.0	60.0	-	20.0	-	40.0	50.0	-	-	10.0	-
19. その他												
全 体	68	23.5	8.8	7.4	17.6	-	4.4	16.2	-	1.5	10.3	64.7
看護学科	10	20.0	10.0	-	-	-	-	10.0	-	-	-	80.0
福祉学科	15	26.7	6.7	6.7	20.0	-	6.7	13.3	-	6.7	20.0	60.0
栄養学科	7	57.1	28.6	-	42.9	-	-	28.6	-	-	-	42.9
英語学科	8	12.5	-	12.5	12.5	-	-	12.5	-	-	25.0	62.5
観光文化学科	10	10.0	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	90.0
助産別科	5	20.0	-	-	60.0	-	20.0	40.0	-	-	-	40.0
生活創造学科	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7
保育科	10	30.0	10.0	30.0	20.0	-	10.0	20.0	-	-	20.0	60.0

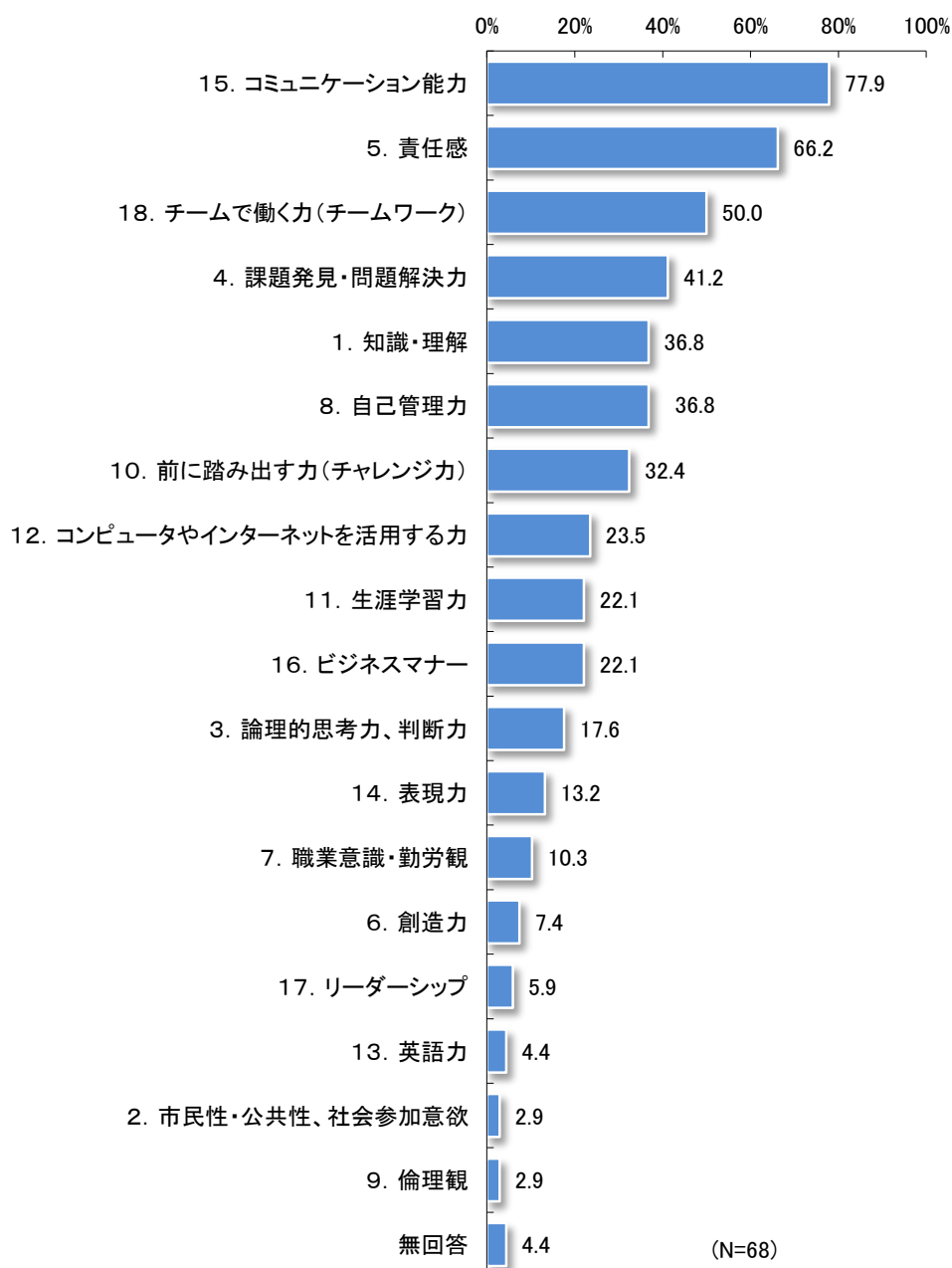
④ 仕事をする上で重要だと思う事

問 ②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思うものについて、5つまでその番号をご記入ください。

仕事をする上で重要だと思うことは、「15. コミュニケーション能力」(77.9%) が最も多く、次いで「5. 責任感」(66.2%)、「18. チームで働く力(チームワーク)」(50.0%) となっている。

学科別にみると、概ね全体結果と同様の傾向を示しているが、看護学科では「9. 倫理観」、英語学科では「17. リーダーシップ」、助産学科では「11. 生涯学習力」、生活創造学科では「6. 創造力」を重要視する人が他学科に比べ際立って多くなっている。

【仕事をする上で重要だと思うこと】



第1章 卒業生アンケート

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	5. 責任感	18. チームワークで働く力 (チームワーク)	4. 課題発見・問題解決力	1. 知識・理解	8. 自己管理能力	10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	12. コンピュータやインターネットを活用する力	11. 生涯学習力	16. ビジネスマナー
全体	68	77.9	66.2	50.0	41.2	36.8	36.8	32.4	23.5	22.1	22.1
看護学科	10	80.0	70.0	30.0	20.0	50.0	50.0	30.0	10.0	30.0	10.0
福祉学科	15	73.3	66.7	53.3	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	26.7	13.3
栄養学科	7	85.7	85.7	14.3	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9	-	42.9
英語学科	8	87.5	25.0	37.5	62.5	25.0	-	62.5	25.0	12.5	25.0
観光文化学科	10	80.0	70.0	60.0	30.0	30.0	30.0	30.0	40.0	20.0	40.0
助産別科	5	60.0	80.0	80.0	60.0	60.0	40.0	40.0	-	60.0	-
生活創造学科	3	100.0	100.0	100.0	-	-	-	66.7	-	-	33.3
保育科	10	70.0	60.0	60.0	30.0	30.0	60.0	20.0	30.0	20.0	20.0

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (2/2)】 (%)

	全体 (人)	3. 論理的思考力、判断力	14. 表現力	7. 職業意識・勤労観	6. 創造力	17. リーダーシップ	13. 英語力	2. 社会参加意欲・市民性・公共性、社会性	9. 倫理観	無回答
全体	68	17.6	13.2	10.3	7.4	5.9	4.4	2.9	2.9	4.4
看護学科	10	30.0	10.0	-	-	10.0	-	-	20.0	10.0
福祉学科	15	13.3	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	6.7	-	-
栄養学科	7	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	-
英語学科	8	12.5	-	12.5	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5
観光文化学科	10	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	-
助産別科	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
生活創造学科	3	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-
保育科	10	20.0	20.0	-	10.0	-	-	-	-	10.0

〔7〕大学時代で有意義だった授業

問 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

大学時代に有意義だったと思う授業について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【研究室・ゼミ、実習・演習・インターンシップについて】

（回答者数：40/68人[58.8%]）

学科	自由回答
看護学科	実習の体制は整っていたと非常に思いました。
福祉学科	実習は、ソーシャルワーカーとして必要な知識や技術を肌で感じる事が出来、とても有意義だったと思います。
	相談援助実習および実習指導で意欲が高まり、現在福祉の業界で働いています。また、心理の実験はWISC・K式などの見方を知るのに最適であった。社福各講義ではたくさんの知識を得ることができ、感謝しかないです。
	養護の看護実習。実際に医療の現場に何日間もいることで自分の学びに不足しているものを知り、働き出した今でも、あのときの実習で得た知識が役に立っている。
	相談援助演習や実習では、先生方が親身になってご指導して下さい、当時の経験や学びが今の自分につながっていると思います。
観光文化学科	インターンシップ、卒業した先輩方(色々な職種の方)のお話を聞く授業。また、卒業生ということで本音での話を聞けたのが良かった。3年生になり段々と就活を意識し始めた頃、何から取りかかったらいいのかわからなかったが、この授業を受け、自分の方向性等が決まった気がした。
	・社会人の方からの話を聞いた授業(T先生の授業)→社会人の視点からキャリアについてお話をきく機会があまりなかったため。
	・N先生の英語の授業→英語の力をつけることができた。
助産別科	ゼミ: 経済について学ぶことができたから。
	解剖生理学や基礎看護・助産学(現場でスキルを高めるまでの根本となる内容だから)
	実習(臨床現場から学べる事、実際に患者さんと関わって分かる事考えることが多くあったため)
	講義で得た技術や知識を実際の現場で照らし合わせることができるため。
	・北九州総合医療センターのドクターが授業に来られて、臨床の経験をもとに話をして頂いたこと。
	・マッサージの授業。
	・マタニティビクスの授業。

生活創造学科	K先生の授業(ゼミ活動) 自分で考えて行動・実行するといった授業で、特にゼミ活動は大変だったが、とても充実した学生生活を過ごせた。ゼミ活動で行った小倉城や井筒屋でのイベントで学んだことは、実際に会社に入った後、活かしていると思う。
保育科	体を動かしてうたったりあそんだりした授業。→このおかげで現在、発表会等で悩んでも思い出しながらできる。 みんなで作った劇。→発表会の行事だけでなく日頃の保育でも、あの経験があるだけで全然ちがう。
	実践、実習、造形は日々役に立っている。(毎日保育する上で使わなくてはいけないから)
	F先生のゼミでの活動。自分の意見を言いやすく、話し合い等も楽しくできた為。
	造形や運動あそびの授業→現場で役に立つから

【パソコン、グループワーク・実験、マナー講座について】

学科	自由回答
看護学科	グループ発表等で意見を言うこと、パワポを作ったり今でも役立っています。
福祉学科	・グループワーク 人との意見交換、まとめる力、聞く力、表現力が必要となり人と関わる仕事には重要となるため。 ・法律や憲法 知っていると知らないで大違い、これからの生活に必要な知識、また人に教えられるようになれる。
栄養学科	栄養学の専門的な授業は、もちろんですが、思った以上に情報リテラシー等の、エクセル、ワード、パワーポイントを活用した授業が役に立っていると感じる。
英語学科	ビジネスマナー。
生活創造学科	ビジネスマナー、パソコン、生活創造論、調理、運動。
	・ビジネスマナーを学ぶ講義。

【資格、語学、留学について】

学科	自由回答
英語学科	多読：英語に対する抵抗がなくなったため。 英語主体の講義：耳が慣れ、自然と異国空間でもできていたため
	カナダへのホームステイ。普段、体験できないことができたから。英語しか使わない環境がよかった。自分のためになった。
	一年間の英国留学。自宅生であり、海外へ行くことも初めてでした。自分の力で毎日を過ごすことに取り組めて自信になりました。
	外国人の先生のパソコン授業です。英語で理解し、パソコン操作するなどけっこうハードルが高かったと思う。ビジネス英語、国際関係など、今の時代になくてはならない授業だと思います。
観光文化学科	・ゼミ活動、アジア文化交流研修 語学力を重視し、中国上海に約1ヵ月行きましたが、現地の方々と交流し生活する中で、語学だけではなく経済やコミュニケーション力など多くの事を学ぶことができ強く印象に残っています。自分の目で見て実際に体験・経験したことは大切だと思います。
	大学の講義だけでなく、それ以外の地域貢献活動や、1ヶ月の海外研修など、様々な事に参加したこと。海外研修では、身近に海外を感じることができ、添乗やお客様とお話をする際に自分が体験したことなので、より伝えやすいです。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	感染と免疫の授業。仕事上役に立つし、根拠をもって分かりやすく講義してもらったから。
福祉学科	・看護学・心理学・養護教諭免許取得に関する授業→興味がある分野の科目だったのでとても勉強になりました。ボランティアの科目（名前を忘れましたが…）も児童クラブに行きましたが、実際に子どもたちと関わってスタッフの先生方から直接学べるいい機会になりました。
	実践的な授業を経験したことで、現在の仕事のアイデアにつながっている。
	臨床の話聞くことが出来る講義は、実際のイメージもつくので良かったです。
栄養学科	心理学、PCを使った講義などは受講できて良かったなと思います。 （→どのような職についても役に立つ為。）
観光文化学科	社会学・経済系の授業。あまり新聞を読まない学生だったので、世の中の仕組みを学べる授業は興味を持って受講できました。
	特に名前までは覚えていませんが、発表をしなければいけない自分で考える授業が良かった。K先生がしてくださった、旅行商品をつくり発表？するような授業がとくに心に残ってます。
助産別科	専門分野の医師や講師が講義して下さったので、それぞれの授業が良かったです。
保育科	「子どもの心理学」保育士としても自分で子育てする上でも非常に役立つと思う。
	パネルシアター等を手作りした授業は当時は大変だったけど、就職してとても役に立ちました。

【その他】

学科	自由回答
福祉学科	どの授業も仕事をする上で必要な知識や技術を学び、実際に活用できている部分も多いので、非常に有意義でした。
観光文化学科	K先生の授業。
保育科	全て→全て仕事に役立つ授業だったから。

〔8〕大学の講義以外で希望する支援・経験

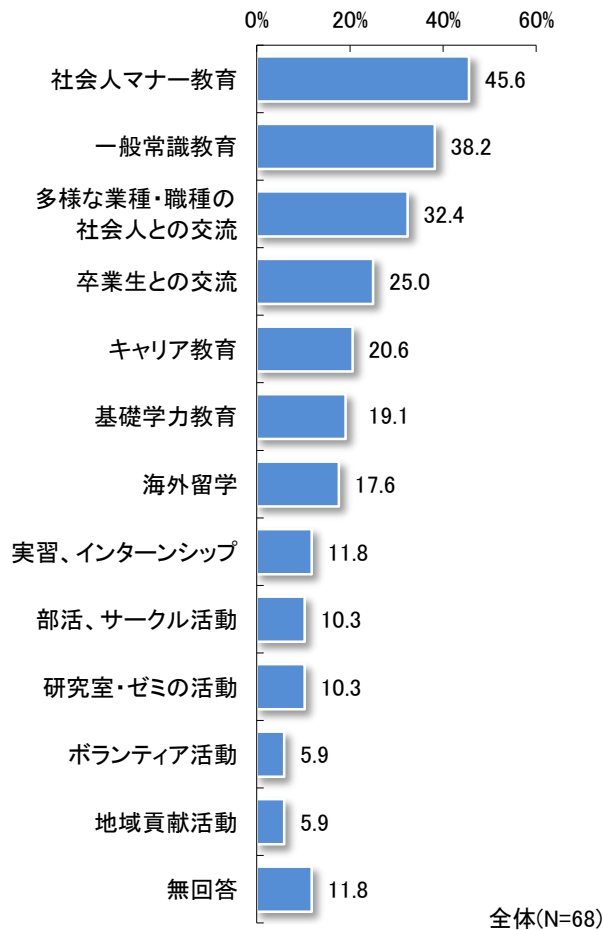
問 大学に対して講義以外でもっと支援してもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。

また、具体的な内容があればご記入ください。

大学に希望する支援・経験は、「社会人マナー教育」（45.6％）が最も多く、次いで「一般常識教育」（38.2％）、「多様な業種・職種の社会人との交流」（32.4％）となっている。

学科別にみると、福祉学科では「ボランティア活動」、英語学科では「キャリア教育」、「実習、インターンシップ」、「海外留学」、観光文化学科では「部活、サークル活動」を希望する人がそれぞれ他学科に比べて多くなっている。

【大学の講義以外で希望する支援・経験】



※回答のなかった選択肢は省略

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	社会人 マナー 教育	一般常識 教育	多様な業種・職種の 社会人との交流	卒業生との交流	キャリア 教育	基礎学力 教育	海外留学
全体	68	45.6	38.2	32.4	25.0	20.6	19.1	17.6
看護学科	10	20.0	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	-
福祉学科	15	46.7	46.7	46.7	26.7	26.7	33.3	6.7
栄養学科	7	57.1	71.4	28.6	28.6	14.3	28.6	42.9
英語学科	8	37.5	37.5	37.5	12.5	50.0	12.5	62.5
観光文化学科	10	70.0	10.0	30.0	20.0	10.0	20.0	20.0
助産別科	5	40.0	40.0	40.0	40.0	-	-	20.0
生活創造学科	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-
保育科	10	50.0	40.0	30.0	40.0	10.0	20.0	-

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	実習、 インターン シップ	部活、 サークル活動	研究室・ゼミの活動	ボランティア活動	地域貢献活動	無回答
全体	68	11.8	10.3	10.3	5.9	5.9	11.8
看護学科	10	20.0	20.0	20.0	-	-	30.0
福祉学科	15	13.3	-	6.7	20.0	6.7	6.7
栄養学科	7	-	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
英語学科	8	37.5	12.5	12.5	-	-	-
観光文化学科	10	10.0	30.0	-	-	20.0	-
助産別科	5	-	-	-	-	-	40.0
生活創造学科	3	-	-	-	-	-	33.3
保育科	10	-	-	20.0	-	-	-

大学の講義以外で希望する支援・経験の具体的な内容について自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

(回答者数:16/68人[23.5%])

学科	自由回答
看護学科	卒業生、先輩とかかわる機会があればすごく参考になると思う。色々な話を聞けるし。 (自分が卒業して大学に行く時間を確保することが出来るかは別にして)
福祉学科	実際にMSWとして働かれている方のお話を伺える機会があればと思いました。
	学生時代、学業、実習、アルバイトの繰り返しだったので、もっと積極的にボランティアに参加し、様々な人と出会い勉強だけでは得られないものを知りたかったです。
	実際に現場で働いている人の声をもっときけたら、就職時に役に立ったのではないかと 思った。
	PSWとして働いているのですが、他職種から見た”PSW”とは、聞いてみたかったです。 専門のことと共に社会人として必要なことを学ぶ必要があった。
栄養学科	東京に出て、地方は不利であるということを実感した。もっと幅広い世界を見られる場が あればと思った。
	エントリーシートの書き方等の就職活動に必要な知識。
英語学科	留学した後にスムーズに大学で単位がとれるようにする仕組みをもっと早く始めてほし かった。外国でのインターンシップ等もシステムがあれば体験してみたかった。
	お茶の出し方、電話対応、名刺交換等。
	ビジネスマナー、敬語力、美文字(ボールペン)講座。
	学生の頃から大人の人と話すという経験をたくさんしていたら、社会人になったときの ギャップが少なくなると思う。
助産別科	情報提供をもっとしてもらいたかった。
保育科	製作の基礎やコツをもっと充実した授業があったら、1年2年目は楽だったと思う。
	実習生としての心構え、社会人になるマナーを基礎から教えるべき。日誌の書き方など、 特に厳しくすべき。
	実際に各地方で働く先輩ともっと交流したかった。と今は思います。

〔9〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【大学への感謝について】

（回答人数：21/68人[30.9%]）

学科	自由回答
看護学科	在学中はグループワーク等面倒だと思っていたが、委員会の発表や課題の発表などで役に立っている。「西南の出身ならパソコンも研修も慣れてるから大丈夫だね」等言われるとうれしくなる。
福祉学科	大学で学んだことを活かしながら、やりたかった仕事も出来て充実した日々を過ごせています。 卒業した今でも西南女学院で学べて良かったと思っています。素敵な友人、先生方、たくさんの方々から様々なものを得ました。今後のご発展をお祈りしています。
英語学科	4年間お世話になりました。
観光文化学科	大学四年間はあっという間でしたが、多くの経験をさせていただきました。今年の4月から社会人四年目になります。同じ会社でこれまで働き続けてこれたことは、就活をしっかりとってきたこと、就職課の皆様やゼミの先生に多くの助言を頂けたことがあったからだと思っています。ありがとうございました。いつでも後輩達の力になりたいと思っていますので、私で宜しければ何でも協力させてください。
助産別科	私にとって、とても有意義な一年間でした。西女で学べたことを就職してからでも感謝しています。
生活創造学科	私自身、生活創造学科で学んだことは社会人になった今とても活かしている事が多く、こうして合同ガスのショールームに配属され仕事が出来ているのも、生活創造学科という学科で学ぶことが出来たからだだと思います。専門的な学問というより、会社に入ってから必要なスキルを身に付けることが出来、改めてこの学部を卒業できて良かったです。尚更学部がなくなってしまう惜しい気持ちもありますが、とても感謝しています。

【先生への感謝について】

学科	自由回答
看護学科	看護学科の先生方には当時非常に良くして頂きました。本当にありがとうございました。
福祉学科	実習はすごく大変だったと思っていましたが、今働くようになって実習のありがたさがよく身に染みえています。ありがとうございました。 パワーポイントを使った発表の仕方、手紙の書き方などなど、日常生活、就職したうえで必要な“あたりまえ”と思われるが実際には欠けていることも多かったのを改めてたくさんの事を教えて頂いてとても役に立ちました。
助産別科	先生方の教育支援は手厚いと思う。学生自らが先生へ質問したりすれば可能な時間に丁寧にサポートして下さいました。自身を伸ばすためには積極的に先生方へ教えを求めに行くことが大切だと思う。実習病院が遠いのは大変だった。

【大学への要望】

学科	自由回答
看護学科	学費が高い。奨学金制度が充実していると良かった。サークル活動や、身内に不幸があった時の学生課の対応に不満を感じた。
福祉学科	教員採用試験前、国試前だけでなく、1年生の頃からテスト前は図書館を活用して学習することが多くありました。しかし、多くの人が活用するのに座席数が足りず、座れないことの方が多かったのが残念です。食堂は隣の人や後ろの人との間隔がほとんどなくて狭く、メニューも少なくて高いと感じていました。(九工大に行くと同じメニューでも量が多くて値段も安い。)図書館や食堂は多くの人が活用する場なので、改善してほしいと思いました。
	国家試験に落ちたが卒業後の仕事への支援が全くなく、憤り不満を感じる。何のために西南女学院大学へ入学したか、非常に残念である。高額な授業料を払い、将来に希望を持って入学したのであるが、就職活動への支援が全くない。入学を後悔する。
	社会人のマナー教育として2コマほどあったと記憶していますが、あまり役に立たなかったです。身なりはもちろんですが、メール・手紙を送る時のマナーや、基本的な名刺の渡し方など実践的なことを教えてほしいです。
	同期で集まる機会を設けてほしいです！みんながどんな経験をしているのか情報交換会をしたいです。
英語学科	社会人としてのマナーや必要な力が少しでも身に付くように、コミュニケーション能力やビジネスマナー、キャリア教育等の講義があればよりよいと思います。
	語学力をもっと強化してほしい。英語＋○語と2か国語での力をつけたかった。
保育科	英語学科だったのに海外留学に手厚くないところ。
	キリストから学ぶことは本当に多かったのですが、このままキリストの教えを伝えていってほしい。またそこから心温かい「先生」が増えていってほしいと思う。一般職につきたい子も多いと思うが、もっと大学の先生がたの方からも、「幼稚園教諭」の魅力を伝えてほしい。どうしても悪いところに目が行ってしまうと思うので、良いところ、楽しいところを色んな視点から教えてあげてください。
	西女保育科の評判は他の短大に比べて、今も変わらず一番良いです。ぜひこのままで良い先生が育つよう、教育を宜しく願います。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2018年度（平成30年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2019年度（令和元年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、卒業生アンケートの総括とする。

▶現在の仕事について

＜就業状況、業種＞

2017年3月卒業生の2019年12月時点の在職状況は、95.6%が就労中、未就労は4.4%となっており、卒業後2年9カ月経過時点で大半の卒業生が就労中となっている。

卒業生が勤務先で携わっている主な職種を学科別にみると、看護学科は「看護師」（100.0%）、福祉学科は「養護教諭」（20.0%）、栄養学科は「管理栄養士」（42.9%）、英語学科は「事務」（50.0%）、観光文化学科は「事務」、「接客」、「営業」（いずれも22.2%）、助産別科は「助産師」（100.0%）、生活創造学科は「接客」（66.7%）、保育科は「幼稚園教諭」、「保育士」（37.5%）の割合が高く、それぞれ学科の特性を活かした職種に就いている様子が見えてくる。

また、在学生に対して尋ねた学生調査と比較すると、将来進みたいキャリアとして、看護学科は「医療・看護系」、福祉学科は「保育・子ども系」や「学校・教育系」、「福祉・介護系」、栄養学科は「食・栄養系」、観光文化学科は「運輸・通信系」や「旅行・ホテル・ブライダル系」が高くなっており、学生時代の希望と実際の進路が一致していることから、概ね卒業生が希望の進路に進んでいることが分かる。

一方、転職の状況について、現在の勤務先が卒業時と変わっていない人が72.3%、転職した人が20.0%となっているが、栄養学科では転職した人が57.1%と他学科に比べ高く、前回調査からも引き続き転職率が高い傾向を示している。

また、「転職した」に着目して前回調査と比較すると、全体で13.5%から20.0%と6.5ポイント増加している。

【現在の勤務先を「転職した」の割合】

	全体	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	助産	生活創造	保育
今回調査 (N=65)	20.0	20.0	33.3	57.1	12.5	11.1	0	0	0
前回調査 (N=141)	13.5	0	14.3	30.8	0	16.7	0	14.3	15.4

＜雇用形態、勤務先の満足度＞

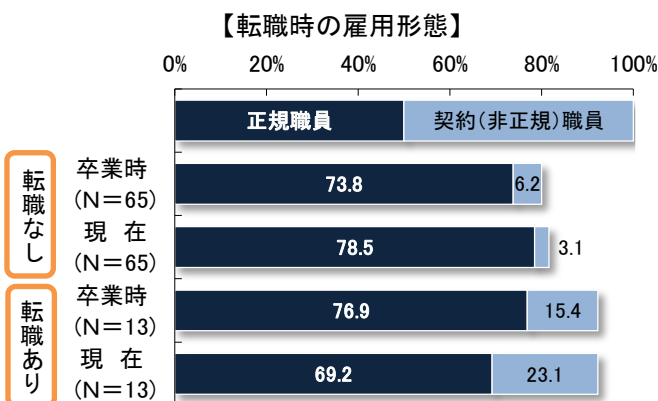
卒業時の雇用形態をみると、正規職員の割合が全体で73.8%であるのに対し、栄養学科で42.9%と他学科に比べ正職率が低い様子が見えてくる。また、栄養学科は卒業時（42.9%）から現在（42.9%）までに正規職員の割合は変化していない。

現在の勤務先の満足度をみると、満足している人は全体で49.2%となっており、満足していない人（13.8%）を上回っている。学科別にみると、看護学科・福祉学科・助産別科の満足度は半数を占めるのに対し、英語学科・保育科ではともに37.5%、生活創造学科では33.3%と満足度にばらつきがあり、学科によって満足度に差がみられる。

＜転職＞

転職しなかった人は、卒業時から現在までに正規職員への登用がやや増加している（卒業時73.8%⇒現在78.5%）。

一方、転職した人は、卒業時よりも「正規職員」の割合が減少し、「契約（非正規）職員」の割合が増加している。転職した人よりも、転職せずに継続して働いている人の方が正規職員の登用率が高く、この結果は前回調査でも同様の傾向を示している。



転職した理由について、少数ではあるが傾向をみると、前回調査と概ね同様の理由が上位に挙げられている。しかし、前回調査では「社風・職場の雰囲気」が3位に入っているのに対し、今回調査では上位3位には入っておらず、代わりに「休日」（30.8%で2位）や「給与」、「勤務地」、「将来性」（23.1%で3位）などの項目が入っている。

転職理由は職種や職場環境によって大きく異なると想定されるが、「休日」や「給与」「勤務地」などの待遇面を重視する人が多い様子がうかがえる。

【転職した理由】

	今回調査 (N=13)	前回調査 (N=19)
1位	仕事内容 (38.5%)	仕事内容 (68.4%)
2位	休日 人間関係 (ともに30.8%)	人間関係 (31.6%)
3位	給与 勤務地 将来性 (ともに23.1%)	社風・職場の雰囲気 (26.3%)

▶就職全般について

就業状況や雇用形態、勤務先の満足度から、前回調査結果と同様に、大半の卒業生が正規職員で採用され、一定数の転職希望はあるものの、現在の職場には概ね満足している卒業生が半数近くおり、卒業時から転職せずに現在の職場で経験を積んでいる様子がうかがえる。

在学生に対する学生調査の結果と関連付けてみると、看護学科や福祉学科、保育科については、もともと本校の志望理由として「就職や将来のことを考えて」進学先に選んだ学生が多く、在学中に希望した進路に実際に進んでいる卒業生が多いことを踏まえると、大学から就職までは比較的スムーズに移行できていると考えられる。

しかしながら、観光文化学科に多い、大学あるいは学部・学科の特色にひかれて入学した学生については、在学中はいいものの、在学中に得た学習成果を就職先で活かすことができない、または当初希望していた職種に就けなかった、想像していた仕事内容でなかったなどのケースにおいては、転職希望も高い傾向がうかがえる。

そうした意味で、入学時から卒業時までに、将来の進路をある程度明確に意識させること、また、仕事内容など卒業してから大きなギャップを感じないように、職場環境や仕事内容を具体的にイメージできるように在学中からの進路支援も必要であると考えられる。

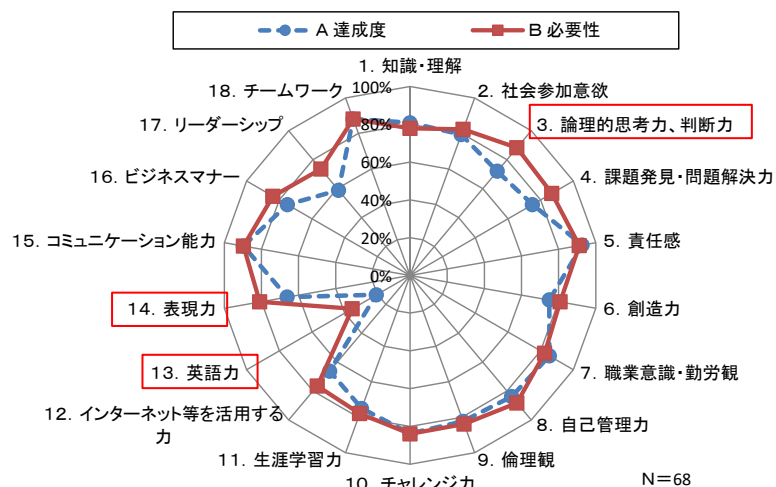
また、学生調査によると、在学中に就職活動をした（している）学生のうち、約半数が「一定の段階で転職も考える」と回答していることから、転職については抵抗がない学生も多いが、実際に社会に出て転職する人は全体の2割弱にとどまっており、卒業後から転職せずにキャリアを積む卒業生が多いことは一定の評価に値する。

▶大学・短期大学部で受けた教育について【大学・短期大学部での達成度と仕事上における必要性】

<達成度と必要性>

大学・短期大学部で得た力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「役に立つ」+「やや役に立つ」）として分析した。なお、達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

達成度は、「責任感」、「コミュニケーション能力」、「チームで働く力（チームワーク）」の順に高くなっており、これら達成度が高い項目については達成度と必要性の差が小さく、大学・短期大学部で身につけた力が仕事上において大いに役立っていると考えられる。



一方、必要性が高いのに対し、達成度が低い項目は「論理的思考力、判断力」で特にその差が大きく16.2ポイント必要性の方が高い。また、「英語力」、「表現力」、「リーダーシップ」等の差も見受けられ、総じて主体性が求められる分野の達成度が低いと感じている卒業生が多い。

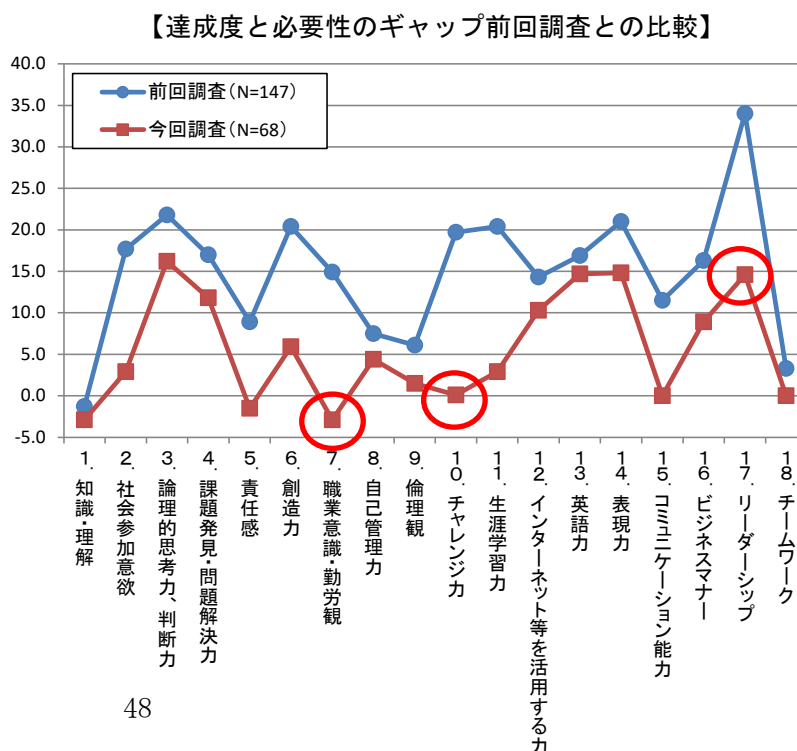
学科別に達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）をみると、看護学科では「表現力」、福祉学科では「ビジネスマナー」、栄養学科では「英語力」、英語学科では「論理的思考力、判断力」「チームワーク」、観光文化学科では「生涯学習力」、助産学科では「生涯学習力」、「ビジネスマナー」、生活創造学科では「論理的思考力、判断力」、「英語力」、保育科では「コンピュータやインターネットを活用する力」でギャップが大きい。

<達成度と必要性のギャップ（前回調査との比較）>

達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）について前回調査と比較を行った。

図のように、前回調査と今回調査で差が大きいほど、達成度と必要性のギャップが大きくなっていると考えられる。

前回調査と比べると、総じてギャップが小さくなっている様子が見て取れる。特にギャップが小さくなっているのは、「チャレンジ力」（19.6ポイント差）、「リーダーシップ」（19.4ポイント差）、「職業意識・勤労観」（17.8ポイント差）である。



＜能力やスキルを身につけるために役立ったこと＞

能力やスキルを身につけるにあたり、多くの卒業生が大学での講義が役立ったと回答している。特に「コンピュータやインターネットを活用する力」、「知識・理解」、「表現力」については大学での講義を挙げる人が多い。

一方、「チームワーク」については研究室やゼミ活動で培い、「課題発見・問題解決力」、「責任感」は実習・インターンシップで、「コミュニケーション能力」や「ビジネスマナー」はアルバイトが役立ったと感じている。このように、大学の講義だけでなく、ゼミ活動や実習、アルバイトなどを通じて必要な能力やスキルを習得している様子がうかがえる。

また、社会で必要とされる能力やスキルに対し、卒業生が特に達成度が低いと感じている「論理的思考力、判断力」、「英語力」、「表現力」については、講義や研究室、ゼミ活動での習得率が高いため、今後はこうした社会で必要とされる能力やスキルの習得を意識した在学中からの指導が必要だと言える。

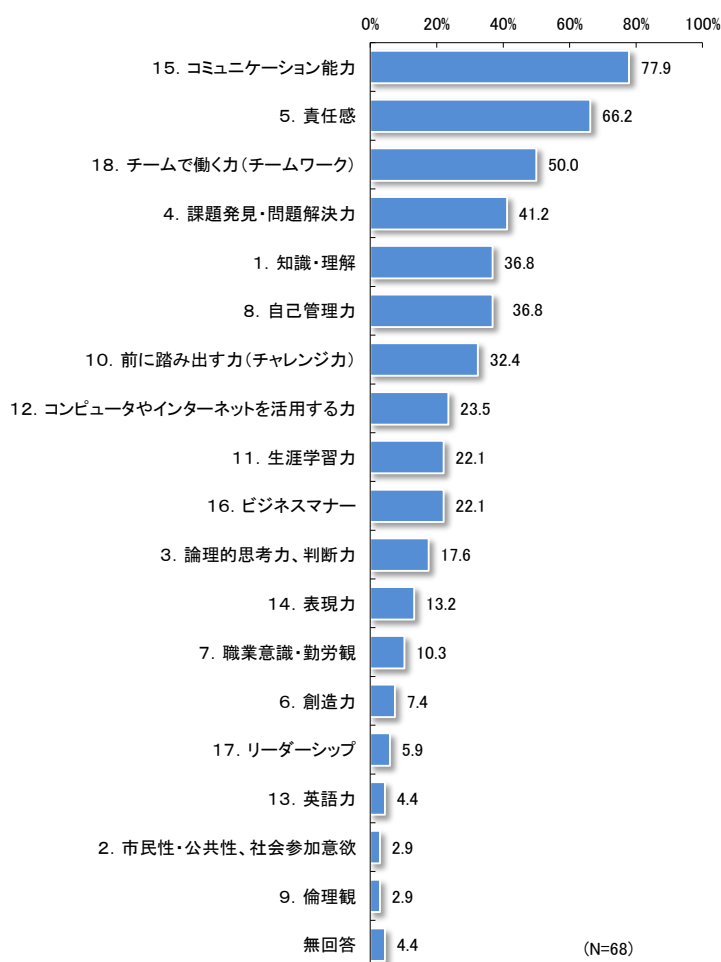
＜仕事をする上で重要だと思う事＞

仕事をする上で重要だと思う事については、「コミュニケーション能力」や「責任感」、「チームワーク」が上位に挙げられた。

これは、大学・短期大学部で身につけた力やスキルにおける達成度が高い項目とも一致しており、大学・短期大学部で学んだことや経験したことが仕事をする上でも役立っていると考えられる。

また、前回調査においても同様の結果となっており、「コミュニケーション能力」と「チームワーク」、「責任感」は業種や職種に関わらず仕事をする上で特に重要視されていることが分かる。

【仕事をする上で重要だと思う事】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2019年3月卒業生 就職受け入れ事業所
調査方法	郵送配布・回収
回収数	169 事業所
調査時期	2019年12月23日～2020年1月17日 ※2020年3月31日までに大学到着分まで集計に含む
回収率	下表の通り

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
看護学科	40	13	32.5% (33.3%)
福祉学科	65	35	53.8% (58.2%)
栄養学科	57	30	52.6% (48.5%)
英語学科	32	6	18.8% (39.4%)
観光文化学科	59	26	44.1% (53.7%)
助産別科	13	6	46.2% (30.8%)
全体	266	116	43.6% (47.3%)

()内の前年度回収率

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
生活創造学科	-	-	0.0% (60.0%)
保育科	75	53	70.7% (64.1%)
全体	75	53	70.7% (63.3%)

()内の前年度回収率

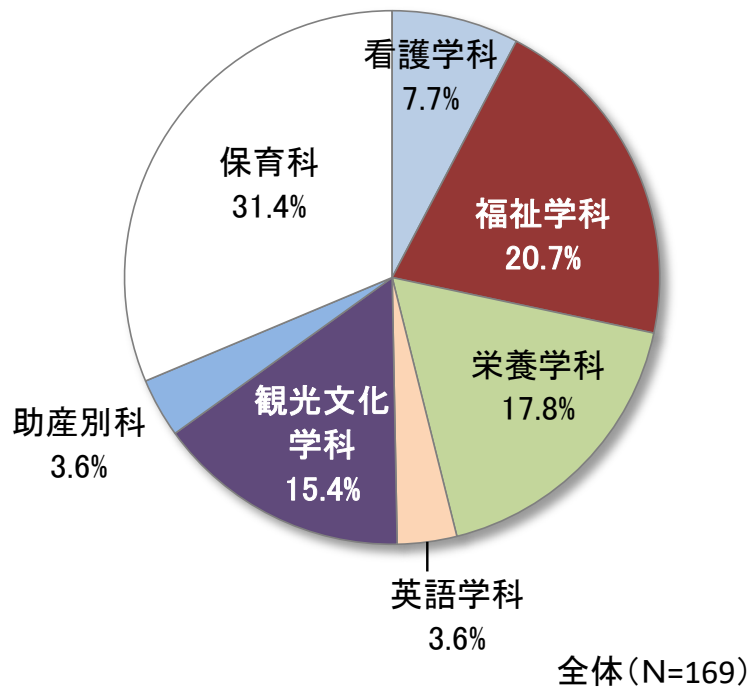
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

2. 調査結果

〔1〕回答者について

【卒業した学科】



〔2〕仕事に必要な能力

① 必要性と達成度（全体）

問 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

就職受け入れ先からみた、現在の仕事においてのスキルや能力について、全体的にほとんどの項目は『必要である』（必要である＋やや必要である）とされており、なかでも「8. 自己管理能力」（95.9%）、「15. コミュニケーション能力」、「5. 責任感」（いずれも 95.8%）、「7. 職業意識・勤労観」（95.3%）、「9. 倫理観」、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」（いずれも 95.2%）が 95%を超え上位に挙げられている。また、「必要である」の割合に着目した場合、「15. コミュニケーション能力」、「5. 責任感」（いずれも 91.1%）が特に必要視されている様子が見える。

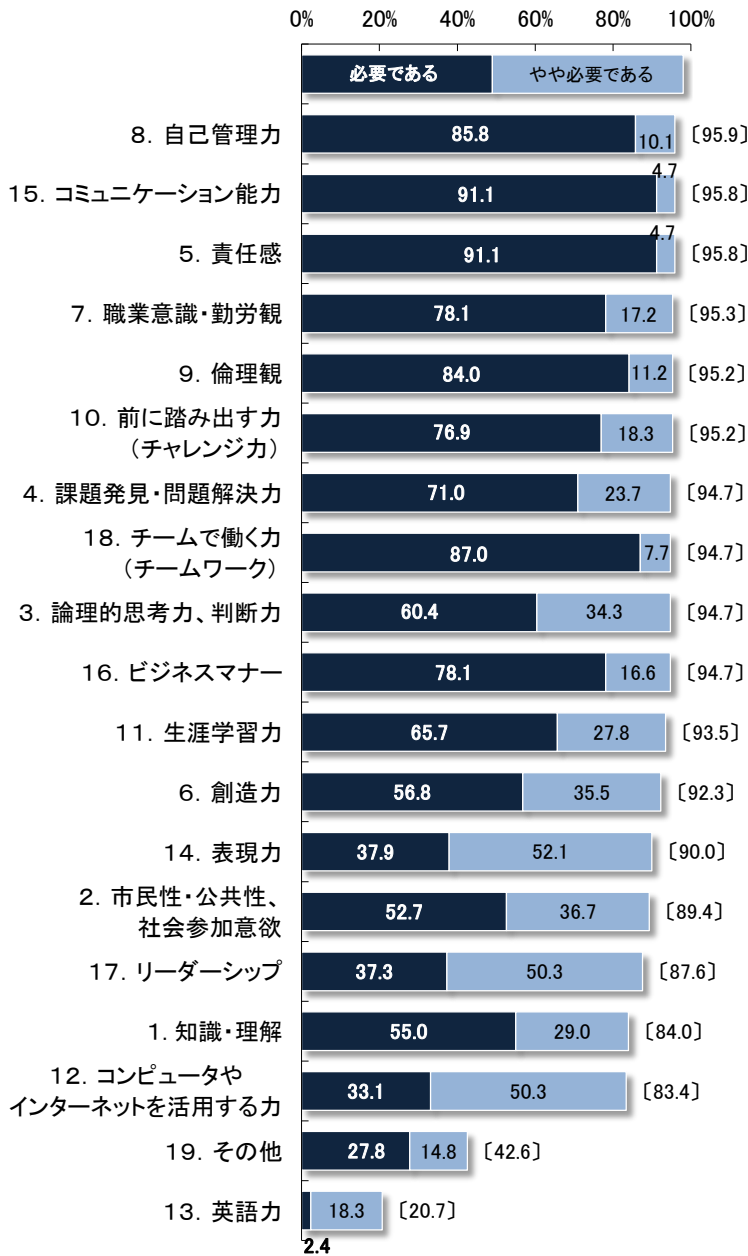
一方、卒業生が力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価されている項目をみると、「9. 倫理観」（87.6%）が最も多く、ついで「8. 自己管理能力」（85.8%）である。しかし、求められる能力に対し、卒業生の達成度は総じて低い傾向にある。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【仕事に必要な能力】

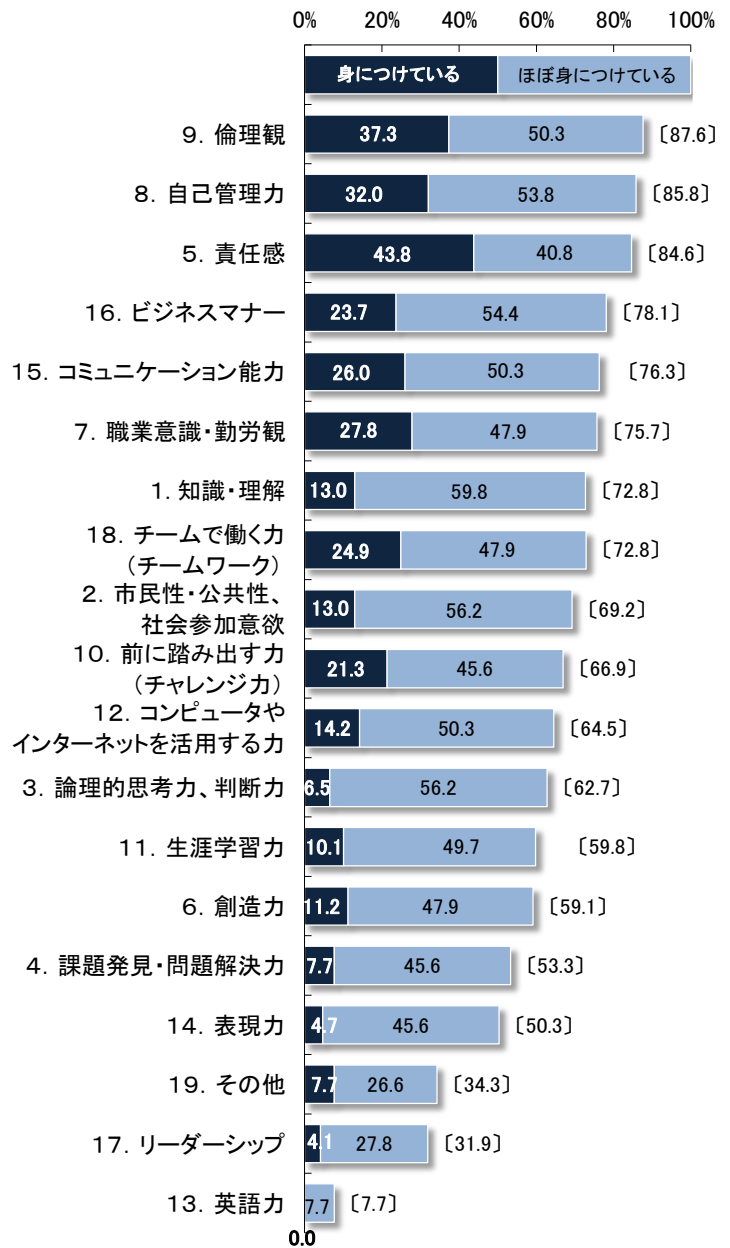
必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=169)



達成度

西南女学院大学卒業生の力やスキル
(各項目ともN=169)



注1) 必要性の選択肢は「必要である」「やや必要である」「あまり必要でない」「必要でない」の4段階

注2) 必要性の〔 〕は「必要である」+「やや必要である」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある

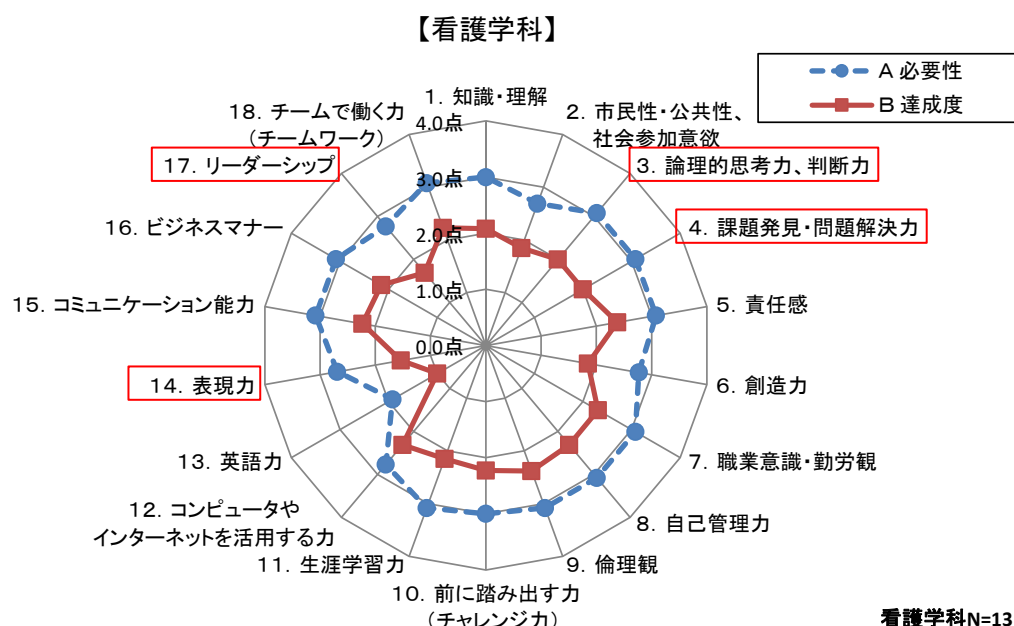
注1) 達成感の選択肢は「身につけている」「ほぼ身につけている」「あまり身につけていない」「身につけていない」「わからない」の5段階

注2) 達成感の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

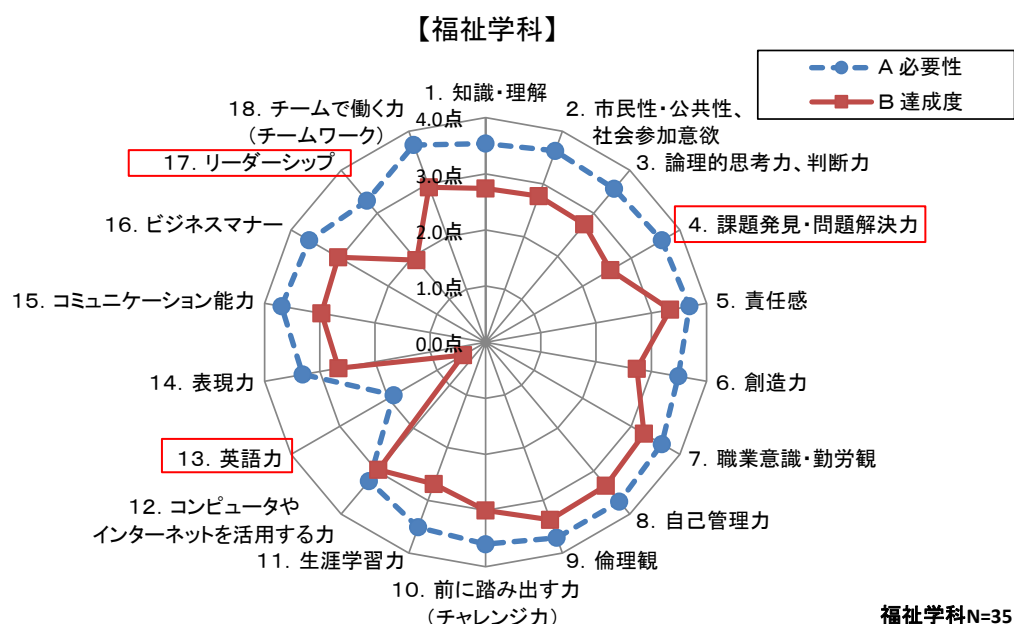
② 必要性和達成度（学科別）

必要性和達成度について、「必要である」「身につけている」=4点、「やや必要である」「ほぼ身につけている」=3点、「あまり必要でない」「あまり身につけていない」=2点、「必要でない」「身につけていない」=1点として配点し、必要性和達成度の各項目の平均点を算出した。必要性和達成度を比較し、仕事に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。達成度と必要性的の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

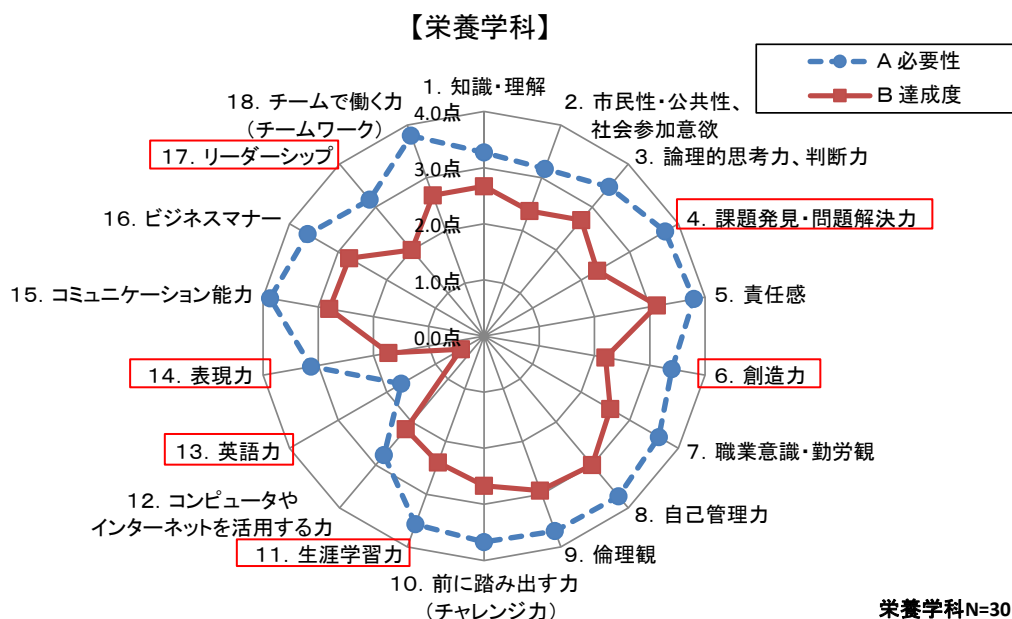
看護学科では、「14. 表現力」の必要性が達成度よりも1.15ポイント高くなっており、次いで「3. 論理的思考力、判断力」、「4. 課題発見・問題解決力」、「17. リーダーシップ」が1.08ポイント高くなっている。



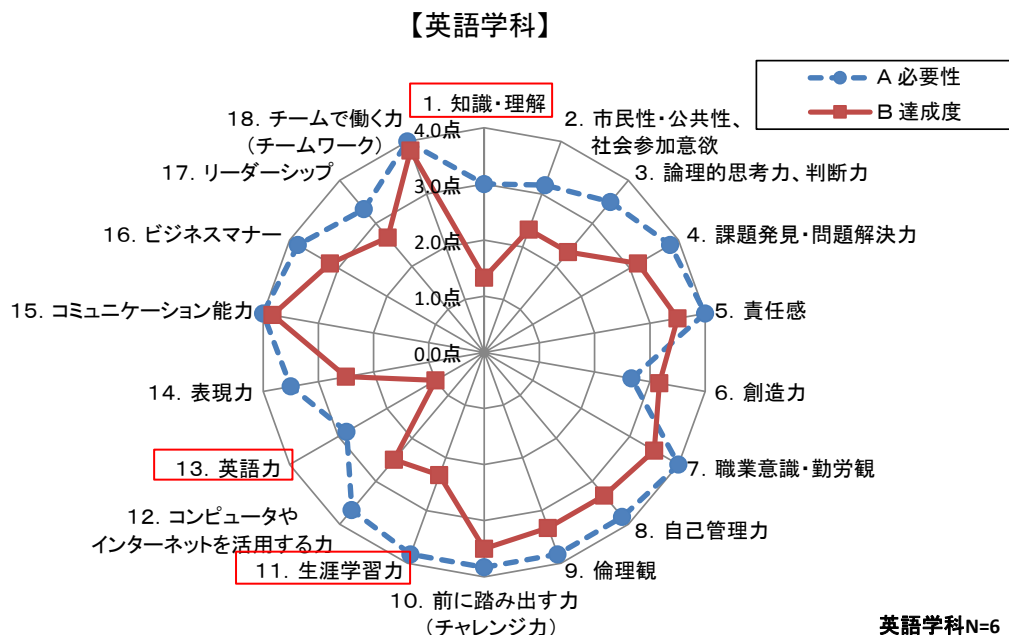
福祉学科では、「13. 英語力」の必要性が達成度よりも1.43ポイント高く、次いで「17. リーダーシップ」が1.38ポイント、「4. 課題発見・問題解決」が1.06ポイント高くなっている。



栄養学科では、「4. 課題発見・問題解決力」、「14. 表現力」で必要性が達成度よりも 1.40 ポイント高くなっている。次いで、「6. 創造力」、「11. 生涯学習力」、「13. 英語力」、「17. リーダーシップ」が 1.20 ポイント高くなっている。



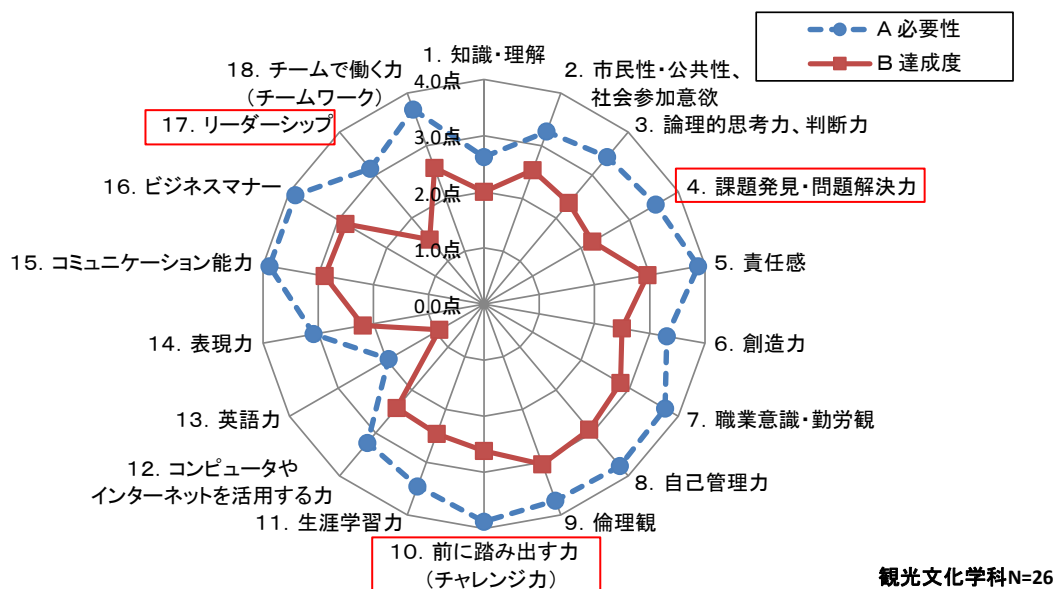
英語学科では、「13. 英語力」の必要性が達成度よりも 1.83 ポイント高くなっており、次いで「1. 知識・理解」が 1.67 ポイント、「11. 生涯学習力」が 1.50 ポイント高くなっている。一方、「6. 創造力」の達成度は必要性よりも 0.50 ポイント高くなっていることから「6. 創造力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多いことがうかがえる。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

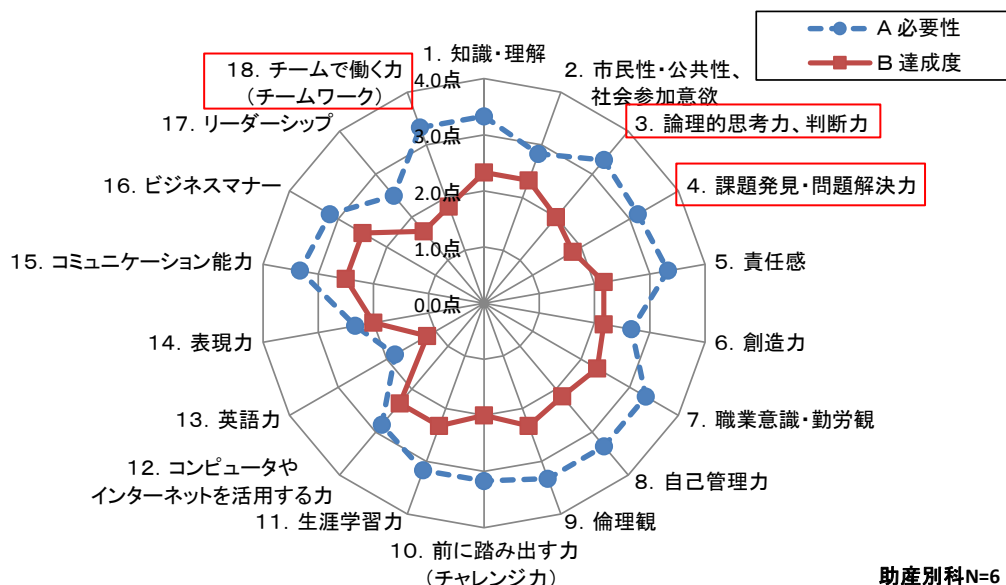
観光文化学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 1.65 ポイント高くなっており、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が 1.31 ポイント、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」が 1.26 ポイント高くなっている。

【観光文化学科】

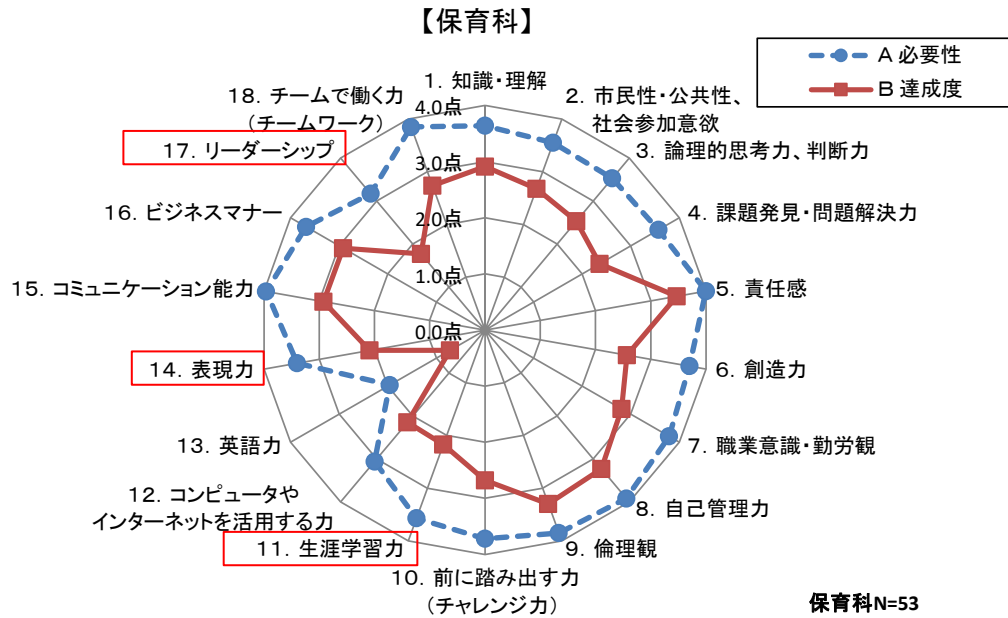


助産別科では、「18. チームで働く力（チームワーク）」の必要性が達成度よりも 1.50 ポイント高くなっており、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が 1.34 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 1.33 ポイント高くなっている。

【助産別科】



保育科では、「11. 生涯学習力」、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 1.40 ポイント高くなっており、次いで「14. 表現力」が 1.31 ポイント高くなっている。すべての項目において必要性が達成度よりも高くなっている。

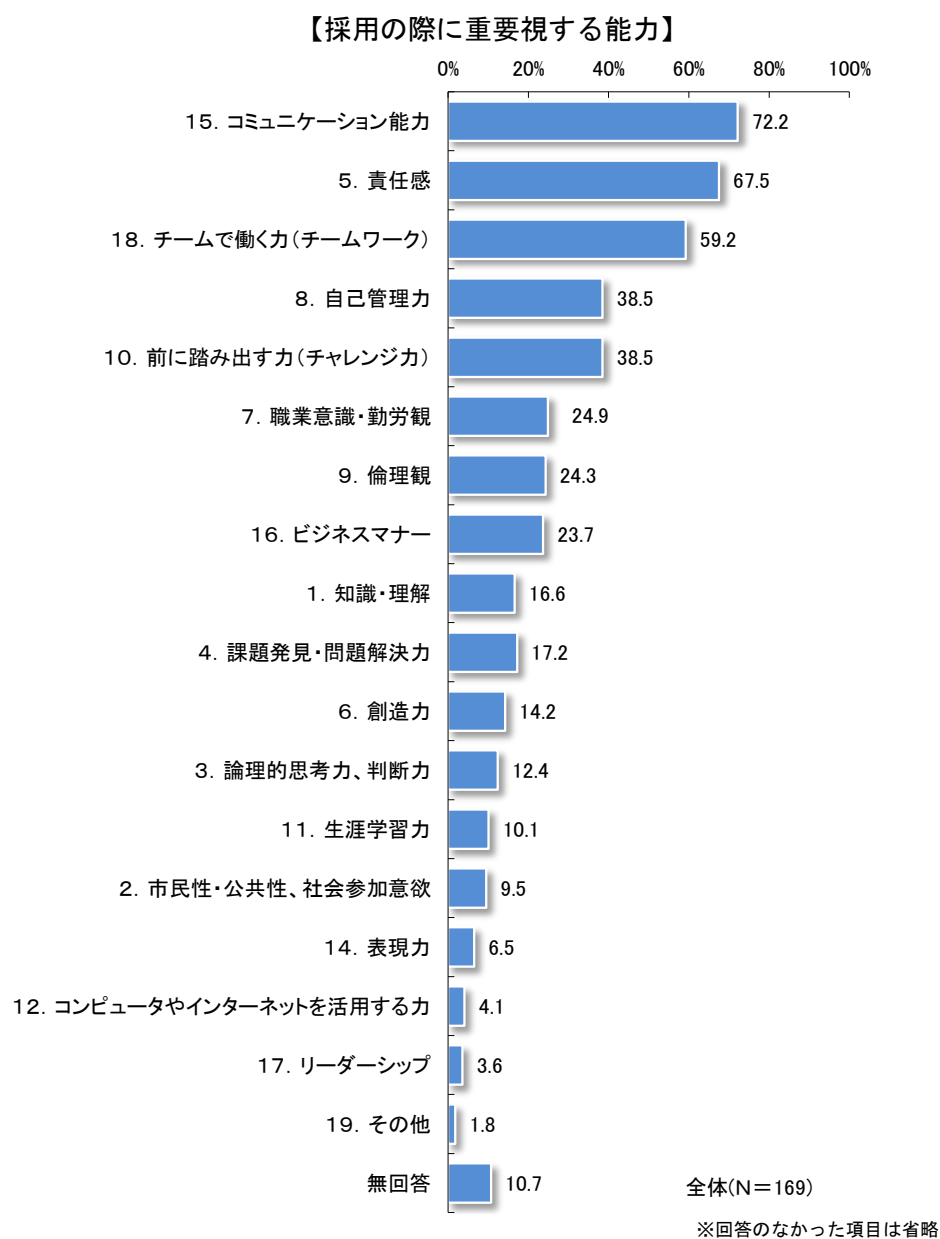


③ 採用の際に重要視する能力

問 採用の際、重要視する能力上位5つに○をつけてください。

採用の際、重要視する能力は、「15. コミュニケーション能力」(72.2%)が最も多く、次いで「5. 責任感」(67.5%)、「18. チームで働く力(チームワーク)」(59.2%)が約6割で高くなっている。

また、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」、「5. 責任感」、「18. チームで働く力(チームワーク)」の有無が重要とされていることがわかる。それ以外の項目では、「9. 倫理観」は看護学科で61.5%、「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」は英語学科で83.3%と、他学科と比べて高くなっている。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 採用の際に重要視する能力 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15. コミュニケーション能力	5. 責任感	18. チームで働く力 (チームワーク)	8. 自己管理能力	10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)	7. 職業意識・勤労観	9. 倫理観	16. ビジネスマナー	4. 課題発見・問題解決力	1. 知識・理解
全体	169	72.2	67.5	59.2	38.5	38.5	24.9	24.3	23.7	17.2	16.6
看護学科	13	61.5	53.8	38.5	46.2	23.1	7.7	61.5	30.8	0.0	23.1
福祉学科	35	65.7	71.4	68.6	37.1	28.6	25.7	31.4	20.0	8.6	17.1
栄養学科	30	80.0	70.0	50.0	33.3	40.0	13.3	20.0	16.7	33.3	16.7
英語学科	6	66.7	66.7	100.0	50.0	83.3	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7
観光文化学科	26	84.6	61.5	53.8	34.6	53.8	34.6	15.4	42.3	15.4	3.8
助産別科	6	66.7	50.0	33.3	50.0	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3
保育科	53	69.8	71.7	64.2	39.6	35.8	28.3	17.0	20.8	20.8	18.9

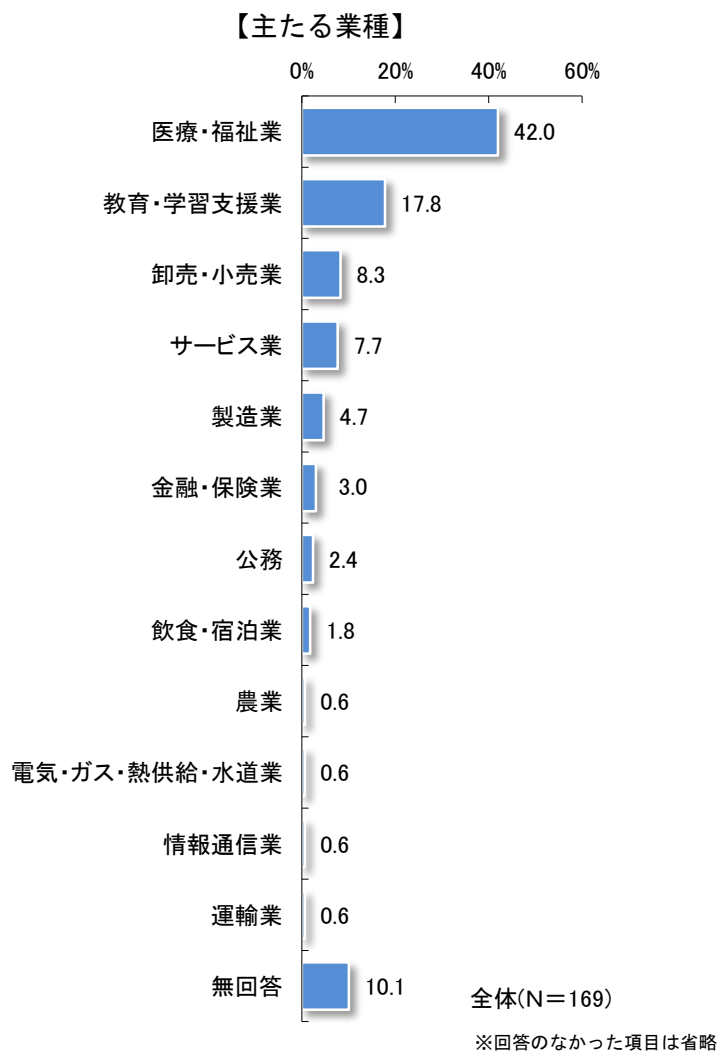
【学科別 採用の際に重要視する能力 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	6. 創造力	3. 論理的思考力、判断力	11. 生涯学習力	2. 市民性・公共性、社会参加意欲	14. 表現力	12. コンピュータやインターネットを活用する力	17. リーダーシップ	13. 英語力	19. その他	無回答
全体	169	14.2	12.4	10.1	9.5	6.5	4.1	3.6	0.0	1.8	10.7
看護学科	13	0.0	15.4	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
福祉学科	35	17.1	8.6	8.6	14.3	0.0	5.7	0.0	0.0	0.0	14.3
栄養学科	30	10.0	20.0	6.7	6.7	13.3	3.3	6.7	0.0	6.7	10.0
英語学科	6	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
観光文化学科	26	23.1	11.5	3.8	7.7	11.5	11.5	11.5	0.0	0.0	3.8
助産別科	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
保育科	53	17.0	7.5	15.1	11.3	7.5	0.0	1.9	0.0	1.9	9.4

〔3〕事業所の概要

問 主たる業種に○をつけてください。

事業所の主たる業種は「医療・福祉業」(42.0%) が最も多く、次いで「教育・学習支援業」(17.8%)、「卸売・小売業」(8.3%) となっている。



【学科別 主たる業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	医療・ 福祉業	教育・ 学習支援業	卸売・ 小売業	サー ビス業	製造業	金融・ 保険業	公務
全 体	169	42.0	17.8	8.3	7.7	4.7	3.0	2.4
看護学科	13	76.9	-	-	-	-	-	7.7
福祉学科	35	74.3	5.7	2.9	-	2.9	-	5.7
栄養学科	30	26.7	6.7	10.0	20.0	10.0	-	3.3
英語学科	6	16.7	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-
観光文化学科	26	-	-	30.8	23.1	7.7	15.4	-
助産別科	6	83.3	-	-	-	-	-	-
保育科	53	39.6	47.2	3.8	-	1.9	-	-

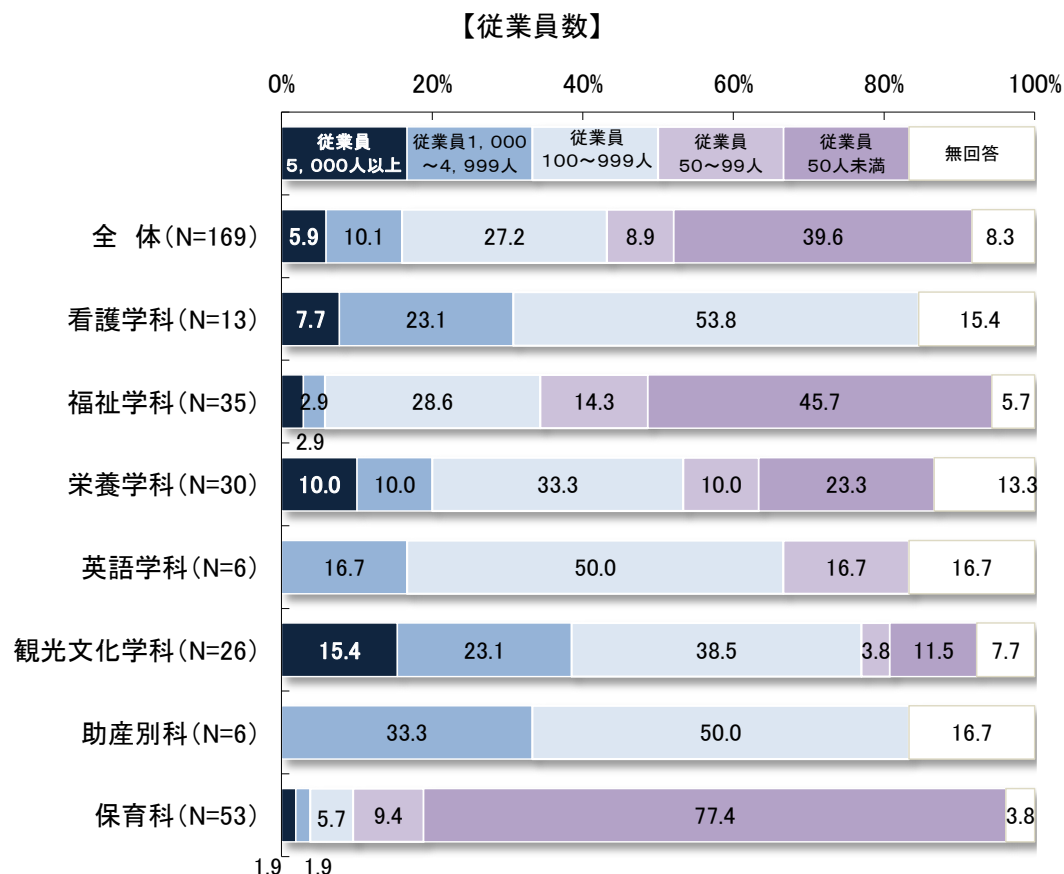
【学科別 主たる業種 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	飲食・ 宿泊業	農業	水道業	電気・ ガス・ 熱供給・ 情報通信業	運輸業	無回答	
全 体	169	1.8	0.6	0.6	0.6	0.6	10.1	
看護学科	13	-	-	-	-	-	15.4	
福祉学科	35	-	-	-	-	-	8.6	
栄養学科	30	3.3	-	-	3.3	-	16.7	
英語学科	6	-	-	-	-	-	16.7	
観光文化学科	26	7.7	3.8	-	-	3.8	7.7	
助産別科	6	-	-	-	-	-	16.7	
保育科	53	-	-	1.9	-	-	5.7	

問 従業員数に○をつけてください。

従業員数は、就職先全体では、「従業員 50 人未満」(39.6%) が最も多く、次いで「従業員 100～999 人」(27.2%)、「従業員 1,000～4,999 人」(10.1%) となっている。

学科別の従業員数をみると、他と比べて観光文化学科は「従業員 5,000 人以上」(15.4%) が他学科と比べて高く、保育科は「従業員 50 人未満」が 77.4% と高くなっている。



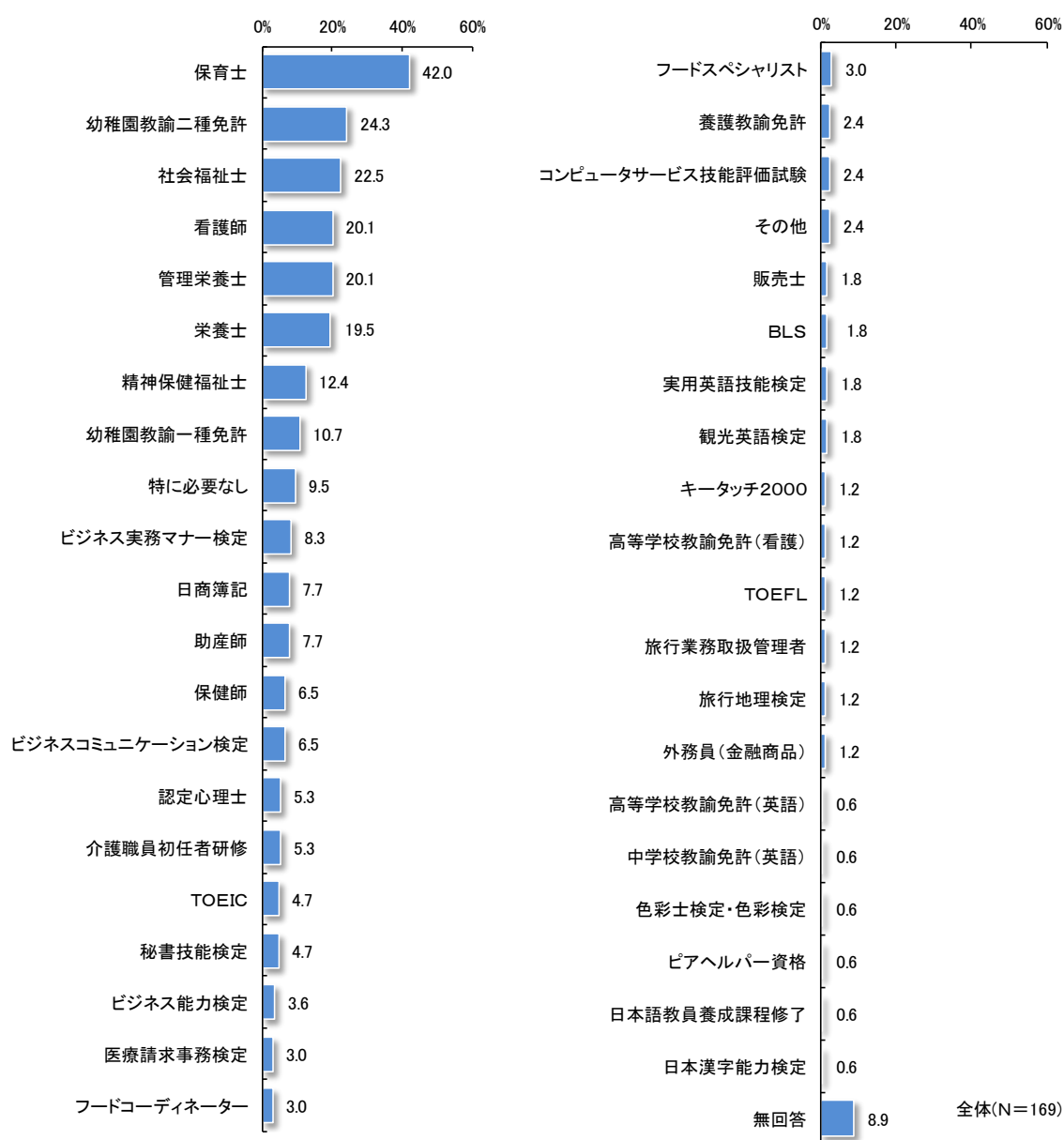
〔4〕学生に希望する資格や検定

問 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

学生に希望する資格や検定は、「保育士」(42.0%)が最も多く、次いで「幼稚園教諭二種免許」(24.3%)、「社会福祉士」(22.5%)、「看護師」、「管理栄養士」(いずれも20.1%)となっている。一方で、「特に必要なし」は9.5%である。

また、学科別にみると、看護学科と助産別科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」等、卒業学科に応じた専門性が求められている。

【学生に希望する資格や検定】



※回答のなかった選択肢は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 学生に希望する資格や検定 (1/3)】 (%)

	全体 (人)	保育士	幼稚園教諭二種免許	社会福祉士	看護師	管理栄養士	栄養士	精神保健福祉士	特に必要なし	幼稚園教諭一種免許	ビジネス実務マナー検定	助産師	日商簿記
全 体	169	42.0	24.3	22.5	20.1	20.1	19.5	12.4	10.7	10.7	8.3	7.7	7.7
看護学科	13	23.1	-	53.8	76.9	38.5	30.8	23.1	-	-	-	53.8	7.7
福祉学科	35	45.7	5.7	62.9	20.0	8.6	8.6	42.9	5.7	5.7	11.4	-	2.9
栄養学科	30	20.0	3.3	13.3	16.7	63.3	50.0	3.3	6.7	-	6.7	-	13.3
英語学科	6	-	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	50.0	-	-	-	-
観光文化学科	26	-	-	-	-	-	-	-	30.8	-	26.9	-	19.2
助産別科	6	16.7	-	16.7	83.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-	83.3	16.7
保育科	53	84.9	71.7	5.7	11.3	7.5	17.0	1.9	5.7	30.2	1.9	1.9	1.9

【学科別 学生に希望する資格や検定 (2/3)】 (%)

	全体 (人)	保育士	幼稚園教諭二種免許	社会福祉士	看護師	管理栄養士	栄養士	精神保健福祉士	特に必要なし	幼稚園教諭一種免許	ビジネス実務マナー検定	助産師	日商簿記	保健師	ビジネスコミュニケーション検定
全 体	169	42.0	24.3	22.5	20.1	20.1	19.5	12.4	10.7	10.7	8.3	7.7	7.7	6.5	6.5
看護学科	13	23.1	-	53.8	76.9	38.5	30.8	23.1	-	-	-	53.8	7.7	30.8	-
福祉学科	35	45.7	5.7	62.9	20.0	8.6	8.6	42.9	5.7	5.7	11.4	-	2.9	2.9	11.4
栄養学科	30	20.0	3.3	13.3	16.7	63.3	50.0	3.3	6.7	-	6.7	-	13.3	6.7	3.3
英語学科	6	-	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	50.0	-	-	-	-	16.7	-
観光文化学科	26	-	-	-	-	-	-	-	30.8	-	26.9	-	19.2	-	19.2
助産別科	6	16.7	-	16.7	83.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-	83.3	16.7	50.0	-
保育科	53	84.9	71.7	5.7	11.3	7.5	17.0	1.9	5.7	30.2	1.9	1.9	1.9	-	1.9

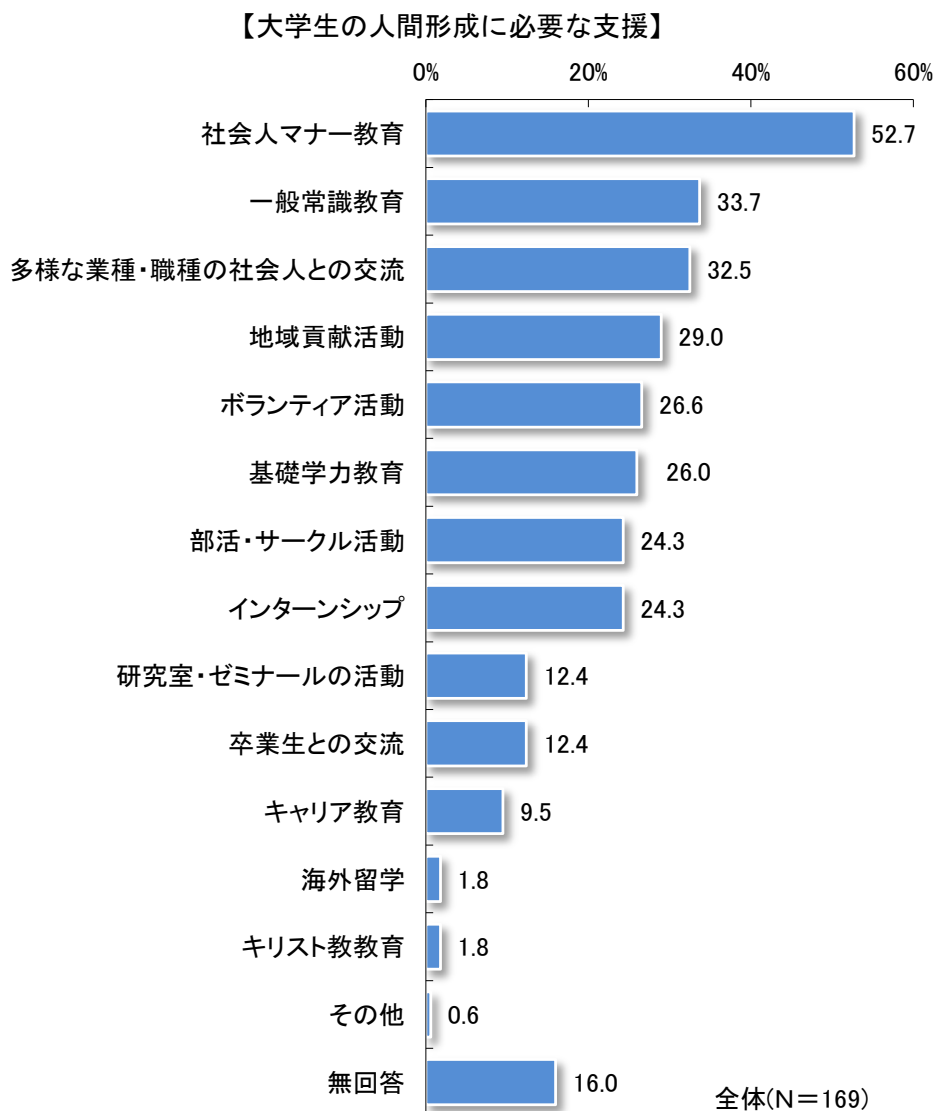
【学科別 学生に希望する資格や検定 (3/3)】 (%)

	全体 (人)	認定心理士	介護職員初任者研修	秘書技能検定	TOEIC	ビジネス能力検定	医療請求事務検定	フードコーディネーター	フードスペシャリスト	養護教諭免許	評価試験	コンピュータサービス技能	BLS	観光英語検定	販売士	実用英語技能検定
全 体	169	5.3	5.3	4.7	4.7	3.6	3.0	3.0	3.0	2.4	2.4	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
看護学科	13	23.1	7.7	7.7	-	-	7.7	-	-	-	-	15.4	-	-	-	-
福祉学科	35	5.7	11.4	-	2.9	2.9	2.9	-	-	11.4	2.9	-	-	-	-	2.9
栄養学科	30	3.3	10.0	3.3	3.3	-	6.7	10.0	13.3	-	3.3	-	-	-	6.7	-
英語学科	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
観光文化学科	26	-	-	15.4	19.2	19.2	-	3.8	3.8	-	3.8	-	-	11.5	3.8	7.7
助産別科	6	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-
保育科	53	3.8	1.9	1.9	1.9	-	-	1.9	-	-	1.9	-	-	-	-	-

〔5〕大学生の人間形成に必要な支援

問 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

大学の人間形成に必要な支援は、「社会人マナー教育」(52.7%)が最も多く、次いで「一般常識教育」(33.7%)、「多様な業種・職種の社会人との交流」(32.5%)となっている。



【学科別 大学生の人間形成に必要な支援（1/2）】（％）

	全体（人）	社会人マナー教育	一般常識教育	多様な業種・職種との交流	地域貢献活動	ボランティア活動	基礎学力教育	部活・サークル活動	インターンシップ
全 体	169	52.7	33.7	32.5	29.0	26.6	26.0	24.3	24.3
看護学科	13	69.2	7.7	30.8	30.8	30.8	23.1	23.1	38.5
福祉学科	35	51.4	31.4	45.7	42.9	37.1	31.4	11.4	20.0
栄養学科	30	33.3	16.7	23.3	16.7	6.7	13.3	6.7	20.0
英語学科	6	50.0	66.7	50.0	33.3	33.3	33.3	16.7	33.3
観光文化学科	26	46.2	34.6	38.5	26.9	19.2	19.2	38.5	42.3
助産別科	6	83.3	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7
保育科	53	60.4	47.2	24.5	28.3	34.0	34.0	34.0	17.0

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援（2/2）】（％）

	全体（人）	の研究室・ゼミナール活動	卒業生との交流	キャリア教育	海外留学	キリスト教教育	その他	無回答
全体	169	12.4	12.4	9.5	1.8	1.8	0.6	16.0
看護学科	13	7.7	23.1	15.4	—	—	—	15.4
福祉学科	35	20.0	11.4	5.7	—	—	—	17.1
栄養学科	30	13.3	10.0	3.3	3.3	—	—	30.0
英語学科	6	16.7	16.7	33.3	16.7	—	—	16.7
観光文化学科	26	7.7	7.7	11.5	—	—	—	15.4
助産別科	6	33.3	33.3	16.7	—	—	—	16.7
保育科	53	7.5	11.3	9.4	1.9	5.7	1.9	7.5

〔6〕採用について

問 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。

各事業所において、過去5年間で採用に実績がある大学名を3校まで自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

看護学科

大学名	記入数
福岡県立大学	5
日本赤十字九州国際看護大学	3
産業医科大学	2
福岡女学院看護大学	2
久留米大学	2
佐賀大学	2
山口県立大学	2
西南女学院大学	1
福岡大学	1
長崎大学	1
大分県立看護科学大学	1
九州看護福祉大学	1
熊本大学	1
山口大学	1
宇部フロンティア大学	1
金沢大学	1

福祉学科

大学名	記入数
西南学院大学	4
福岡教育大学	4
精華女子短期大学	3
中村学園大学	3
中村学園大学短期大学部	2
筑紫女学園大学	2
西南女学院大学	1
北九州市立大学	1
九州国際大学	1
九州産業大学	1
福岡大学	1
福岡県立大学	1
福岡こども短期大学	1
西九州大学	1
長崎純心大学	1
鹿児島国際大学	1
別府大学	1
九州看護福祉大学	1
山口県立大学	1
島根県立大学	1
島根県立大学短期大学部	1
京都女子大学	1
昭和音楽大学	1
聖徳大学	1

栄養学科

大学名	記入数
中村学園大学	6
西南学院大学	3
山口県立大学	3
九州栄養福祉大学	2
福岡女子大学	2
福岡大学	2
別府大学	2
武庫川女子大学	2
北九州市立大学	1
九州女子大学	1
福岡女学院大学	1
筑紫女学園大学	1
久留米信愛大学	1
活水女子大学	1
長崎国際大学	1
長崎県立大学	1
山口大学	1
山口芸術短期大学	1
県立広島大学	1
広島文教大学	1
川崎医療福祉大学	1
近畿大学	1
桃山学院大学	1
京都女子大学	1
龍谷大学	1
日本大学	1
東海大学	1
藤女子大学	1

英語学科

大学名	記入数
九州産業大学	2
北九州市立大学	1
西南学院大学	1
福岡女学院大学	1
福岡大学	1
福岡国際大学	1
筑紫女学園大学	1
長崎外国語短期大学	1
神戸大学	1
国土館大学	1
横浜商科大学	1

観光文化学科

大学名	記入数
北九州市立大学	5
福岡大学	4
九州国際大学	3
西南学院大学	3
福岡女学院大学	3
北九州市立大学	2
九州女子大学	2
九州産業大学	2
下関市立大学	2
九州共立大学	1
久留米大学	1
山口大学	1
安田女子大学	1

助産別科

大学名	記入数
福岡県立大学	2
西南女学院大学	1
産業医科大学	1
福岡女学院看護大学	1
日本赤十字九州国際看護大学	1
熊本大学	1
九州看護福祉大学	1
熊本保健科学大学	1

保育科

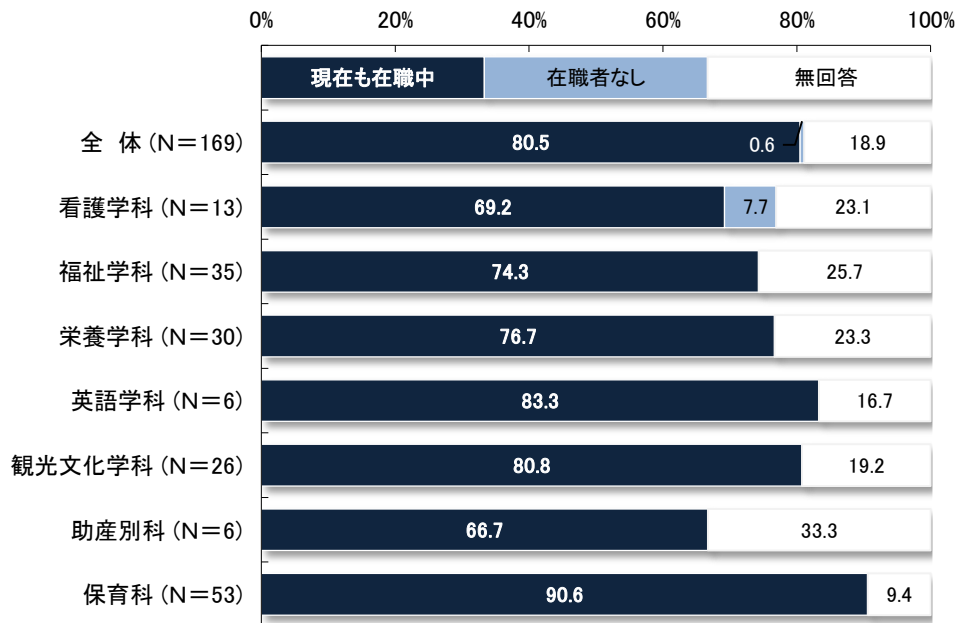
大学名	記入数
東筑紫短期大学	15
九州女子大学	6
西南女学院大学短期大学部	6
九州女子短期大学	5
梅光学院大学	5
福岡こども短期大学	4
福岡教育大学	3
福岡県立大学	3
下関短期大学	3
福岡女学院大学	2
中村学園大学	2
香蘭女子短期大学	2
北九州市立大学	1
福岡大学	1
中村学園大学短期大学部	1
精華女子短期大学	1
山口芸術短期大学	1
安田女子短期大学	1
保育福祉専門学校	1

問 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

在職状況について、就業先全体では「現在も在職中」(80.5%)が最も多くなっている。

学科別にみると英語学科、観光文化学科、保育科では「現在も在職中」(英語学科:83.3%、観光文化学科:80.8%、保育科:90.6%)が多くなっている。

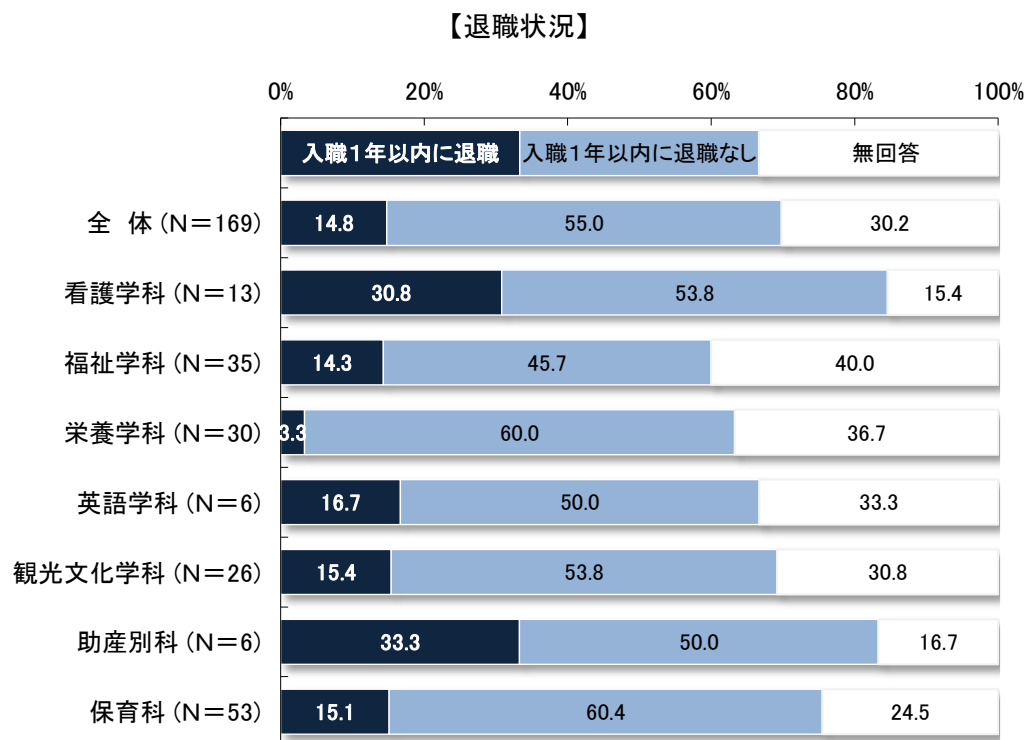
【在職状況】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

退職状況について、就業先全体では、「入職1年以内に退職なし」(55.0%)が最も多くなっている。

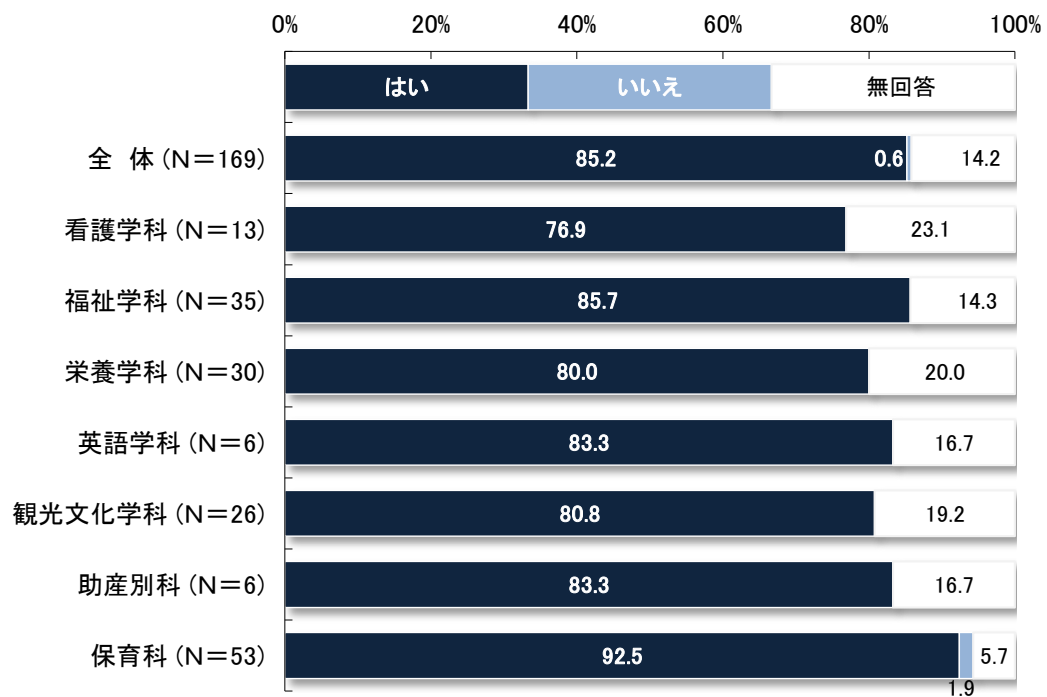
学科別にみると、無回答の割合が高い学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、看護学科や助産別科では「入職1年以内に退職」の割合が他学科に比べ高い傾向にある。



問 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

今後の応募機会について、全体結果及び学科別ともに「はい」の割合が大半を占める結果となっている。

【応募機会】



〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【採用・就職支援について】

（回答者数：47人/169人[27.8%]）

学科	自由回答
福祉学科	ご紹介よろしくお願い致します。
	中途採用もしておりますので、希望の方がいらっしゃる時は問い合わせてください。
栄養学科	当社に相応しい人材が多く、採用を検討する際は今後とも西南女学院様に相談させていただきます。
観光文化学科	採用については、弊社の本社（福岡県北九州市）で行っております為、回答できません。 申し訳ございません。
	採用に関しては、本社にて管理（人事部）。
助産別科	貴校の卒業生の就職を希望します。 就職希望の方がいらっしゃいましたら連絡いただけると嬉しいです。
保育科	来年度は貴校より就職を希望される方がいませんでしたが、またぜひ貴校の学生に先生になっていただきたいと思っております。 よろしくお願い致します。
	今後とも是非採用させていただきたく思っております。
	採用試験の受験者が一人もいなかったのは残念でした。

【現在就業中の卒業生について】

学科	自由回答
看護学科	皆さん誠実で穏やかな印象の方が多くに思います。 思考力をトレーニングされているという印象があります。
福祉学科	いつもしっかり学んでいる学生さんを送り出して頂きありがとうございます。 今後ともよろしくお願い致します。
	弊社の事業において、即戦力の人材を輩出されております。 人柄も良く、他者に対しての気配りを実践できる方ばかりです。 今後ともよろしくお願い致します。
	活発で困難にあっても乗り越えていくところが見られます。 元気で頑張っています。
	業務に対して、とてもまじめに取り組み、貴大学で学んだことを活かし、精一杯励んでくれています。
栄養学科	貴学の卒業生は明朗活発であり、当組合で4月より就業しておりますが、さらなる活躍に期待しております。

観光文化学科	活発な学生様が多く、入職後活気ある職場風土づくりに貢献していただいています。今後ともよろしくお願い申し上げます。
助産別科	1998年以降より専任入職しました貴校卒業生は、ジェネラリストまたはより専門性の高い領域の役割で活躍しています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
保育科	今年度就職した2名、大変頑張ってくれています。
	西南女学院卒業の学生様は、子ども達への接し方や保育に対する意欲が高いです。
	他大学に比べて、初期に差がつく社会マナーや意識づけが弱く、どうしても損をしてしまうことが多いように感じる。 教育実習に来る学生を見ても感じることだが「構え」が甘い。
	皆、真面目で責任感・協調性もあり、戦力となっていますので、意見・要望は特にありません。
	素晴らしい先輩方が活躍しています。 今後とも大学の発展をお祈り致します。
	それぞれよく頑張っています。 保育職の魅力を発信していただき、一緒にこの業界を盛り上げていきたいと思います。
	卒業生が保育現場で頑張ってくれ感謝しています。
	貴学に限らないのですが、ピアノの技術が低下してきたように感じます。

【大学への要望について】

学科	自由回答
看護学科	学内の説明会等に伺いたい。
福祉学科	見学、実習、随時受け付けておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。
	児童養護施設に興味のある学生がいらっしゃいましたら、貴校にお伺いして説明させていただければと思っております。 何卒ご検討くださいますようお願いいたします。
	接客マナー等、社会人としての基本を教えておいて下さい。
英語学科	日本語養成科に関しては、ぜひ弊社の学校説明会にご参加いただきたく存じます。 宜しくお願い致します。
観光文化学科	学内での合同説明会等があれば、是非お声かけください。

保育科	当園に興味がある方は、いつでも気軽に訪問してほしいと思います。
	当法人は、障害児の療育を業務の中核に置いています。 正常発達児の教育も重要ですが、障害児教育にも更に力を入れて頂ければ採用の機会や職域が大きく広がると思います。
	保育所にあつては人との関わりが大切な要素となります。 コミュニケーションはもちろん、社会人としての良識が問われる部分が保育士として最も肝要かと思われます。 保育の知識・技術はもとより、そのような面の学習も深めて頂ければ幸いです。
	実習生がなかなか来られず、園を知って頂く機会がないので、見学の機会でもとって足を運んでいただければと思います。
	実習生として貴校の学生さんを受け入れておりますが、オリエンテーションに於いて実習のスケジュールを学校の手帳に書き示せるように持たせていたり、服装や身だしなみなどについてもよくご指導をされていて、他校と比べて熱心さがよく伝わってきます。 一つ要望として、危機管理(プールでの事故予防、SIDS対策など)や人権教育(体罰はもちろん不適切な保育)に関する授業など、現場で今、最も求められている内容をしっかりと学んで卒業して頂けると良いと思います。

【その他について】

学科	自由回答
福祉学科	事業所アンケートは、小学校の立場からは記入しにくい。
	日ごろより大変お世話になります。 今後ともどうぞよろしくお願い致します。
栄養学科	いつも大変お世話になっております。 貴学学生の皆様とご縁をいただけるよう努めてまいります。 どうぞ引き続きよろしくお願い申し上げます
	採用活動におけるお力添えをいつもありがとうございます。
	貴大学とは、故H教授からのつきあいです。
観光文化学科	よろしくお願い致します。
	貴大学様には、ご尽力頂きまして誠にありがとうございます。
	今後とも何卒よろしくお願い致します。
	いつもお世話になっております。 今後ともよろしくお願い致します。
	毎年、インターンシップに多数参加していただき、ありがとうございます。 今後とも、よろしくお願い致します。
	いつもお世話になっております。 これからも貴大学の素敵な学生にお会いできるのを楽しみにしております。
	引き続きよろしくお願い致します。
保育科	求人の際はよろしくお願いします。
	来年度(令和2年4月)から、就職可能な学生さん、又は退職希望で、4月から勤めたい方はいらっしゃいませんか？

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2018年度（平成30年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2019年度（令和元年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケートの総括とする。

▶仕事に必要な能力

<必要性和達成度>

就職受け入れ先から見た、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「必要である」＋「やや必要である」）、卒業生の力やスキルを【達成度】（「身につけている」＋「ほぼ身につけている」）として分析し、必要性和達成度の差が最も大きい上位3つの項目には枠を付けた。

仕事上では、「英語力」以外ほとどの項目も必要性が80%を超えている。

必要性に比べ、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあるが、とりわけ「リーダーシップ」、「課題発見・問題解決力」、「表現力」でその差が大きい。しかし、これらの力やスキルは、学生生活のうちに習得するというよりも、本来、社会経験を積むことで得られる要素が強いため、今後、卒業生の職場での成長に期待したい。

一方、「倫理観」、「自己管理能力」、「知識・理解」、「責任感」などは、必要性に対する達成度のギャップが小さく、これらについては卒業生の評価が比較的高いと言える。

こうした達成度とのギャップについては、前回調査結果と同様の傾向を示していることから、在学生に対しては、リーダーシップや課題発見・問題解決力など自主性を育むような指導・取り組みを取り入れる必要があると言える。

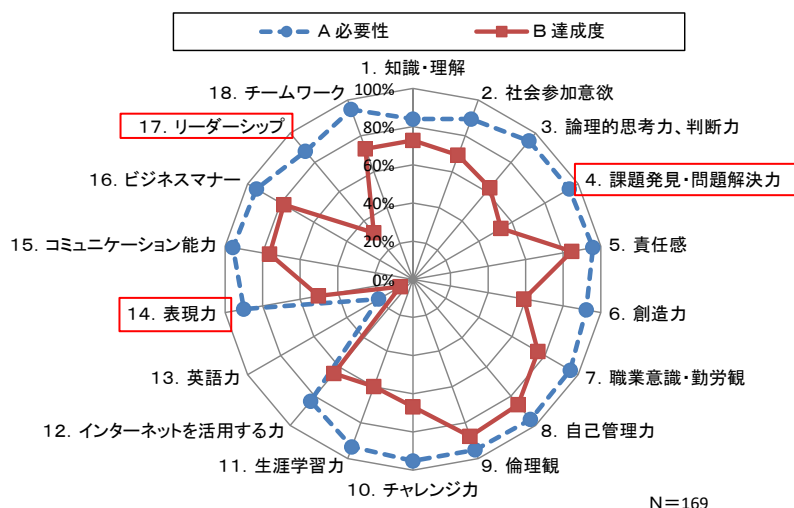
<達成度評価のギャップ（就職先と卒業生との比較）>

就職先が評価する卒業生の達成度と、卒業生本人が考える自身の達成度について比較を行った。

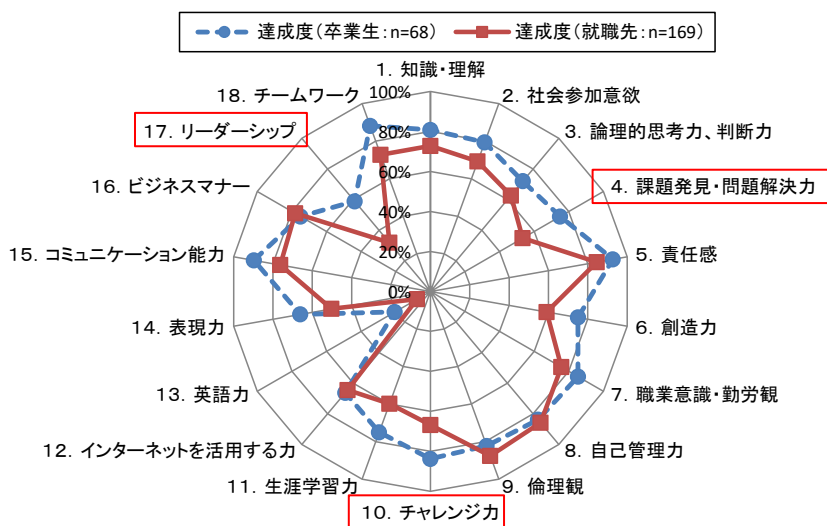
概ね就職先と本人評価は類似しているが、「リーダーシップ」、「課題発見・問題解決力」、「チャレンジ力」についてはギャップがやや大きく、卒業生が思うよりも就職先が考える卒業生への評価が低い。

しかしながら、就職先の評価対象であるのは2019年3月卒業生となり、卒業後1年未満と経験が浅いことを踏まえると、概ね妥当な評価とも考えられる。今後、経験を積んでいく中で、自主性が発揮できるよう期待したい。

【仕事上での必要性和卒業生の達成度】



【就職先と卒業生の達成度評価の比較】



▶採用について

＜採用時に重要視する能力＞

学生調査における採用のあり方については、出身大学や学部によるハンディが大きいと感じている学生も少なくないが、実際には、事業所が採用の際に重要視する能力として、「コミュニケーション能力」や「責任感」、「チームワーク」が突出して高くなっており、あくまで「個人」として備わっているスキルを重視している様子がうかがえる。これらは、前回調査結果でも上位に挙げられており、常に採用の判断基準となっていると言える。また、卒業生アンケートでも大学・短期大学部で得たスキルとして上位に挙げられており、就職先が重要視している能力と大学・短期大学部で得られたスキル（達成度）が一致する。

なお、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「コミュニケーション能力」と「責任感」、「チームワーク」の有無が重要とされていることがわかる。

また、就職先から学生に希望する資格や検定について学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」、助産別科で「助産師」、保育科で「保育士」、「幼稚園教諭二種免許」等、当然のことながら卒業学科に応じた専門性が求められており、資格の有無が採用に大きく影響すると言える。

▶大学・短期大学部で必要な支援

大学生の人間形成に必要な支援として、「社会人マナー教育」、「一般常識教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」が上位に挙げられた。これらは前回調査でも上位に挙げられており、大学でも基礎的な社会人マナーや一般常識などの社会に出て役立つ教育機会の充実や、社会人との交流など、在学中に経験できるような環境づくりが必要とされている。

また、学生調査においては「企業が何を求めているのかわかりにくい」といった意見もあったため、企業が求める姿を学生に伝え、意識させていくことも必要であると言える。

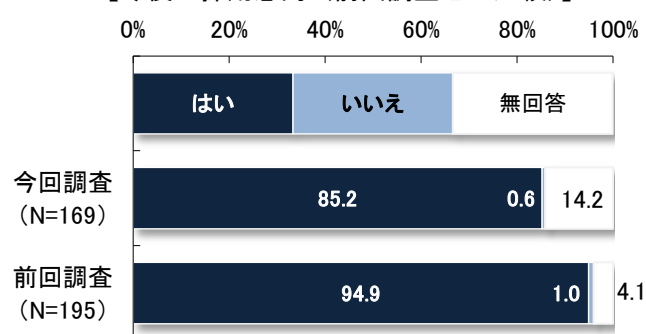
＜今後の採用について＞

今後の採用時に、本学の学生に応募機会を与えるか否かについては、8割半ばの事業所が応募すると回答しており、前回調査から1割程低下したものの、引き続き高い支持を得ている。

調査結果から、卒業生の仕事に必要な力やスキルに不十分な部分はあるものの、就職受け入れ先では今後も引き続き採用意向があることから、本学の学生は採用に値する一定の評価を得ているものと考えられる。

本学の卒業生が今後も事業所の期待に応え、社会に貢献できるよう、在学時からの人材育成に引き続き取り組む必要がある。

【今後の採用意向（前回調査との比較）】



▶大学に対する意見や要望

大学に対する意見や要望について自由記述形式にて回答を得たところ、本学の卒業生に対して好評価の事業所が多く、大学に対する意見としても、学内での就職説明会などに参加する機会を設けてほしい等、採用に積極的な意見が多い。

総じて、就職先から見た本学卒業生の評価は高いものと考えられるが、就職受け入れ先では共通して、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力のある学生を求めており、大学・短期大学部においては、専門的な知識や経験、スキル等だけではなく、こうした人間形成の基礎を育む教育・指導が今後も求められていると言える。

第3章 調査票

2019(令和元)年 12 月

卒業生の皆さまへ

西南女学院大学
学長 工藤 二郎

「西南女学院大学 卒業生アンケート調査」について（お願い）

拝啓 卒業生の皆様におかれましては、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、卒業生の皆様の現在の状況を確認するとともに、卒業生からの本学に対する率直なご意見やご要望をいただくことで、今後のより良い大学運営に役立てていきたいと考えております。

つきましては、年末のお忙しい時期に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力をくださいますようお願いいたします。

敬 具

1. 調査内容
西南女学院大学 卒業生アンケート調査
2. 対象者
2017 年 3 月大学卒業生
3. アンケート用紙
別紙のとおり
4. 回答期限
2020 年 1 月 17 日（金）
5. 回答方法
同封の返信用封筒または FAX にて返信をお願いいたします。

※このアンケート調査により得られた結果は統計的に集計し、皆様の個人的な情報が公表されることや他の目的に使用することは一切ありません。

【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835
北九州市小倉北区井堀 1-3-5
西南女学院大学 就職課
TEL (093)583-5777
FAX (093)583-4633

西南女学院大学 卒業生アンケート調査

I. あなたご自身のことについて該当するものに○をつけてください。

1. 卒業した学科を教えてください。

1. 看護学科 2. 福祉学科 3. 栄養学科 4. 英語学科 5. 観光文化学科 6. 助産学科

2. 現在の状況を教えてください。

1. 現在、仕事をしている → IIへ進んでください 2. 現在、仕事をしていない → IVへ進んでください

II. 現在仕事をしている方におたずねします。

1. 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

2. 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

3. 現在の勤務先について○をつけてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わっていない 2. 転職した → IIIへ進んでください

4. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

1. 満足している 2. どちらでもない 3. 満足していない

Vへ進んでください

6. II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

1. 転職(退職)を考えている 2. 転職(退職)するまではない

Vへ進んでください

III. II-3で「転職した」を選択した方におたずねします。

1. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

2. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

3. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

4. 転職された時期をご記入ください。(複数回転職された場合は最初の転職についてご記入ください。)

入職後、 年 月 日

5. 転職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生
5. 人間関係 6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性
9. 家庭の事情 10. その他()

Vへ進んでください

IV. 現在、仕事をされていない方におたずねします。

1. 現在の状況に○をつけてください。(複数選択可)

1. 求職中 2. 学生 3. 家事、子育て 4. その他()

2. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

3. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択) →

4. 卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

1. 正規職員 2. 契約(非正規)職員 3. パート・アルバイト 4. 派遣社員 5. その他()

5. 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

1. 仕事内容 2. 給与 3. 休日 4. 福利厚生 5. 人間関係
6. 社風・職場の雰囲気 7. 勤務地 8. 将来性 9. 家庭の事情
10. その他()

V. 仕事をする中で感じたこと(苦労したことや成長したことなど)をご記入ください。

(裏面につづく)

【業種・職種区分表】

A 業種

- 1 農業
- 2 林業
- 3 漁業
- 4 鉱業、採石業、砂利採取業
- 5 建設業
- 6 製造業
- 7 電気・ガス・熱供給・水道業
- 8 情報通信業
- 9 運輸業
- 10 卸売・小売業
- 11 金融・保険業
- 12 不動産業、物品賃貸業
- 13 飲食業
- 14 宿泊業
- 15 一般病院
- 16 精神科病院
- 17 クリニック
- 18 高齢者施設
- 19 障がい児・者施設
- 20 児童施設
- 21 保育園
- 22 教育(小学校・中学校・高等学校・専門学校等)
- 23 幼稚園
- 24 学習支援業
- 25 サービス業
- 26 公務
- 27 その他()

B 職種

- 1 事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)
- 2 販売
- 3 営業
- 4 接客
- 5 看護師
- 6 保健師
- 7 助産師
- 8 医療ソーシャルワーカー
- 9 相談員
- 10 精神保健福祉士
- 11 支援員・指導員
- 12 介護職
- 13 保育士
- 14 管理栄養士
- 15 栄養士
- 16 幼稚園教諭
- 17 養護教諭
- 18 英語教諭
- 19 公務員
- 20 その他()

Ⅵ. 西南女学院大学で受けた教育について教えてください。

①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、() 内に具体的内容をご記入ください。

	A 達成度 西南女学院大学で 得た力やスキル	B 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル	C 能力やスキルを身につけるため役立った事 (複数回答可)
	身につけていない ほとんど身につけていない 身につけている ほとんど身につけている 身に付けていない ほとんど身につけていない 身につけている ほとんど身につけている	役に立たない 役に立たない 役に立たない 役に立たない 役に立たない 役に立たない 役に立たない 役に立たない	大学での講義 研究室・ゼミ活動 キャリア教育 実習・インターンシップ 先輩・後輩との交流 部活動・サークル 留学 アルバイト ボランティア活動 地域貢献活動 進学・専門学校 勤務先での研修
1 知能・理解	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
2 市民性・公共性、社会参加意欲	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
3 論理的思考力、判断力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
4 課題発見・問題解決力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
5 責任感	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
6 創造力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
7 職業意識・勤労観	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
8 自己管理能力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
9 倫理観	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
10 前に踏み出す力(チャレンジ力)	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 生産学習力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
12 コンピュータやインターネットを活用する力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
13 英語力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
14 表現力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
15 コミュニケーション能力	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
16 ビジネスマナー	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
17 リーダーシップ	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
18 チームで働く力(チームワーク)	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
19 その他 (基礎学力・一般常識など)	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、5つまでその番号をご記入ください。

Ⅶ. 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

Ⅷ. 大学に対して講義以外でもっと支援をしてもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください(5つまで選択可)。

また、具体的な内容があればご記入ください。

- | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------------|-------------|
| 1. 部活、サークル活動 | 2. 研究室・ゼミの活動 | 3. キャリア教育 | 4. 実習、インターンシップ | 5. ボランティア活動 |
| 6. 地域貢献活動 | 7. 海外留学 | 8. 卒業生との交流 | 9. 多様な業種・職種の社会人との交流 | 10. キリスト教教育 |
| 11. 一般常識教育 | 12. 基礎学力教育 | 13. 社会人マナー教育 | | |

【具体的な内容】

Ⅸ. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。
なお、今後、仕事のことなどで相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

下記の項目は差し支えない範囲でご記入ください。

氏名	住所 〒	勤務先
	携帯番号	

(個人情報保護について) ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2019(令和元)年12月

採用ご担当者様

西南女学院大学
西南女学院大学短期大学部
学長 工藤二郎

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査」について(お願い)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本学学生の就職に関しましては、格別のご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では、卒業生を受け入れていただいた事業者様から、本学の教育に関する評価を
いただくことで、更なる大学教育の質の向上を図り、より社会で活躍できる人材の育成に役立て
て参りたいと考えております。

つきましては、本学卒業生の評価に関するアンケート調査のご回答をお願いいたします。

ご多用中まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

敬 具

1. 調査内容

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査

2. アンケート用紙

別紙のとおり

3. 回答期限

2020年1月17日(金)

4. 回答方法

同封の返信用封筒またはFAXにて返信をお願いいたします。

【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835

北九州市小倉北区井堀1-3-5

西南女学院大学 就職課

TEL (093)583-5777

FAX (093)583-4633

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

アンケート対象者：2019年4月就職者 卒業生 ※在職者複数の場合、総合的評価としてご記入ください。

II. 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

その他を選択した場合は、()内に具体的内容を記入してください。

		A 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル					B 達成度 西南女学院大学 卒業生の力やスキル					C 採用の際、 重要視する能力 上位5つに○を つけてください
		必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	わからない		
1	知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1
2	市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	2
3	論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	3
4	課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	4
5	責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	5
6	創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
7	職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	7
8	自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	8
9	倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	9
10	前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	10
11	生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	11
12	コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	12
13	英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	13
14	表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	14
15	コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	15
16	ビジネスマナー 常識があり、気持ちのよい受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	16
17	リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	17
18	チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いた後、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	18
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	19

(裏面につづく)

貴事業所に関するアンケート調査

※本様式は一事業所につき1枚ご回答ください。

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

II. 主たる業種に○をつけてください。（1つ選択）

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	
8. 情報通信業	9. 運輸業	10. 卸売・小売業	11. 金融・保険業
12. 不動産業、物品賃貸業	13. 飲食・宿泊業	14. 医療・福祉業	15. 教育・学習支援業
16. サービス業	17. 公務		

III. 従業員数に○をつけてください。

1. 従業員 5,000 人以上	2. 従業員 1,000～4,999 人	3. 従業員 100～999 人
4. 従業員 50～99 人	5. 従業員 50 人未満	

IV. 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

1. 特に必要なし

<本学で取得可能な資格・免許等>

2. 看護師	3. 保健師	4. 助産師	5. 管理栄養士
6. 栄養士	7. 社会福祉士	8. 精神保健福祉士	9. 認定心理士
10. 保育士	11. 幼稚園教諭一種免許	12. 幼稚園教諭二種免許	13. 高等学校教諭免許(看護)
14. 高等学校教諭免許(英語)	15. 中学校教諭免許(英語)	16. 養護教諭免許	17. 栄養教諭免許

<本学が取得支援している主な資格・検定等>

18. BLS	19. TOEIC	20. 実用英語技能検定	21. TOEFL
22. 観光英語検定	23. 旅行業務取扱管理者	24. 通訳案内士	25. 旅行地理検定
26. 貿易実務検定	27. 外務員(金融商品)	28. 日本語教員養成課程修了	29. 日本漢字能力検定
30. 日商簿記	31. 秘書技能検定	32. 医療請求事務検定	
33. ビジネスコミュニケーション検定	34. ビジネス能力検定	35. ビジネス実務マナー検定	36. キータッチ 2000
37. 英語ビジネス文書作成技能検定		38. コンピュータサービス技能評価試験	
39. 販売士	40. 色彩士検定・色彩検定	41. フードコーディネーター	42. フードスペシャリスト
43. 介護職員初任者研修	44. ピアヘルパー資格	45. その他()	

V. 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

1. 部活・サークル活動	2. 研究室・ゼミナールの活動	3. キャリア教育	4. インターンシップ
5. ボランティア活動	6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流
9. 多様な業種・職種の社会人との交流		10. キリスト教教育	11. 一般常識教育
12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育	14. その他()	

VI. 採用について

1. 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。（本学卒業生と同職種の女子）

大学	大学	大学
----	----	----

2. 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に在職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

現在も在職中	人	入職1年以内に退職	人
--------	---	-----------	---

3. 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

1. はい	2. いいえ(差し支えなければその理由:)
-------	------------------------

VII. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございます。
集計結果については後日、送付させていただきます。
(個人情報保護について)ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2019 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

2020 年 8 月

発 行 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部
就職課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5777
